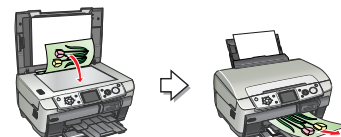
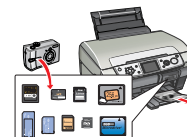
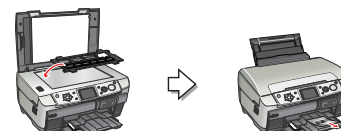
Colorio

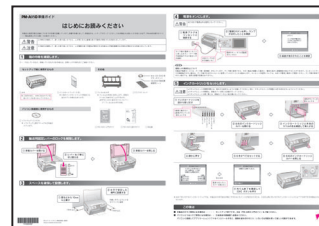
PM-A950
操作ガイド

本製品の使い方全般を説明しています。

―― 本書は製品の近くに置いてご活用ください。――

マニュアルの使い方

1

『PM-A950 準備ガイド』

本製品を使用できる状態にするまでの手順を説明しています。
手順に従って、本製品のセットアップを行ってください。

2

『PM-A950 入門ガイド』

本製品の準備ができたら、早速使ってみましょう。
本製品の基本の使い方「カラーコピー」、および「メモリカードからの写真プリント」の手順を、わかりやすく説明しています。

3

『PM-A950 操作ガイド』（本書）

本製品の使い方全般を説明しています。

4

『PM-A950 活用ガイド』（電子マニュアル）

パソコンとつないで使う場合の詳しい使い方や、もっと楽しく使う活用提案などを記載しています。また、インターネットを介してエプソンのホームページなどに接続し、最新ソフトウェアのダウンロードや、最新情報を入手することができます。

上記 1 ～ 4 のマニュアルは、すべて最新版（PDF 形式）を以下のホームページからダウンロードすることができます。
< http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/ >

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

マーク	説明
！注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

もくじ

フィルムから写真プリント

携帯電話 / デジタルカメラから直接印刷

便利な使い方、その他の機能

パソコンとつないで使う / もっと活用する

メンテナンス

困ったときは（トラブル対処方法）

付録

製品使用上のご注意

- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		**この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。**
	この記号は、分解禁止を示しています。		**この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。**
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。		**この記号は、アース接続して使用することを示しています。**

設置上のご注意

本製品は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
水　平		10～35℃ 20～80%

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
  本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。
- 「本製品底面より小さな台」の上には設置しないでください。
  本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ず本体より広い平らな面の上に、本製品底面の脚すべてが確実に載るように設置してください。

⚠警告	**アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所には設置しないでください。** 火災・感電の原因となります。

⚠注意

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や小さなお子さまの手の届くところ、他の機械の振動が伝わるところなどには、設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

湿気やホコリの多い場所、水に濡れやすい場所、直射日光のあたる場所、温度や湿度の変化が激しい場所、冷暖房器具に近い場所に設置しないでください。
感電・火災・本製品の動作不良や故障につながるおそれがあります。

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
次のような場所には設置しないでください。

- 押し入れや本箱などの風通しが悪くて狭い場所
- じゅうたんや布団の上

壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。
また、毛布やテーブルクロスのような布をかけないでください。

電源に関するご注意

⚠警告

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

指定されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
また、電源コードのたこ足配線はしないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。家庭用コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードが破損したら、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因になります。

- 電源はホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。

漏電事故の防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

⚠注意	**電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	

使用上のご注意

⚠警告	**煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。** 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。	
	通風口などの開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。	
	異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。	
	（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。	
⚠注意	**本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。** 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。 また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。	
	各種ケーブル（コード）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。	
	本製品とコンピュータ（または他の機器）をケーブルで接続するときは、コネクタの向きを間違えないように注意してください。 各ケーブルのコネクタには向きがあります。本製品側およびコンピュータ（または他の機器）側の双方に、向きを間違えてコネクタを接続すると、接続した双方の機器が故障するおそれがあります。	
	本製品を保管 / 輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。	
	本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。	
	本製品を移動する場合は、安全のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。	

インクカートリッジに関するご注意

⚠注意		
	インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。 目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。万一、異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。	
	インクカートリッジを分解しないでください。	
	インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。	
	インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。またインクは飲まないでください。	

メモリカード使用時のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えなかった場合、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

各部の名称と働き

1 エッジガイド（背面給紙用）

背面オートシートフィーダにセットした用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。

2 用紙サポート

印刷するための用紙を支えます。

3 背面オートシートフィーダ

セットした用紙を自動的に連続して給紙します。

4 給紙口カバー

原稿カバーの上に置かれた物が本体内部にすべり落ちたり、その他の異物やホコリなどが入るのを防ぐカバーです。用紙をセットする時以外は閉じておいてください。

5 外部機器 /Bluetooth ユニット接続コネクタ

外部機器（USB フラッシュメモリや CD-R ドライブ /MO ドライブなど）や、デジタルカメラからの USB ケーブル、Bluetooth ユニットなどを接続するコネクタです。

6 エッジガイド（前面給紙用）

前面オートシートフィーダにセットした用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。

7 前面カバー / 前面オートシートフィーダ

通常は開いて使用します。開いた状態で A4 サイズ普通紙専用の給紙口として使用します。

8 排紙トレイ

排出された用紙を保持します。排出された用紙が詰まったときは、排紙トレイを取り外して用紙を取り除きます。
☞ 本書 139 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」

9 メモリカードスロット / カバー

カバーを開いてメモリカードをセットします。セット後はカバーを閉じて使用します。

10 CD/DVD ガイド

CD/DVD に直接印刷するときに使用します。▲マークの部分を一度内部へ押し込むとロックが解除され、CD/DVD トレイをセットするためのガイドが出てきます。

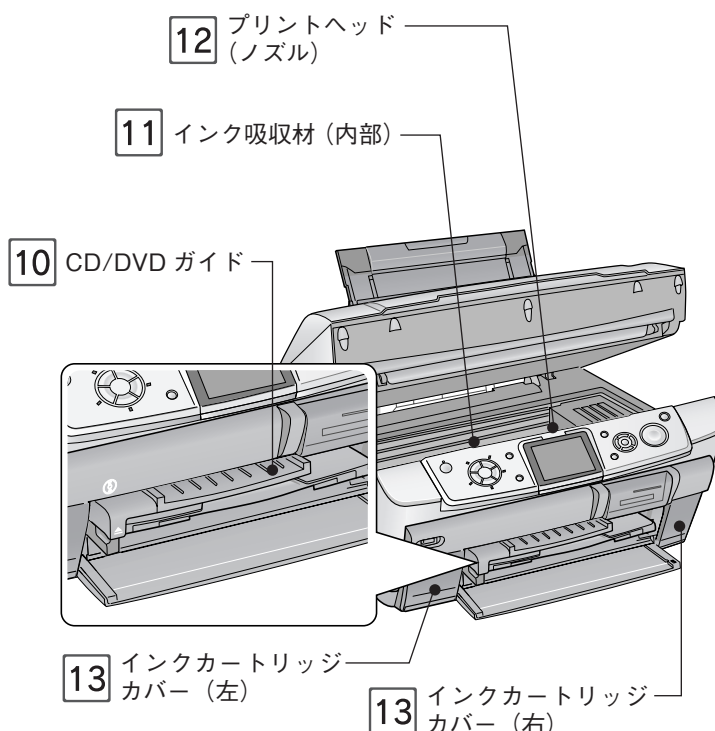
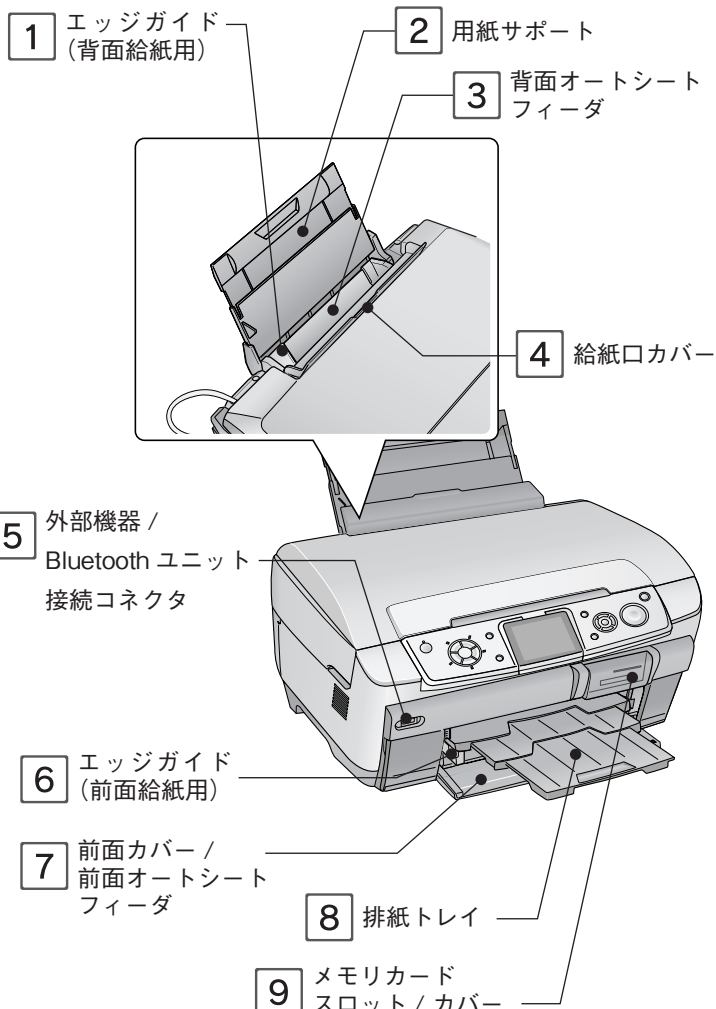
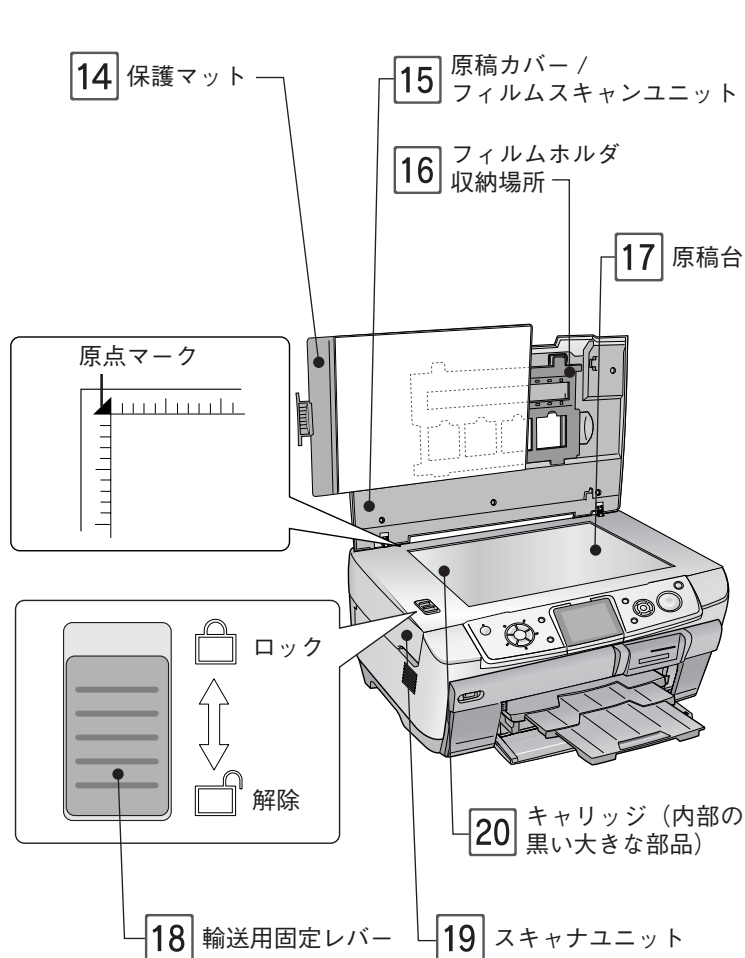
11 インク吸収材（内部）

四辺フチなし印刷時に、はみ出したインクを吸収します。内部に付いたインク（黄、赤、黒など）はふき取らずに、そのままお使いください。

12 プリントヘッド（ノズル）

インクを用紙に吐出する部分です。外からは見えません。

13 インクカートリッジカバー（左右 2 箇所）

インクカートリッジの取り付け時や交換時にカバーを開きます。取り付け後、カバーを閉じることでインクカートリッジのセットが完了します。印刷中などの動作中は、カバーを開けないでください。

14 保護マット

- 写真や書類など（反射原稿※といいます）をスキャンするときは、必ず取り付けてください。
  ※光を反射する原稿
- ネガフィルムやポジフィルムなど（透過原稿といいます）をスキャンするときは、取り外します。

15 原稿カバー / フィルムスキャンユニット

- 原稿台に原稿をセットするときに開けます。セット後は原稿カバーを閉じて外部の光をさえぎります。厚い本や原稿台よりも大きな原稿をセットするときは、取り外すこともできます。
- ネガフィルムやポジフィルムなど（透過原稿といいます）をスキャンするときは、保護マットを取り外して、フィルムスキャンユニットとして使用します。

16 フィルムホルダ収納場所

保護マットを取り外して、フィルムホルダを収納します。
☞ 本書 84 ページ「フィルムホルダの収納」

17 原稿台

原稿のスキャンする面を下にして置きます。原稿のセット位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示す目盛りが付いています。

18 輸送用固定レバー

輸送時にキャリッジが動かないようにロックします。
使用するときは、ロックを解除（図の位置に）します。

19 スキャナユニット

通常は閉じて使用します。USB ケーブルの取り外し / 交換時、用紙が詰まったときなどに、左右側面の取っ手に手をかけて開けます。

20 キャリッジ（内部の黒い大きな部品）

原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いていて、スキャン時に移動します。

21 フィルムスキャンケーブル

フィルムを取り込むときに接続します。

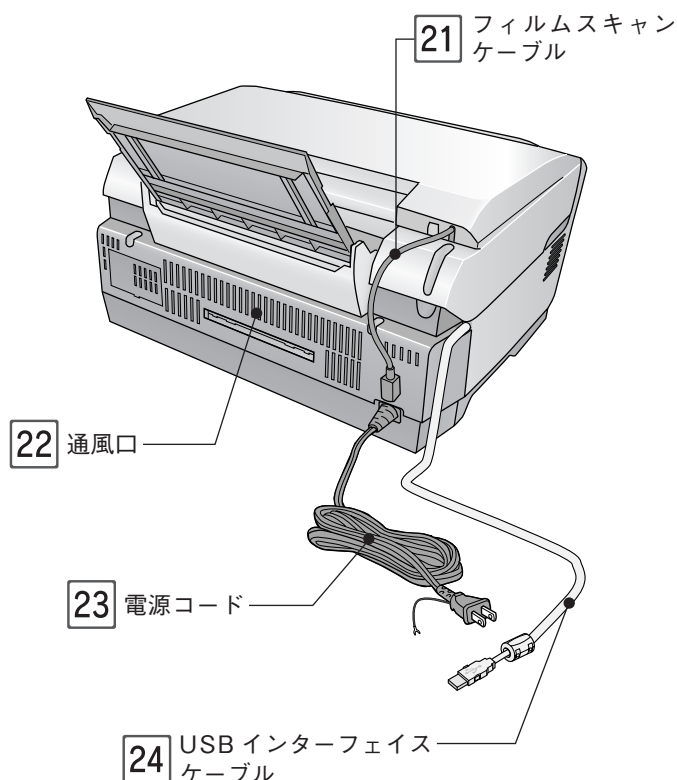
22 通風口

本製品の過熱を防ぐため、内部で発生する熱を放出します。設置の際には、通風口をふさがないようにしてください。また通風口のそばには物を置かないでください。

23 電源コード

AC100V の電源コンセントに接続します。

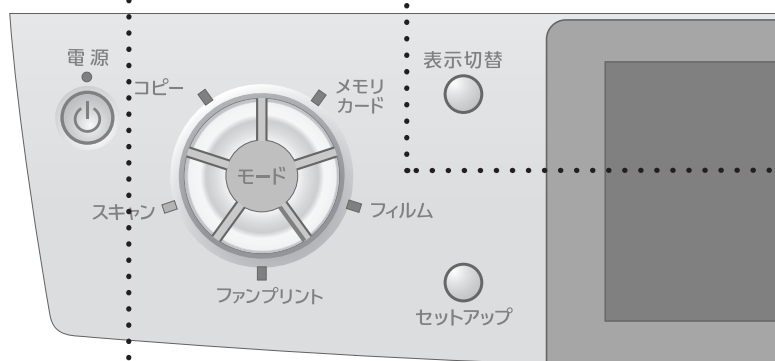
24 USB インターフェイスケーブル

パソコンに接続する標準装備の USB ケーブルです。
使用しない場合は、取り外すことができます。
☞ 本書 133 ページ「USB ケーブルの取り外し」

操作パネルの基本操作

1 電源オン

【電源】ボタンを押すと、電源ランプが点灯して液晶ディスプレイが表示されます。
モードランプのいずれか 1 つが点灯したら、使用可能状態です。

2 モード選択

モードボタンでやりたいことを選択します。

電源オフ

【電源】ボタンを押すと、終了動作後、液晶ディスプレイとすべてのランプが消えます。

！注意

電源のオン / オフは、電源プラグの抜き差しで行わず、必ず本体の【電源】ボタンで行ってください。【電源】ボタンでオン / オフしないと、正常に印刷できなくなるおそれがあります。

【コピー】
原稿台にセットした原稿をコピー（スキャンして印刷）します。

【メモリカード】
デジタルカメラや携帯電話のメモリカードを使って、写真プリントします。

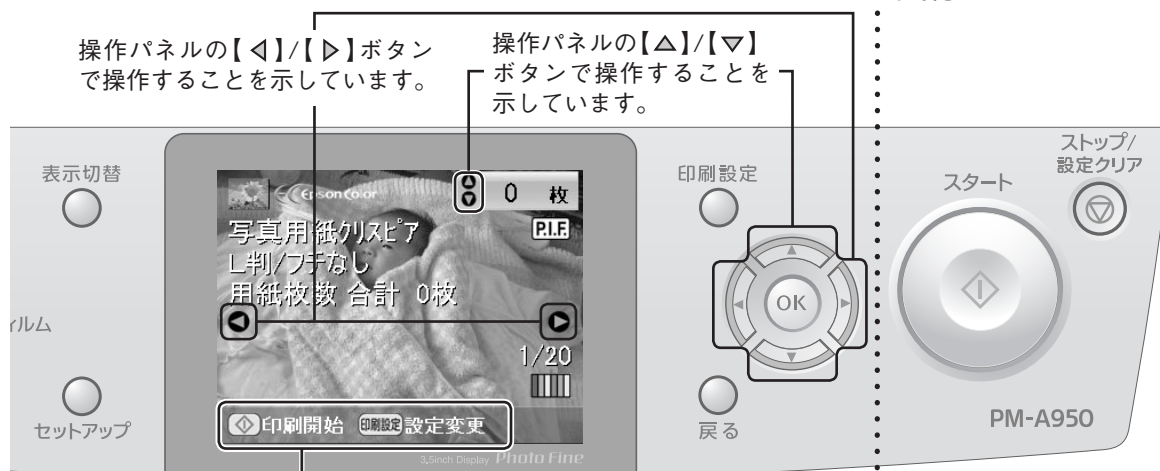
【フィルム】
フィルムをスキャンして、写真プリントします。

【ファンプリント】
上記の機能を組み合わせた、便利で楽しいプリント機能が集まっています。

【スキャン】
原稿台にセットした原稿をスキャンして、メモリカードやパソコンにデータを保存します。

【セットアップ】
☞ 本書 12 ページ「【セットアップ】ボタンについて」

3 設定

液晶ディスプレイの画面を見て右側のボタンで操作します。

【△】【▽】【▷】【◁】

項目や設定値を選択するときなどに使用します。

【OK】

選択 / 変更した設定を有効にします。

【戻る】

設定した内容を無効にして前の画面に戻ります。

メモリカード内の写真やスキャンデータを確認する際、表示方法を切り替えることができます。

☞本書 74 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

【印刷設定】ボタンを押すと、用紙や印刷品質の設定ができます。

参考

【ストップ / 設定クリア】ボタンを押すと、設定を初期設定値（お買い上げ時の状態）にして、各モードのトップ画面に戻ります。

4 印刷実行

【スタート】ボタンで印刷を実行します。

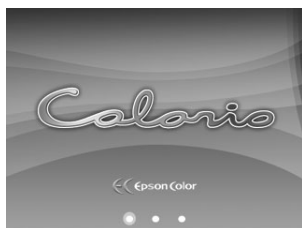
【スタート】

印刷を開始します。
用紙がなくなった時や紙詰まりの時は、画面のメッセージに従って【スタート】ボタンを押すこともあります。

【ストップ / 設定クリア】

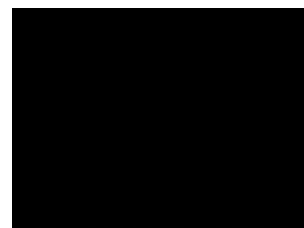
印刷が中止されます。
印刷中止までには多少時間がかかる場合があります。

液晶ディスプレイについて

- 電源オン時

本製品の初期動作が終了するまで、起動画面が表示されます。

- スクリーンセーバー起動時

約3分間操作をしないと、スクリーンセーバーが起動します。
写真データが保存されているメモリカードがセットされていて、セットアップモードのスクリーンセーバー設定が［メモリカードの写真］に設定されている場合のみ、写真を一定間隔で順次表示します。
☞ 本書132ページ「スクリーンセーバーの設定」
※デジタルカメラが接続されている場合には、スクリーンセーバーは起動しません。

- スリープモード時

約13分間操作をしないと、ディスプレイのライトが消えてスリープモードになります。

参考

スクリーンセーバー起動時やスリープモード時に操作を行う（操作画面に戻す）場合は、【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。

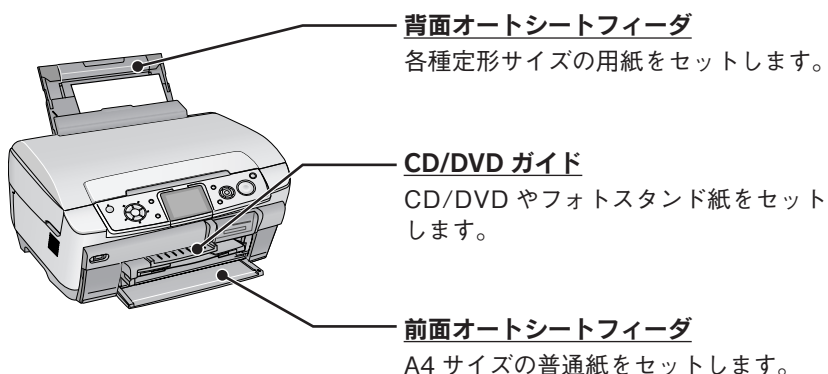
【セットアップ】ボタンについて

以下の設定や確認ができます。

- インク残量表示
  ☞ 本書122ページ「インク残量の確認」
- ノズルチェック
  ☞ 本書126ページ「ノズルチェック」
- ヘッドクリーニング
  ☞ 本書127ページ「ヘッドクリーニング」
- ギャップ調整
  ☞ 本書128ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
- バックアップ
  ☞ 本書105ページ「保存（バックアップ）方法」
- ダイレクト印刷設定
  ☞ 本書91ページ「携帯電話 / デジタルカメラから直接印刷」

その他、各種調整など

印刷用紙と CD/DVD について

印刷できる用紙と CD/DVD

用紙のセット方法

用紙のセット位置

用紙のセット方法

印刷時の用紙の設定

印刷時に［用紙種類］の設定をすると、それぞれの用紙に最適なモードで印刷されます。

印刷できる用紙

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種用紙をご用意しています。市販の普通紙にも印刷することができますが、よりきれいに印刷するためにエプソン製専用用紙のご使用をお勧めします。

エプソン製専用紙

用紙名称		特長	サイズ	入り枚数	型番	セット方法
写真用紙	写真用紙 クリスピア ＜高光沢＞	かつてない光沢感と透明感あふれる白さ、重厚な質感を実現した写真用紙です。	L 判	50 枚 100 枚	KL50SCK KL100SCK	☞21 ページ
			2L 判	20 枚	K2L20SCK	
			六切	50 枚	K6G50SCK	
			A4	20 枚	KA420SCK	
	写真用紙 ＜光沢＞	美しい光沢感のある仕上がりが魅力の写真用紙です。高い保存性を実現し、長期間色あせにくい写真プリントが可能です。	カード	50 枚	KC50PSK	
			L 判	20 枚 50 枚 100 枚 200 枚 300 枚	KL20PSK KL50PSK KL100PSK KL200PSK KL300PSK	
			2L 判	20 枚 50 枚	K2L20PSK K2L50PSK	
			六切	50 枚	K6G50PSK	
			A4	20 枚 50 枚 100 枚 250 枚	KA420PSK KA450PSK KA4100PSK KA4250PSKN	
	写真用紙 ＜絹目調＞	長期間色あせにくい、耐光性、耐水性に優れた光沢感を抑えた写真用紙です。	L 判	20 枚 100 枚	KL20MSH KL100MSH	
			2L 判	20 枚 50 枚	K2L20MSH K2L50MSH	
			A4	20 枚	KA420MSH	
光沢紙	光沢紙	厚口タイプの光沢紙です。	A4	20 枚 50 枚 100 枚	KA420GP KA450GP KA4100GP	☞21 ページ
マット紙	フォトマット紙	光沢のない落ち着いた質感のマット紙で、耐久性、耐光性に優れた専用紙です。	A4	50 枚	KA450PM	☞21 ページ
	スーパーファイン紙	写真入りカラー文書、インターネット出力、さまざまな用途に最適な用紙です。	A4	100 枚 250 枚	KA4100NSF KA4250NSF	
	両面マット紙 ＜再生紙＞	あなただけのオリジナル名刺を 1 枚から作れます。両面印刷対応です。	名刺	100 枚	KNC100MPD	☞22 ページ
普通紙	両面上質普通紙 ＜再生紙＞	ビジネス文書の作成時などに役立つ両面印刷が可能なインクジェットプリンタ用の普通紙（古紙 100% 配合の再生紙）です。	A4	250 枚	KA4250NPD	☞18 ページ

	用紙名称	特長	サイズ	入り枚数	型番	セット方法
ハガキ	写真用紙<絹目調>はがき	長期間色あせにくい、耐光性 / 耐水性に優れた光沢感を抑えた、ハガキサイズの写真用紙です。	ハガキ	20 枚	KH20MSH	☞19 ページ
	スーパーファイン専用ハガキ	デジタルカメラで撮影した写真入りのハガキ印刷に適した、ハガキサイズのマット紙です。	ハガキ	50 枚	MJSP5	
バラエティ用紙	フォトスタンドキット	印刷するだけで、そのままフォトスタンドになる便利なキット（裏面にスタンド付）です。	2L 判	4 枚	K2LPSPSK	☞23 ページ
	ミニフォトシール	16 分割の小さなオリジナルシールができます。	ハガキ（16 分割）	5 枚	MJHSP5	☞22 ページ
	スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーが手軽につくれる、裏面糊付きのラベルシールです。※全面シールです。ミシン目はありません。	A4	10 枚	MJA4SP5	
	アイロンプリントペーパー	印刷した写真やイラストを、アイロンを使って衣類などに転写可能な特殊用紙です。※ 転写できる素材は、「綿 100%」または「綿 50%以上の混紡」です。	A4	5 枚	MJTRSP1	

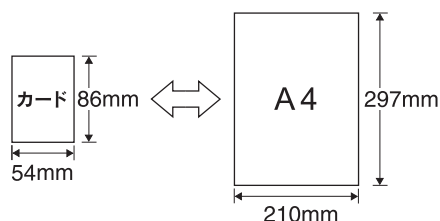
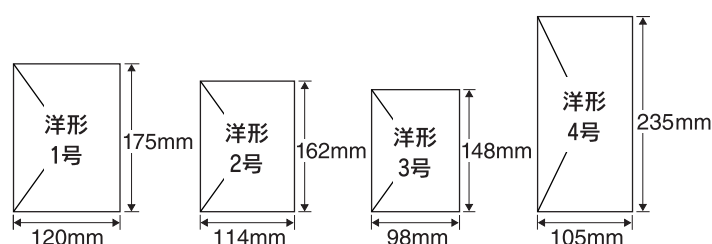
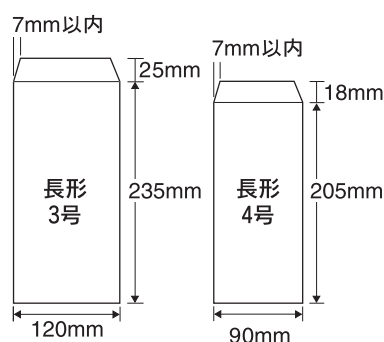
（2005 年 7 月現在）

市販の用紙

用紙名称	サイズ	セット方法	備考
コピー用紙 事務用普通紙	下図「使用できる定形の用紙サイズ」を参照	☞18 ページ	坪量 64 ～ 90g/m²、厚さ 0.08 ～ 0.11mm の範囲のものをご使用ください。
郵便ハガキ（再生紙）※ 郵便ハガキ（インクジェット紙）※ 郵便光沢ハガキ（写真用）※	ハガキ	☞19 ページ	写真を貼り付けたハガキや、シールなどを貼ったハガキは、使用しないでください。
往復郵便ハガキ※	往復ハガキ	☞19 ページ	中央に折り目のないものをお使いください。
封筒	下図「使用できる封筒のサイズ」を参照	☞20 ページ	－

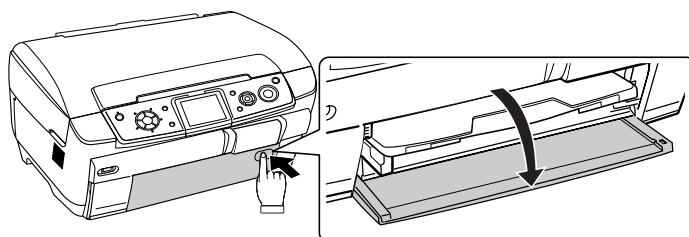
※日本郵政公社製

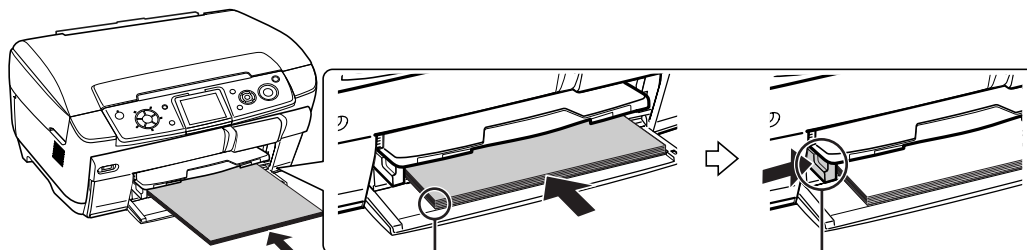
使用できる定形の用紙サイズ

最小で 54 × 86mm（カード）
最大で 210 × 297mm（A4）

使用できる封筒のサイズ

基本的な用紙のセット方法

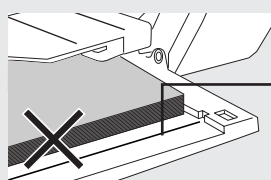
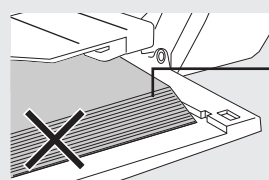
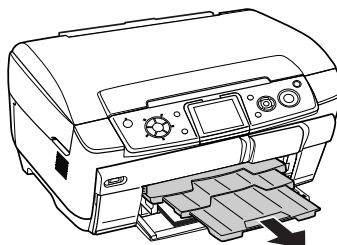
前面オートシートフィーダへの A4 普通紙のセット

- 前面オートシートフィーダは、A4 サイズの普通紙専用です。ハガキや写真用紙などの A4 普通紙以外の用紙は、背面オートシートフィーダにセットしてください。
☞ 本書 17 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット」
- A4 サイズの普通紙は、前面 / 背面どちらのオートシートフィーダにもセットすることができます。ただし、機能によっては前面でのみ使用、背面でのみ使用の場合があります。
- 用紙の注意事項やセット枚数の制限については、以下のページをご確認ください。
☞ 本書 18 ページ「普通紙のセット」

1 前面カバーを手前に開きます。

①くぼみを押す　② 前面カバーを手前に開く

2 用紙をそろえてから、印刷面を下にして挿入し、エッジガイド（奥の方にあるつまみ）を用紙の側面に合わせます。

①「A4」のガイドラインを目安に挿入　② エッジガイドを用紙の側面に合わせる

! 注意

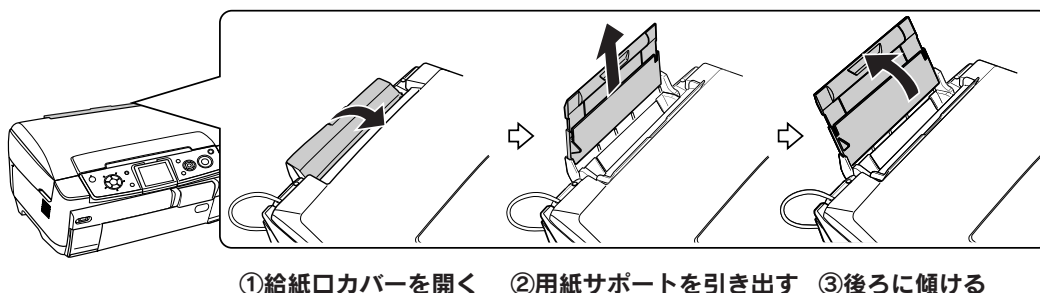
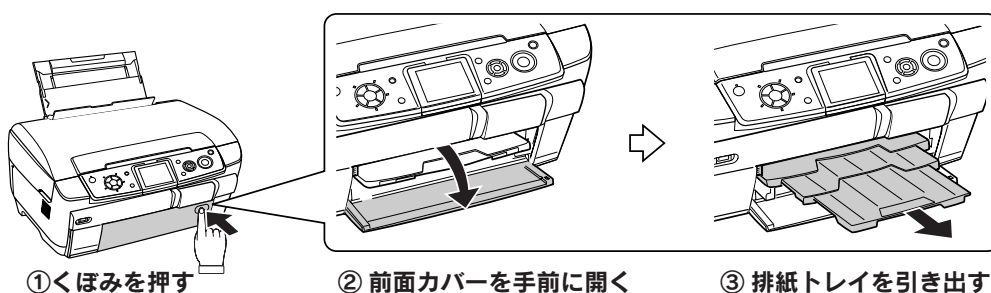
用紙を奥に入れすぎないようにしてください。奥まで入れすぎると、正常に給紙されません。

3 排紙トレイを引き出します。

背面オートシートフィーダへの用紙のセット

背面オートシートフィーダ（自動給紙装置）への基本的な用紙のセット方法を説明します。用紙種類ごとの注意事項やセット枚数の制限については、次ページ以降に記載の、各用紙のセット方法をご確認ください。

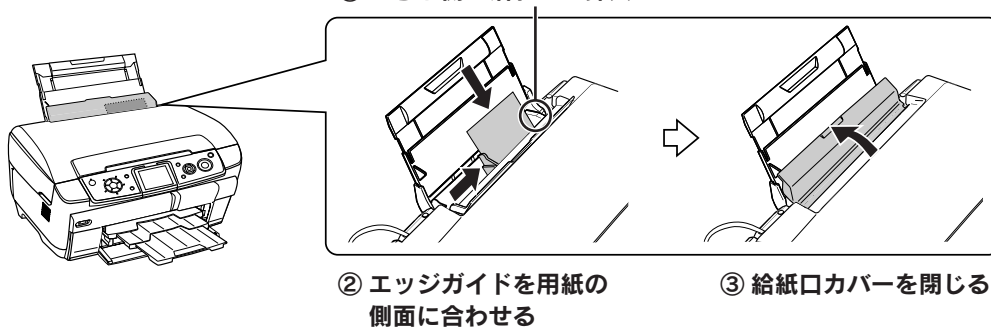
1 用紙サポートを引き出します。

①給紙口カバーを開く　②用紙サポートを引き出す　③後ろに傾ける

2 排紙トレイを引き出します。

①くぼみを押す　② 前面カバーを手前に開く　③ 排紙トレイを引き出す

3 印刷面を手前にして用紙を挿入し、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると正常に印刷できません。

① こちら側に沿わせて挿入

② エッジガイドを用紙の側面に合わせる　③ 給紙口カバーを閉じる

以上で、基本的な用紙のセット方法の説明は終了です。

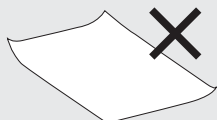
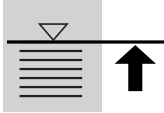
普通紙のセット

用紙の準備

用紙をセットする前に、以下をご確認ください。

！注意

- 次のような用紙は、使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

  ・丸まっている用紙
  ・破れている用紙
  ・切れている用紙
  ・穴があいている用紙
  ・折りがある用紙

  ・角がそってい る用紙

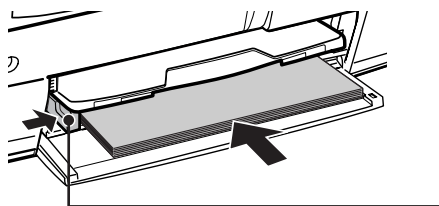
  ・印刷面が波打っている用紙

- 再生紙は、紙質によってはにじむことがあります。試し印刷をしてから購入されることをお勧めします。

用紙	セット可能枚数	準備
両面上質普通紙 <再生紙>※	エッジガイドの▼マークまで	反りを修正して平らにします。 ↓ 用紙をよくさばき、端を揃えます。 反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
市販の普通紙		

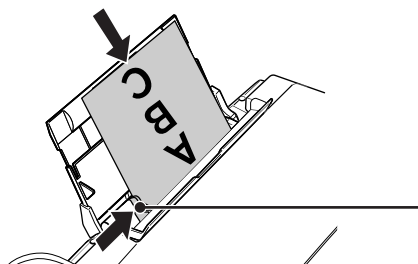
※両面印刷時のセット可能枚数は 30 枚までです。
　両面印刷時は背面オートシートフィーダにセットしてください。

普通紙のセット時のポイント

■前面オートシートフィーダ（A4 普通紙専用）

セットの向き
印刷面を下にして挿入。
天地がある場合は、天を奥に向けて挿入。

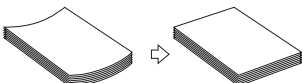
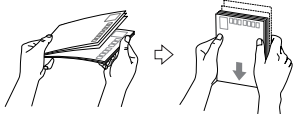
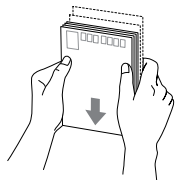
一度にセットできる枚数
エッジガイドの▼まで。

※両面印刷には対応していません。
　両面印刷時は背面オートシート
　フィーダにセットしてください。

■背面オートシートフィーダ

セットの向き
印刷面を手前にして、縦方向に挿入。
天地がある場合は、天を下側にして挿入。

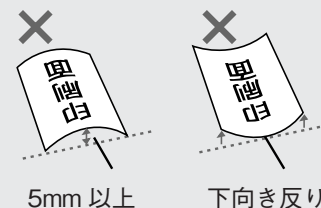
一度にセットできる枚数
エッジガイドの▼まで。

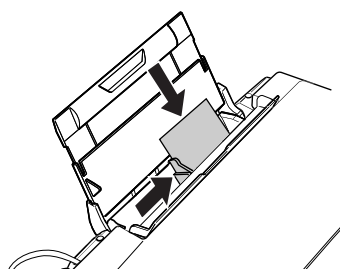
※両面印刷時は 30 枚までです。

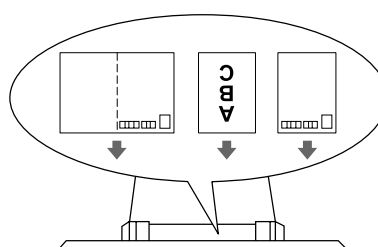
ハガキのセット

ハガキの準備

ハガキをセットする前に、以下をご確認ください。

!注意

- 写真を貼り付けたハガキや、シールなどを貼ったハガキは、使用しないでください。
- 往復郵便ハガキは、中央に折り目のないものをお使いください。
- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- エプソン製専用ハガキは、必要な枚数だけを袋から取り出し、残りは袋に入れて保管してください。
- 右図のように、5mm 以上反っているハガキや、下向きに反っている（両端が浮いている）ハガキは、セットしないでください。印刷面が汚れたり、正常に給排紙されないなどの原因になるおそれがあります。
- 片面に印刷後その裏面に印刷するときは、しばらく乾かした後、反りを修正して平らにしてください。先に宛名面から印刷することをお勧めします。

用紙	セット可能枚数	準備
郵便ハガキ 郵便ハガキ （インクジェット紙） 郵便往復ハガキ	50 枚	反りを修正して平らにします。 用紙をよくさばき、端を揃えます。 反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
郵便光沢ハガキ （写真用）	20 枚	
スーパーファイン専用ハガキ	50 枚	
写真用紙＜絹目調＞ はがき	20 枚	用紙の端を揃えます。 用紙をさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面が傷付くおそれがあります。

ハガキのセット時のポイント

セットの向き

宛先用の郵便番号枠を下側にし、印刷面を手前にして挿入。
通常のハガキは縦方向に挿入。
往復ハガキは折り目を付けずに横方向に挿入。

一度にセットできる枚数

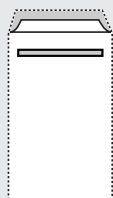
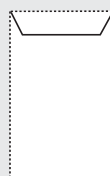
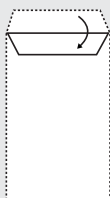
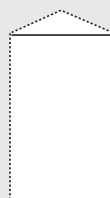
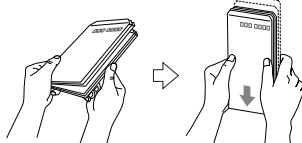
上表の「セット可能枚数」の通り。

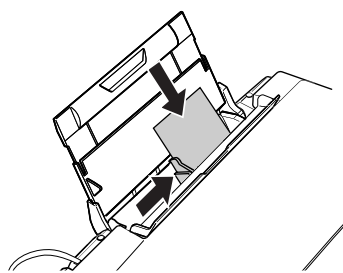
封筒のセット

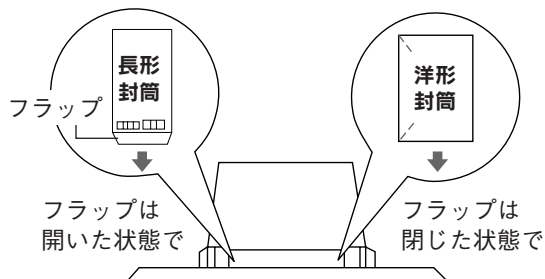
封筒の準備

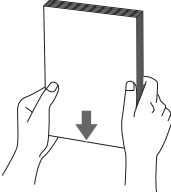
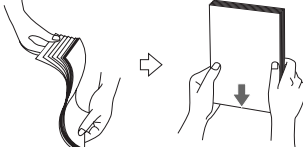
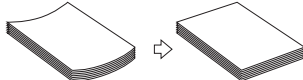
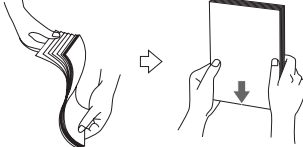
封筒をセットする前に、以下をご確認ください。

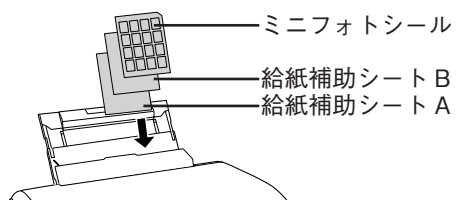
!注意

- 封筒はパソコンからの印刷のみ対応しています。
- 次のような封筒は使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

用紙	セット可能枚数	印刷面	準備
長形 3 号 /4 号 洋形 1 号 /2 号 /3 号 /4 号	10 枚	宛名面	よくさばき、端を揃えます。ふくらんでいる場合は、ふくらみを取り除いてください。

封筒のセット時のポイント

セットの向き

印刷面を手前にして、縦方向に挿入。
長形封筒はフラップを開いた状態でセット。
洋形封筒はフラップを閉じた状態でセット。

セット可能枚数

10 枚まで。

写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット

用紙の準備

用紙をセットする前に、以下をご確認ください。

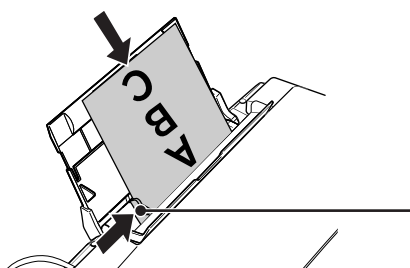
! 注意

- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- 必要な枚数だけを袋から取り出し、残りは袋に入れて保管してください。
- 光沢紙はパソコンからの印刷のみに対応しています。

用紙	セット可能枚数	印刷面	準備
写真用紙クリスピア＜高光沢＞	20 枚※	より光沢のある面	用紙の端を揃えます。 用紙をさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面が傷付くおそれがあります。
写真用紙＜光沢＞	20 枚（カードサイズのみ 30 枚）※	より光沢のある面	
写真用紙＜絹目調＞	20 枚※	より光沢のある面	
フォトマット紙	20 枚	より白い面	用紙をよくさばき、端を揃えます。
光沢紙	20 枚※	より光沢のある面	反りを修正して平らにします。 用紙をよくさばき、端を揃えます。 反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
スーパーファイン紙	エッジガイドの▼マークまで	より白い面	

※印刷結果がこすれたりムラになったりする場合は、1 枚ずつセットしてください。

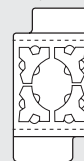
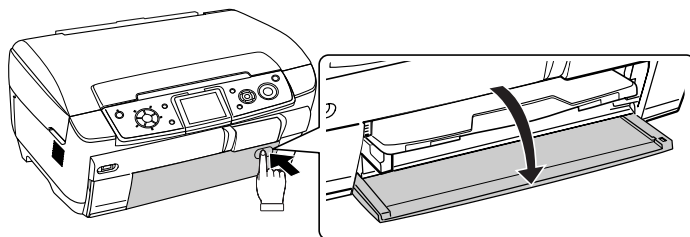
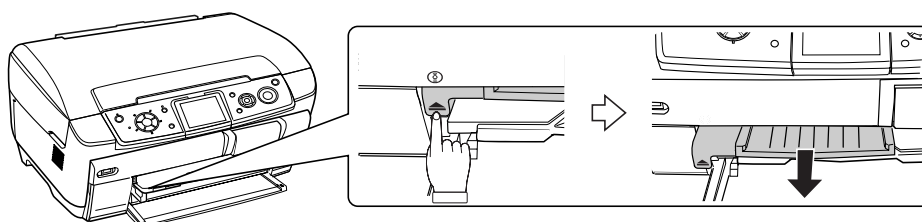
用紙	セット可能枚数	印刷面	準備
アイロンプリントペーパー	1 枚	白い面（印刷されていない面）	用紙が反っている場合は、反りを修正します。
ミニフォトシール	1 枚	コーナーカット（切り欠け部）が右上にくる面 印刷面	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 パッケージに同梱の給紙補助シート 2 枚(A と B)を下に敷いて、セットしてください。 ミニフォトシール 給紙補助シート B 給紙補助シート A
スーパーファイン専用ラベルシート	1 枚	EPSON ロゴマークが印刷されていない面	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 ラベルシートの台紙を剥がした状態でセットしないでください。また、一度カットしたラベルシートや、台紙から一度剥がして再度貼り付けたラベルシートはセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。
両面マット紙<再生紙>名刺サイズ	30 枚	–	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 裏面に印刷するときは、乾かした後に反りを修正してください。

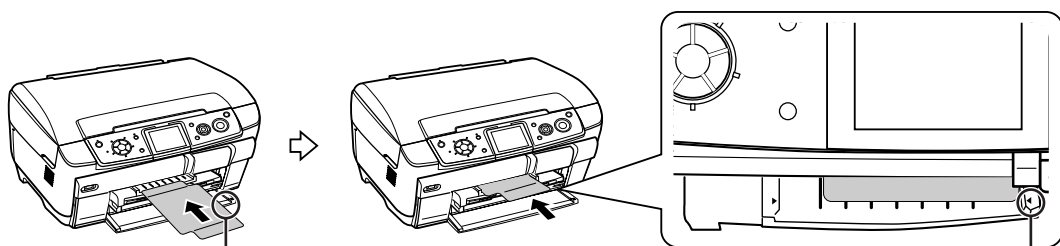
用紙のセット時のポイント

セットの向き
印刷面を手前にして、縦方向に挿入。
天地がある場合は、天を下側にして挿入。

一度にセットできる枚数
上表の「セット可能枚数」の通り。

フォトスタンド紙のセット

!注意

- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- 角が曲がっている用紙は、セットしないでください。
- 印刷前に、ミシン目部を折り曲げたり、切り離したりしないでください。正常に印刷できなくなります。

1 本製品の電源をオンにして、前面カバーを手前に開きます。

2 （⏏）マーク部分を押して、CD/DVD ガイドを出します。

3 フォトスタンド紙を CD/DVD ガイドにセットします。

印刷面を上にして縦方向に 1 枚だけ挿入し、後端を CD/DVD ガイドの三角マークに合わせます。
印刷を実行すると、自動的に用紙が引き込まれ、印刷が始まります。

!注意

- 必ず前面から挿入してください。背面から挿入すると、故障の原因となります。
- 本体の背面には十分なスペースを確保してください。印刷開始時には、フォトスタンド紙が背面から約 5cm 排出されます。

4 印刷終了後は、フォトスタンド紙を引き抜き、CD/DVD ガイドを収納します。

 本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

以上で、フォトスタンド紙のセット方法の説明は終了です。

CD/DVD のセット方法

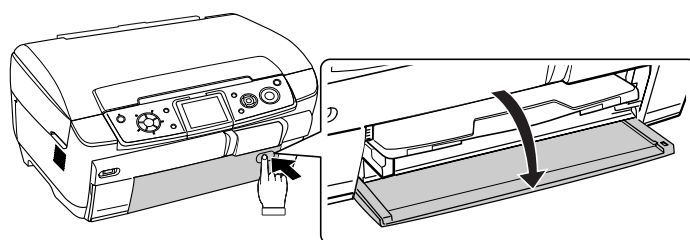
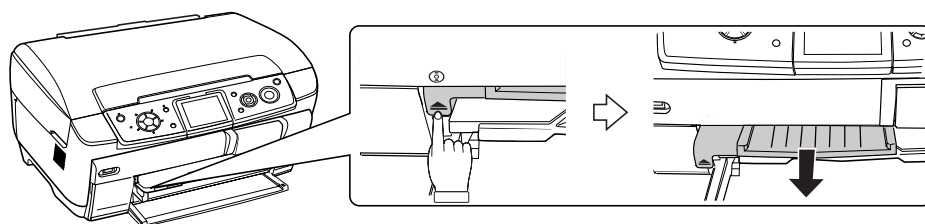
本製品で印刷できる CD/DVD は、以下の通りです。

- レーベル面がインクジェット方式カラープリンタでの印刷に対応しているもの（CD/DVD の取扱説明書などに、「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンタ対応」などと表記されているもの）
- 12cm/8cm サイズの CD/DVD メディア（CD-R/RW、DVD-R/RW など）

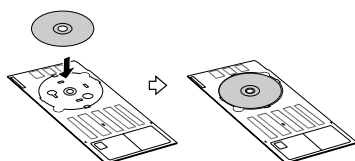
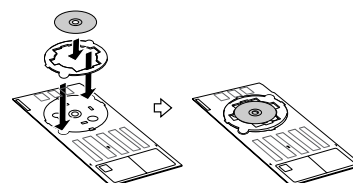
参考

- CD/DVD の取り扱い方法やデータ書き込み時の注意事項については、CD/DVD の取扱説明書をご覧ください。
- 印刷できることを確認した CD/DVD については、エプソンのホームページでご案内しています。（一部の高画質 CD/DVD に対応していますが、光沢 CD/DVD には対応していません。）＜ http://www.i-love-epson.co.jp/cdr_media/ ＞

CD/DVD のセット

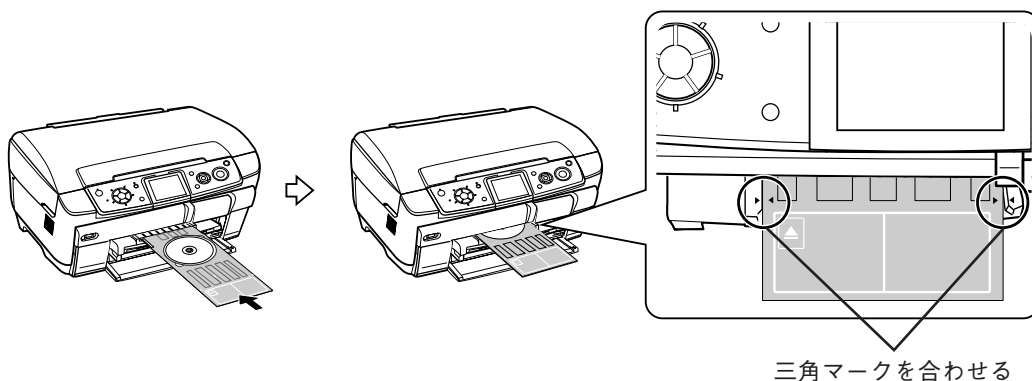
1 本製品の電源をオンにして、前面カバーを手前に開きます。

2 （⏏）マーク部分を押して、CD/DVD ガイドを出します。

3 CD/DVD を専用のトレイに載せます。

購入時は「8cmCD/DVD 用アタッチメント」および「CD/DVD 印刷位置確認用シート（お試し印刷用）」がトレイに貼り付いています。これらを取り外してから、トレイ上にゴミがないかを確認し、CD/DVD の印刷面（レーベル面）を上にして 1 枚だけ載せてください。

12cm CD/DVD の場合

8cm CD/DVD の場合

! 注意

- 本製品に付属のトレイをお使いください。他の機種に付属のトレイは使用できません。
- 8cm CD/DVD をセットする場合は、付属のアタッチメントも併せてセットしてください。アタッチメントをセットしないと、印刷品質の低下、印刷位置のずれ、給紙不良につながるおそれがあります。なお、市販のアタッチメントは使用できません。

4 トレイを CD/DVD ガイドにセットします。

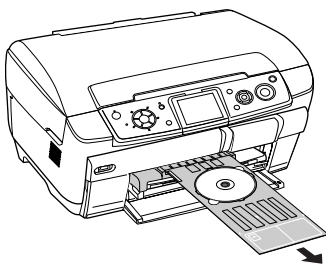
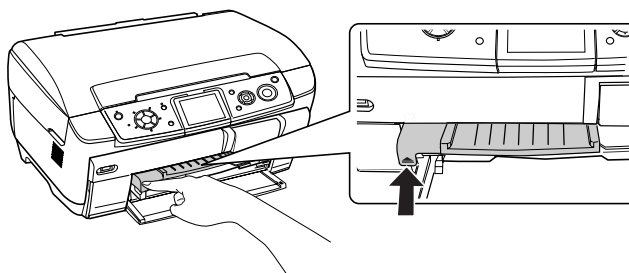
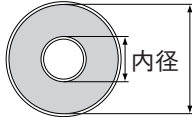
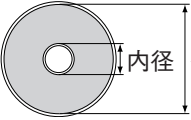
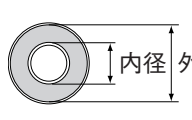
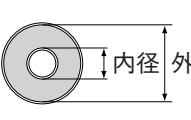
図の向きに従ってトレイを挿入し、トレイと CD/DVD ガイドの三角マークを合わせます。
印刷を実行すると、自動的にトレイが引き込まれ、印刷が始まります。

!注意

- トレイは必ず本体の前面から挿入してください。背面から挿入すると、故障の原因となります。
- 本体の背面には十分なスペースを確保してください。印刷開始時には、CD/DVD トレイが背面から約 5cm 排出されます。

CD/DVD の取り出し方法

!注意

CD/DVD 印刷が終了したら、必ず CD/DVD トレイを取り出してください。CD/DVD トレイをセットしたままの状態で電源をオン / オフすると、故障するおそれがあります。

1 印刷中でないことを確認し、CD/DVD トレイごと引き抜きます。

2 （⏏）マーク部分を押して、CD/DVD ガイドを収納します。

以上で、CD/DVD のセット方法の説明は終了です。

CD/DVD レーベルへの印刷について

CD/DVD の印刷領域

下図のグレーの領域に印刷されます。印刷機能、CD/DVD のサイズにより、印刷できる領域が異なります。

	12cm CD/DVD		12cm CD/DVD ワイドエリアタイプ※1		8cm CD/DVD		8cm CD/DVD ワイドエリアタイプ※1	
	内径	外径	内径	外径	内径	外径	内径	外径
PM-A950 単体使用時※2※4	43mm	116mm	セットアップモードで設定します。※5		選択できません。			
パソコン使用時※3※4	43mm	116mm	26mm	116mm	43mm	76mm	26mm	76mm

※ 1：印刷可能範囲が広いタイプ（内側ギリギリまで印刷可能）の CD/DVD。
※ 2：CD コピー / メモリカード印刷での、標準設定の数値です。
※ 3：付属のアプリケーションソフト『EPSON Multi-PrintQuicker』を使用する場合の、標準設定の数値です。
※ 4：内径は最小 18mm まで、外径は最大 120mm まで設定可能ですが、設定値によっては CD/DVD やトレイが汚れるおそれがあります。ご使用になる CD/DVD レーベルの印刷範囲内で設定してください。
※ 5：CD/DVD 内径調整、CD/DVD 外径調整で設定してください。
本書 130 ページ「CD/DVD レーベルの印刷領域調整」

CD/DVD 印刷時のご注意

印刷前

- CD/DVD への印刷は、データ記録後に行うことをお勧めします。印刷してからデータ記録を行うと、指紋などの汚れやキズなどによって、記録時に書き込みエラーになるおそれがあります。
- CD/DVD の種類や印刷データによっては、にじみが発生する場合があります。不要な CD/DVD を使用して試し印刷を行い、印刷品質を確認することをお勧めします。色合いについては 24 時間以上経過した後の状態を確認してください。
- CD/DVD に印刷するときの初期設定では、印刷品質を確保するために、エプソン製専用紙より低い濃度で印刷されます。

印刷後

- 印刷後は、CD/DVD トレイを必ず引き抜いておいてください。挿入したままの状態でプリントヘッドのクリーニングなどを行うと、プリントヘッドがトレイの先端と接触するおそれがあります。
- 印刷後は、24 時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは CD-ROM ドライブなどの機器にセットしないでください。
- 直射日光を避けて乾燥させてください。
- 印刷面がべたついて乾燥しない場合は、印刷濃度が濃いことが考えられます。印刷濃度を調整して印刷することをお勧めします。
- 印刷面に水滴などが付くと、にじみが発生するおそれがあります。
- 印刷位置がずれて CD/DVD トレイ上に印刷された場合や、CD/DVD の内側の透明部分に印刷された場合は、すぐにふき取ってください。
- 一度印刷したレーベル面に再度印刷しても、きれいに仕上がりません。

［用紙種類］の設定

各印刷モードで、印刷用紙に合わせて［用紙種類］の設定をすると、簡単にきれいに印刷することができます。

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">用紙名称</th><th colspan="4">［用紙種類］の設定</th></tr>
<tr><th>コピー</th><th>メモリカード印刷</th><th>フィルム印刷</th><th>パソコンから印刷</th></tr>
<tr><td rowspan="2">写真用紙</td><td>写真用紙クリスピア
＜高光沢＞</td><td colspan="3">写真用紙クリスピア</td><td>EPSON 写真用紙
クリスピア</td></tr>
<tr><td>写真用紙＜光沢＞
写真用紙＜絹目調＞</td><td colspan="3">写真用紙</td><td>EPSON 写真用紙</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td>光沢紙</td><td colspan="3">×</td><td>EPSON 光沢紙</td></tr>
<tr><td rowspan="3">マット紙</td><td>フォトマット紙</td><td colspan="3">フォトマット紙</td><td>EPSON フォト
マット紙</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン紙</td><td colspan="3">スーパーファイン紙</td><td>EPSON スーパー
ファイン紙</td></tr>
<tr><td>両面マット紙＜再生紙＞</td><td colspan="3">両面マット紙</td><td>EPSON 両面
マット紙
＜再生紙＞</td></tr>
<tr><td>普通紙</td><td>両面上質普通紙＜再生紙＞
コピー用紙 / 事務用普通紙</td><td colspan="3">普通紙（前面）
普通紙（背面）</td><td>普通紙</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ハガキ</td><td>郵便ハガキ（再生紙）※</td><td colspan="3">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便ハガキ</td><td>宛名面：普通紙
通信面：普通紙</td></tr>
<tr><td>往復郵便ハガキ※</td><td colspan="3">×</td><td>普通紙</td></tr>
<tr><td>郵便ハガキ
（インクジェット紙）※</td><td colspan="3">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便 IJ ハガキ</td><td>宛名面：普通紙
通信面：郵便ハガキ
（インクジェット紙）</td></tr>
<tr><td>郵便光沢ハガキ（写真用）※</td><td colspan="3">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便光沢ハガキ</td><td>宛名面：普通紙
通信面：郵便光沢ハガキ</td></tr>
<tr><td>写真用紙＜絹目調＞はがき</td><td colspan="3">宛名面：郵便ハガキ
通信面：写真用紙</td><td>宛名面：普通紙
通信面：EPSON 写真用紙</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用ハガキ</td><td colspan="3">宛名面：郵便ハガキ
通信面：郵便 IJ ハガキ</td><td>宛名面：普通紙
通信面：EPSON スーパーファイン紙</td></tr>
<tr><td rowspan="4">バラエティ用紙</td><td>フォトスタンドキット</td><td colspan="3">×</td><td>EPSON フォト
スタンド</td></tr>
<tr><td>ミニフォトシール</td><td colspan="2">ミニフォトシール</td><td>×</td><td>EPSON フォト
シール</td></tr>
<tr><td>アイロンプリントペーパー</td><td colspan="2">アイロンプリント紙</td><td>×</td><td>EPSON アイロン
プリントペーパー</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用ラベルシート</td><td colspan="3">スーパーファイン紙</td><td>EPSON スーパー
ファイン紙</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>封筒</td><td colspan="3">×</td><td>封筒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">CD/DVD</td><td>CD/DVD</td><td colspan="2">CD/DVD レーベル</td><td>×</td><td>CD/DVD レーベル</td></tr>
<tr><td>高画質 CD/DVD</td><td colspan="2">CD/DVD レーベル</td><td>×</td><td>高画質対応
CD/DVD レーベル</td></tr>
</table>

※：日本郵政公社製
×：非対応

原稿とコピーの種類について

原稿の種類

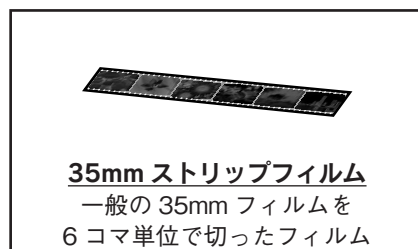
原稿の種類には、反射原稿と透過原稿があります。本章「コピー」では、印刷物や写真などの反射原稿をスキャンして印刷する方法を説明しています。透過原稿については、「フィルムから写真プリント」の章をご覧ください。

■反射原稿 ：紙などの光を反射する不透明な素材に印刷されている原稿（印刷物や写真など）。

テキスト
文字が多い原稿

グラフィック
写真やイラストなどの画像が多い原稿

CD/DVD レーベル

■透過原稿 ：フィルムなどの光を透過する透明な素材を用いた原稿（写真フィルムなど）。

35mm ストリップフィルム
一般の 35mm フィルムを 6 コマ単位で切ったフィルム

35mm マウントフィルム
スライド用に、カラーポジフィルムを 1 枚ずつ切って枠に挟んだフィルム

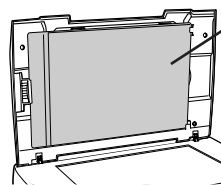
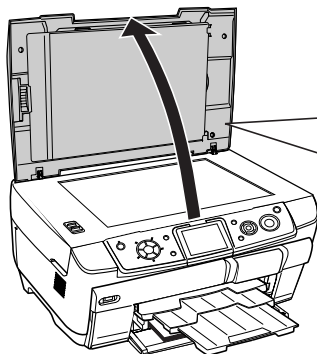
原稿のセット方法

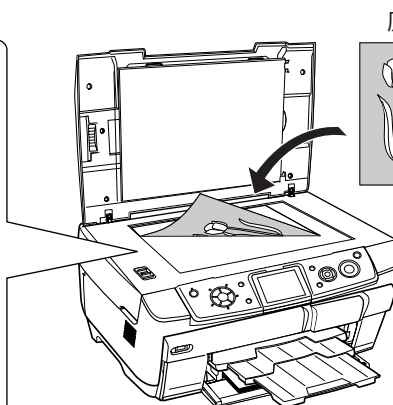
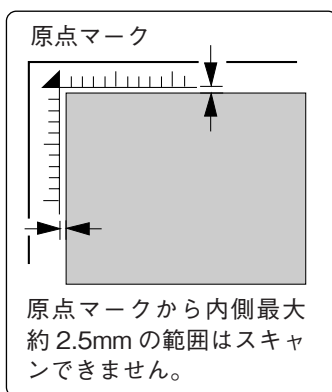
反射原稿のセット方法

透過原稿のセット方法

コピーの種類

原稿のセット方法

1 原稿カバーを開け、保護マットが付いていることを確認します。

2 原稿を原稿台に置きます。

スキャンする面を下に向け、原稿台の原点マーク（▼）に合わせて、図の向きに置いてください。

！注意

原稿は、スキャンする面が平らなものを使用してください。スキャンする面がゆがんでいると、ゆがんだままスキャンされます。

3 原稿カバーを閉じます。

原稿カバーに指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

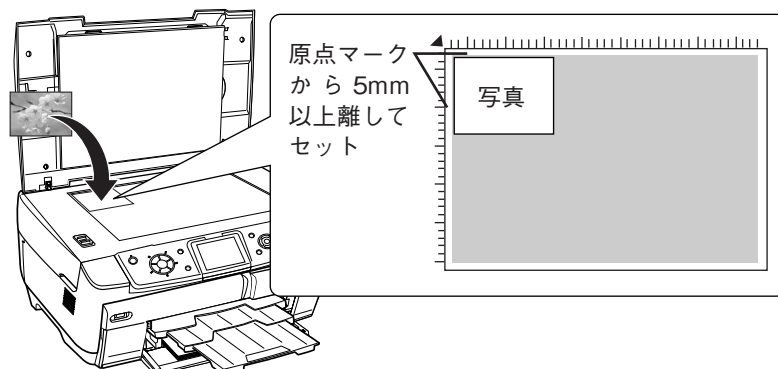
！注意

- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

以上で、原稿のセット方法の説明は終了です。

ファンプリントモードでの写真原稿のセット

ファンプリントモードでは、写真原稿をきれいに簡単にコピーする機能があります。ファンプリントモードで写真をコピーする場合は、写真原稿を下図のようにセットしてください。

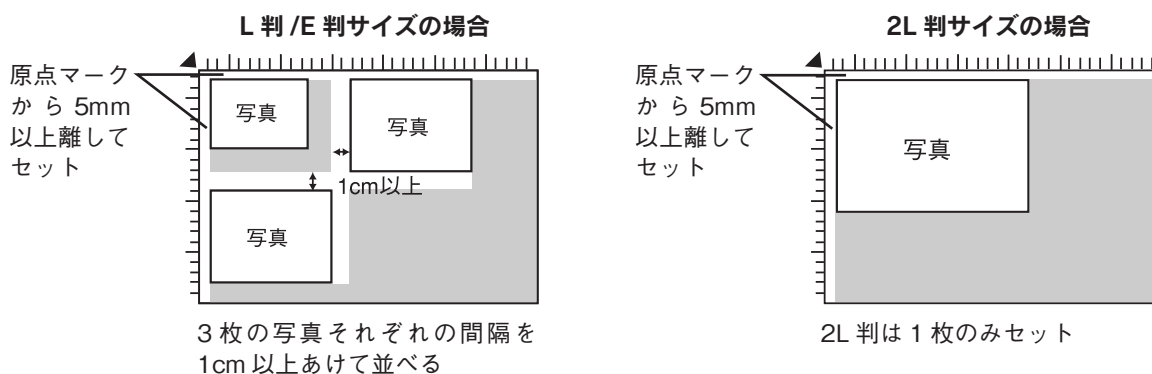
本書 40 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」
本書 42 ページ「写真をズームアップして焼き増し」
本書 43 ページ「写真にフレームを付けて焼き増し< P.I.F. 印刷>」

なお、ファンプリントモードの「写真コピー」では、L 判 /E 判サイズの写真原稿をまとめて 3 枚までセットすることができます。

本書 40 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」

L 判 /E 判サイズの場合

3 枚の写真それぞれの間隔を 1cm 以上あけて並べる

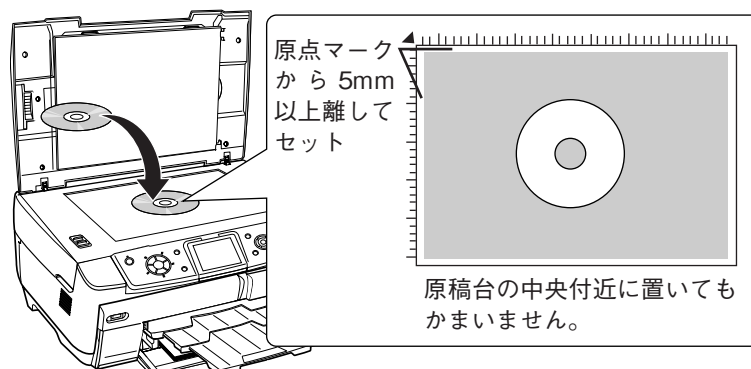
2L 判サイズの場合

2L 判は 1 枚のみセット

CD/DVD レーベル原稿のセット

CD/DVD レーベルをコピーする場合は、下図のようにセットしてください。

本書 45 ページ「CD レーベルへのコピー」

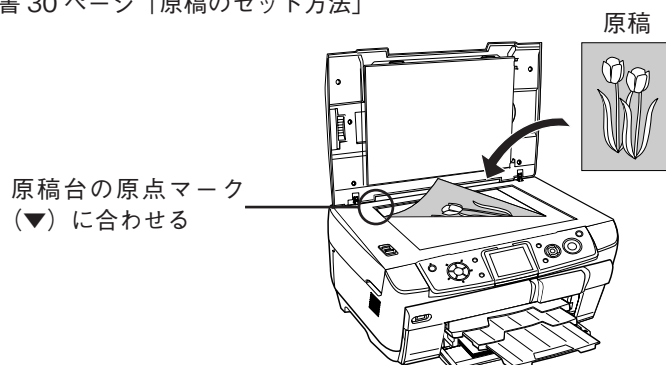
原稿台の中央付近に置いてもかまいません。

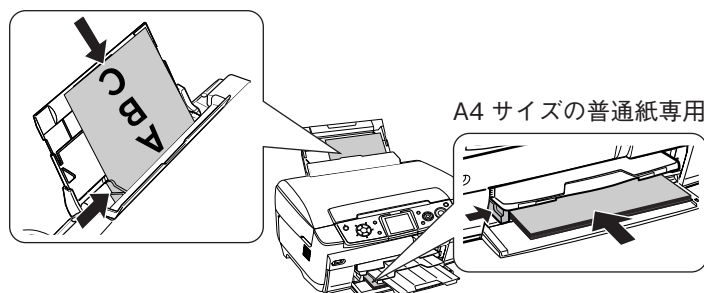
コピー

基本的なコピー

1 電源をオンにします。

☞ 本書 10 ページ「操作パネルの基本操作」

2 原稿をセットします。

☞ 本書 30 ページ「原稿のセット方法」

3 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

4 操作パネルの【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

コピーモードのランプが点灯します。

参考

コピーモードにならない場合は、もう一度【コピー】ボタンを押してください。電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンが反応しません。また、液晶ディスプレイが暗くなっているとき（スリープモード時）や、スクリーンセーバー起動中は、【コピー】ボタンを 2 回押してください。

5 コピー枚数を設定します。モノクロでコピーしたい場合は、[モノクロ] に設定します。

必要に応じて、原稿種（[テキスト] か [写真]）、およびレイアウトを設定します。

☞ 本書 46 ページ「コピー設定」

コピー枚数設定の場合

【▷】か【◁】ボタンで枚数設定

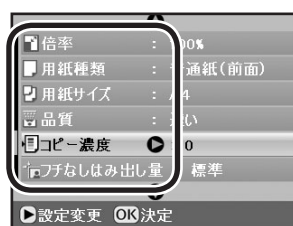
【▷】ボタンを押すごとに「2 枚、3 枚、･･･99 枚」と枚数を増やせます。【◁】ボタンを押すと「99 枚、98 枚･･･」と枚数を減らせます。

モノクロコピー設定の場合

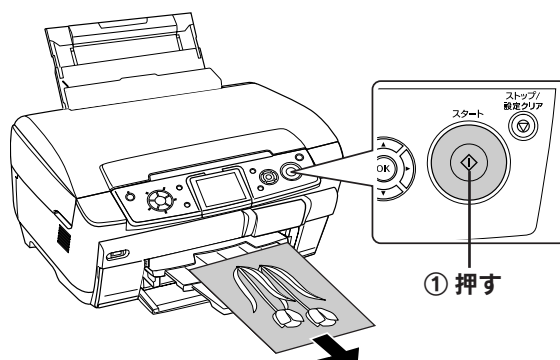
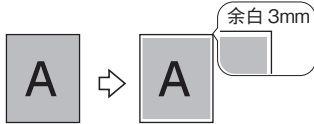
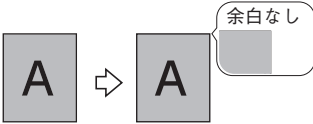
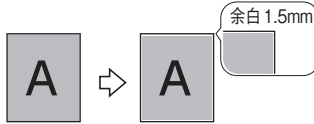
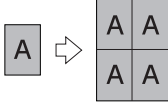
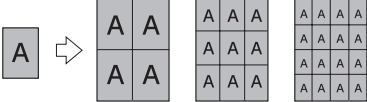
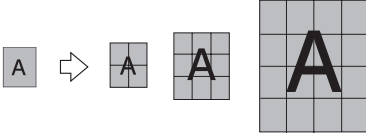
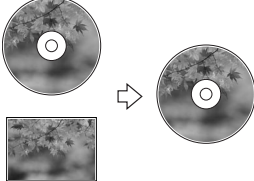
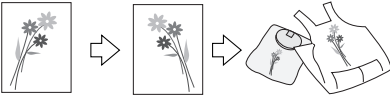
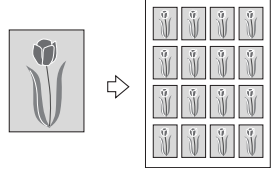
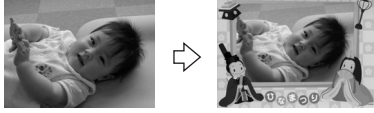
① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】か【◁】ボタンで[モノクロ]に設定

6 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定を変更します。

☞ 本書 47 ページ「印刷設定」

① 【印刷設定】ボタンで設定画面表示

② 【▽】か【△】ボタンで項目選択
③ 【▷】ボタンで設定値表示

④ 【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤ 【OK】ボタンで決定
⑥ 【OK】ボタンで設定終了

7 【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

参考

印刷を途中で止めたい場合は、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してください。
印刷が中止されるまでには、多少時間がかかる場合があります。

以上で、基本的なコピーの説明は終了です。

コピー

いろいろなコピー

「基本的なコピー」の手順で、[レイアウト] を変更すると、いろいろなコピーができます。

レイアウトを変更する

■標準
余白 3mm でコピー
☞35 ページ

■フチなし
余白なしで全面コピー
☞35 ページ

■ギリギリ
余白 1.5mm でコピー
☞35 ページ

■リピート 自動
用紙サイズに合わせて、原稿を等倍で複数枚割り付けコピー
☞40 ページ

■リピートコピー 4/9/16
用紙サイズに合わせて、原稿を4/9/16 面割り付けコピー
☞40 ページ

■ポスター 4/9/16
原稿を 4 倍 /9 倍 /16 倍に拡大コピー
☞38 ページ

■2 アップ
2 枚の原稿を A4 サイズの用紙に自動割付
☞39 ページ

■4 アップ
4 枚の原稿を A4 サイズの用紙に自動割付
☞39 ページ

特殊なもの（用紙）にコピーする

■CD コピー
12cm CD/DVD レーベルにコピー
☞45 ページ

■ミラーコピー
アイロンプリントペーパーに左右反転コピー
☞36 ページ

■ミニフォトコピー
ミニフォトシール用紙に 16 面付けコピー
☞37 ページ

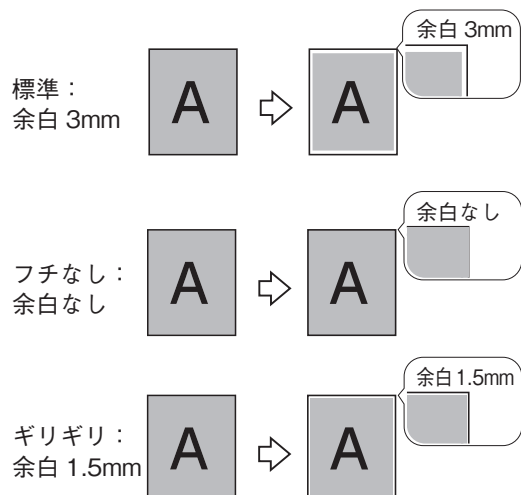
写真を焼き増しする（※ファンプリントモード）

■写真コピー
写真を複数枚まとめて焼き増し
☞40 ページ

■ズーム印刷
写真をズームアップしてコピー
☞42 ページ

■P.I.F. 印刷
写真にフレームを付けてコピー
☞43 ページ

余白設定の変更＜標準 / フチなし / ギリギリ＞

3 種類の余白の設定ができます。

1 **原稿をセットします。**

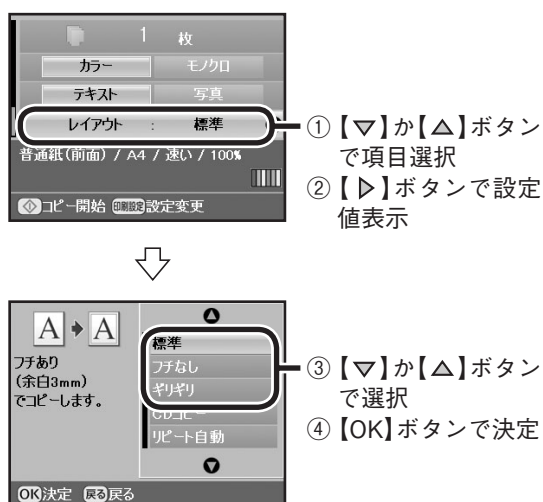
☞ 本書 30 ページ「原稿のセット方法」

2 **印刷用紙をセットします。**

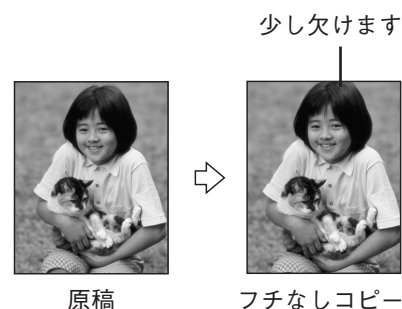
☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。**

4 **【▷】か【◁】ボタンを押して、コピー枚数を設定します。**

5 **レイアウトを［標準］/［フチなし］/［ギリギリ］のいずれかに設定します。**

参考

- フチなしレイアウトは、普通紙 / スーパーファイン紙には対応していません。
- ［フチなし］設定は、原稿を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、原稿の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、「印刷設定」ではみ出し量を調整してください。
☞ 本書 47 ページ「印刷設定」

原稿　　フチなしコピー

6 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

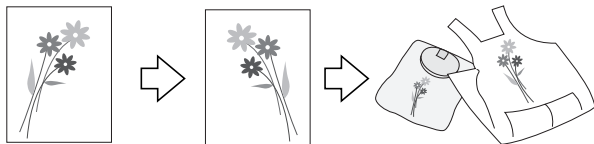
☞ 本書 47 ページ「印刷設定」

7 **【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。**

以上で、余白設定を変更してコピーする手順説明は終了です。

コピー

左右反転コピー<ミラーコピー>

原稿を左右反転してコピーします。
反転コピーしたアイロンプリントペーパーを、アイロンを使って布（綿100%または綿50%以上の混紡）に転写すると、原稿と同じ向きになります。

1 原稿をセットします。

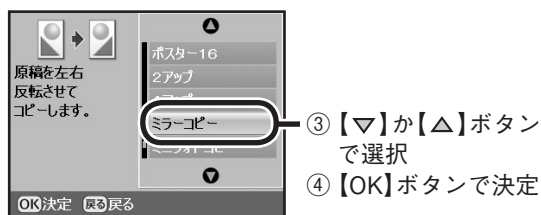
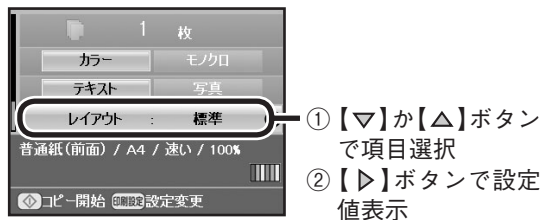
本書30ページ「原稿のセット方法」

2 印刷用紙（A4普通紙またはアイロンプリントペーパー）をセットします。

アイロンプリントペーパーは1枚ずつセットしてください。

本書16ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

4 レイアウトを［ミラーコピー］に設定します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

5 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

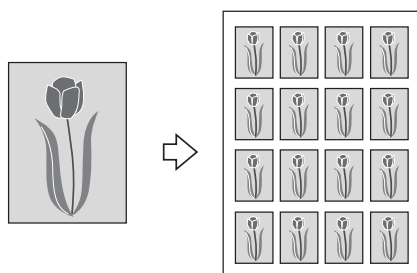
本書47ページ「印刷設定」

6 【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

- アイロンを使って布に転写する方法は、アイロンプリントペーパーの説明書をご覧ください。
- アイロンプリントペーパーを使った楽しい活用例を、『活用ガイド』（電子マニュアル）でご案内しています。ぜひ、ご覧ください。
本書116ページ「活用ガイドの表示方法」

以上で、ミラーコピーの手順説明は終了です。

ミニフォトシールへのコピー

ミニフォトシール用紙（ハガキサイズ）に、16 面付けで縮小コピーし、小さなシールを作ります。

1 **原稿（L 判サイズ以下）をセットします。**

本書 30 ページ「原稿のセット方法」

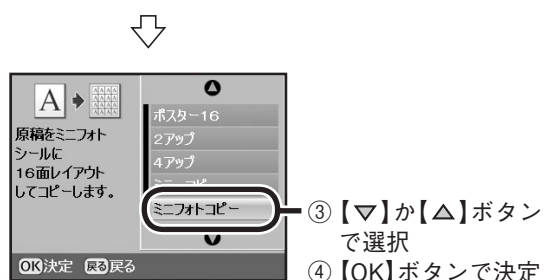
2 **印刷用紙（ミニフォトシール）を、1 枚だけセットします。**

本書 17 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット」

3 **【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。**

4 **レイアウトを［ミニフォトコピー］に設定します。**

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定

5 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

本書 47 ページ「印刷設定」

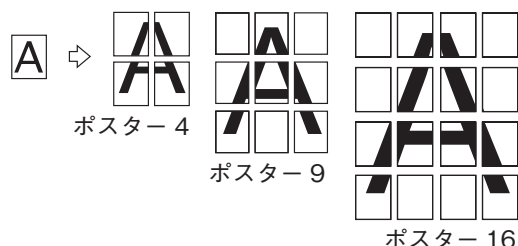
6 **【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。**

印刷位置のズレが気になる場合は、セットアップモードの「シール上下 / 左右調整」で、印刷位置を微調整できます。
本書 131 ページ「ミニフォトシールの位置調整」

以上で、ミニフォトシールコピーの手順説明は終了です。

コピー

ポスターサイズに拡大コピー

原稿を A4 サイズ 4/9/16 枚分の用紙に分割して拡大コピーします。
コピー結果を貼り合わせると大判のポスターが完成します。

参考

最大コピー倍率は 400% です。小さな原稿では、ポスター 9 や 16 を設定しても、A4 サイズの用紙 9 枚分や 16 枚分に拡大されない場合があります。

1 原稿をセットします。

本書 30 ページ「原稿のセット方法」

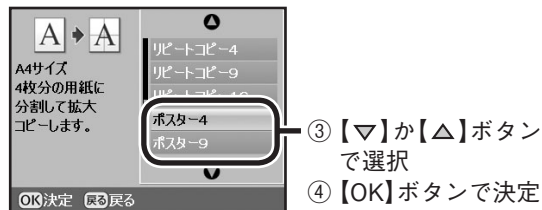
2 印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。

ポスター 4 の場合は 4 枚、ポスター 9 の場合は 9 枚、ポスター 16 の場合は 16 枚の用紙をセットしてください。
本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

4 レイアウトを［ポスター 4］/［ポスター 9］/［ポスター 16］のいずれかに設定します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定

5 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

本書 47 ページ「印刷設定」

6 【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

拡大コピーされます。

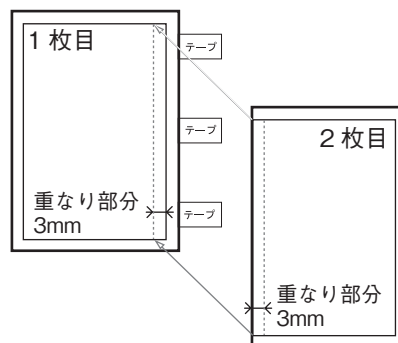
コピー結果の貼り合わせ

コピー結果を貼り合わせて 1 枚のポスターにする手順を、「ポスター 4」を例に説明します。

1 下図のグレーの部分（用紙の余白）を切り取ります。

コピー結果には、上下左右に 3mm の余白があります。貼り合わせるときに不要となる下図の余白（グレーの部分）を切り取ります。

2 1 枚目の裏面にテープを付け、2 枚目を重ねるように貼り合わせます。

貼り合わせる辺には、重なり部分が 3mm ずつあります。自然なつながりになるように貼り合わせてください。

3 3 枚目以降も同様の手順で貼り合わせます。

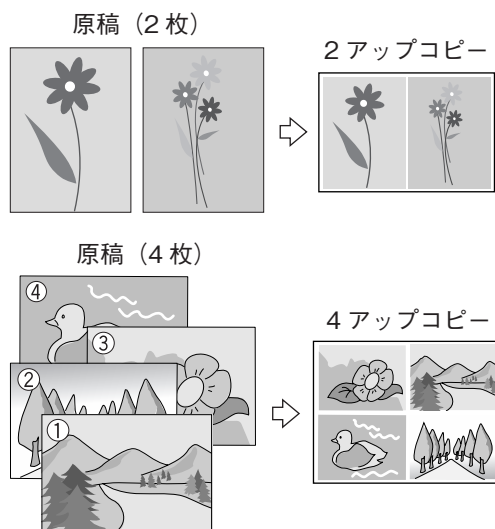
以上で、ポスターコピーの手順説明は終了です。

用紙の節約　縮小割り付けコピー ＜ 2 アップ /4 アップ＞

2 枚または 4 枚の原稿を、A4 サイズ 1 枚の用紙に縮小割り付けしてコピーします。

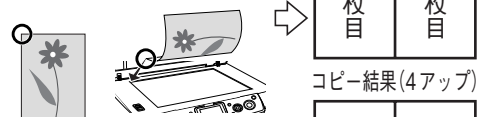
原稿（2 枚）

2 アップコピー

原稿（4 枚）　4 アップコピー

1 **1 枚目の原稿をセットします。**

本書 30 ページ「原稿のセット方法」

原稿の向きとコピー結果（割り付け順序）については以下をご覧ください。

- 縦長原稿の場合
  原稿の○の部分を原点マークに合わせ、伏せてセットしてください。

コピー結果(2アップ)

1枚目	2枚目

コピー結果(4アップ)

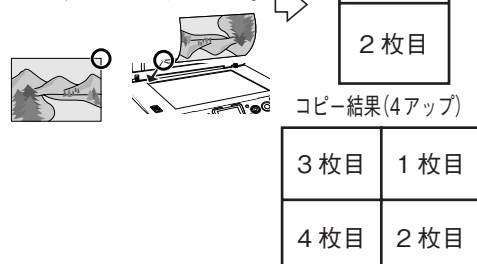
1枚目	2枚目
3枚目	4枚目

- 横長原稿の場合
  原稿の○の部分を原点マークに合わせ、伏せてセットしてください。

コピー結果(2アップ)

1 枚目
2 枚目

コピー結果(4アップ)

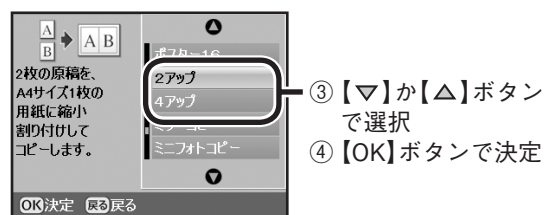
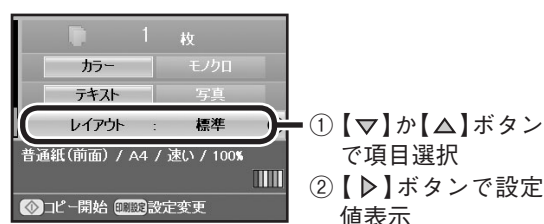
3 枚目	1 枚目
4 枚目	2 枚目

2 **印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。**

本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。**

4 **レイアウトを［2 アップ］/［4 アップ］のいずれかに設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

5 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

本書 47 ページ「印刷設定」

6 **【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。**

1 枚目の原稿のコピーが始まります。

7 **「原稿交換」のメッセージが表示されたら、2 枚目の原稿をセットし、【スタート】ボタンを押します。**

2 枚目の原稿のコピーが始まり、2 アップの場合はコピー結果が排出されます。
【ストップ / 設定クリア】ボタンを押すと、1 枚目のコピー結果だけが排出されます。

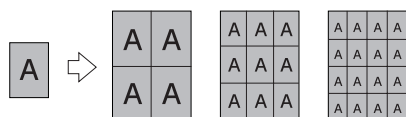
8 **4 アップの場合は、手順 7 を繰り返します。**

以上で、2 アップ /4 アップコピーの手順説明は終了です。

コピー

リピートコピー

用紙サイズに合わせて、原稿を複数枚割り付けてコピーします。

リピート自動

原稿を等倍で
複数枚割り付け

リピートコピー4/9/16

1 **原稿をセットします。**

本書 30 ページ「原稿のセット方法」

2 **印刷用紙をセットします。**

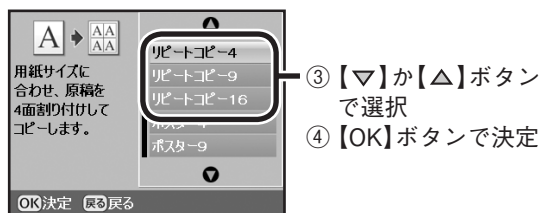
本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。**

4 **【▷】か【◁】ボタンを押して、コピー枚数を設定します。**

5 **レイアウトを[リピート自動]/[リピート 4]/[リピート 9]/[リピート 16]のいずれかに設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

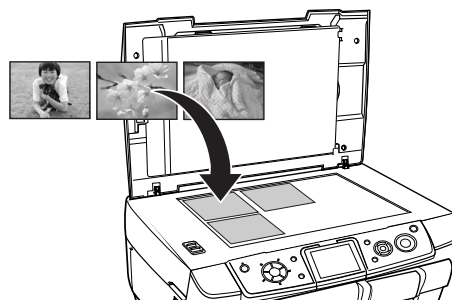
③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

6 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

本書 47 ページ「印刷設定」

7 **【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。**

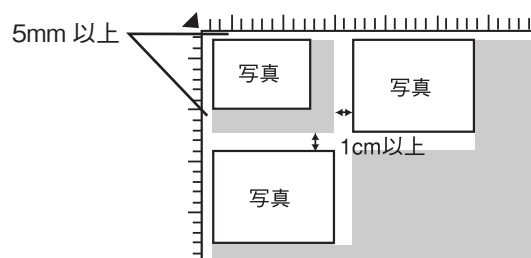
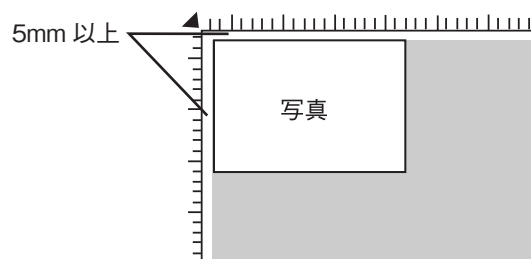
以上で、リピートコピーの手順説明は終了です。

写真の焼き増し<写真コピー>

写真の焼き増し / 引き伸ばしが簡単にできます。また、L 判写真などを複数枚同時にセットし、一度にまとめてコピーすることもできます。

1 **写真原稿をセットします。**

本書 31 ページ「ファンプリントモードでの写真原稿のセット」

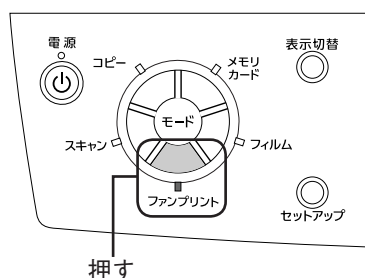
原稿は、原点マークから 5mm 以上離して、横置きでセットしてください。

L 判 /E 判サイズの場合、横置きで 3 枚までセットできます。3 枚の写真それぞれの間隔を、下図のように必ず 1cm 以上あけて並べてください。

2L 判サイズの場合は 1 枚だけセットできます。

参考

- スキャンできる写真のサイズは、最小で 30 × 40mm、最大で 127 × 178mm(2L 判)までです。
- 余白(フチ)のある写真や、周囲に白い部分のある写真の場合は、原稿を認識しないことがあります。

2 **印刷用紙(写真用紙)をセットします。**

本書 17 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット」

3 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

4 メニューの［写真コピー］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

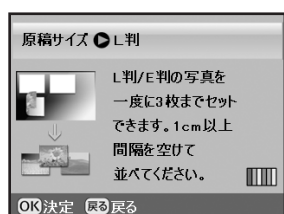
5 コピー方法の［焼増し］を選択します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定
⑤【OK】ボタンで設定終了

参考

退色復元を［する］に設定すると、色あせたり変色した写真を、色鮮やかに甦らせることができます。

6 セットした写真のサイズを設定します。

①【▷】ボタンを押す
②【▽】か【△】ボタンで選択
③【OK】ボタンで決定

7 【OK】ボタンを押して、写真をスキャンします。

8 写真ごとに焼き増し枚数を設定します。

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【▽】か【△】ボタンで枚数設定

9 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞本書 47 ページ「印刷設定」
☞本書 48 ページ「ファンプリントモード（写真原稿のコピー）時の印刷設定」

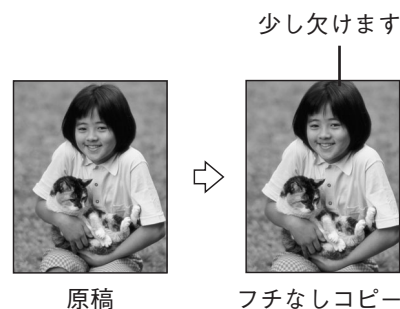
参考

［フチなし］設定は、原稿を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、原稿の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、「印刷設定」ではみ出し量を調整してください。

☞本書 48 ページ「ファンプリントモード（写真原稿のコピー）時の印刷設定」

少し欠けます

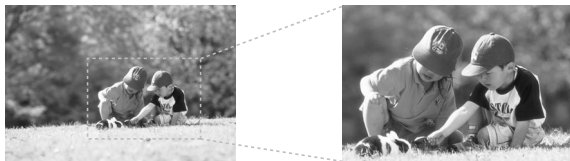
原稿

フチなしコピー

10 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、写真の焼き増しの手順説明は終了です。

コピー

写真をズームアップして焼き増し

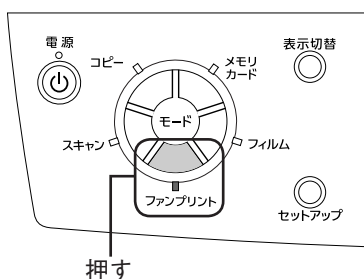
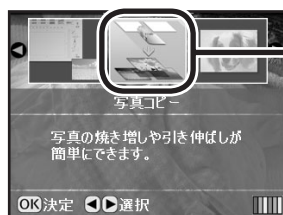
1 枚の写真の一部をズームアップして焼き増しします。

1 写真原稿をセットします。

☞本書 31 ページ「ファンプリントモードでの写真原稿のセット」

原稿は、原点マークから 5mm 以上離して、横置きでセットしてください。

2 印刷用紙（写真用紙）をセットします。

☞本書 17 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット」

3 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

4 メニューの［写真コピー］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 コピー方法を［ズーム］に設定します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで［ズーム］を選択
④ 【OK】ボタンで決定

6 【OK】ボタンを押して、写真をスキャンします。

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

7 スキャン結果を確認し、【OK】ボタンを押します。

スキャンし直す場合は、【戻る】ボタンを押してください。

① スキャン結果を確認
② 【OK】ボタンで決定

8 ズームアップする部分の中心「＋」を設定します。

① 【△】【▽】【▷】【◁】ボタンで「＋」の位置を移動
② 【OK】ボタンで決定

9 ズームアップする範囲を設定します。

① 【△】か【▽】ボタンで枠を拡大縮小
② 【OK】ボタンで決定

10 焼き増し枚数を設定します。

【△】か【▽】ボタンで枚数設定

11 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞本書 47 ページ「印刷設定」
☞本書 48 ページ「ファンプリントモード（写真原稿のコピー）時の印刷設定」

12 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、写真のズーム焼き増しの手順説明は終了です。

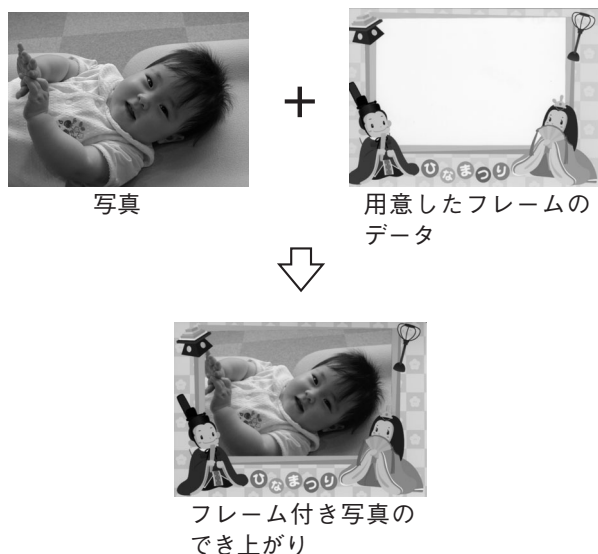
写真にフレームを付けて焼き増し＜P.I.F. 印刷＞

あらかじめ用意したフレームやレイアウトのデータを、写真に重ね合わせて（合成して）焼き増しします。

写真

＋

用意したフレームのデータ

フレーム付き写真のでき上がり

①フレームデータの準備

フレームデータを準備し、メモリカードに保存します。

☞本書 72 ページ「①フレームデータをメモリカードに保存」

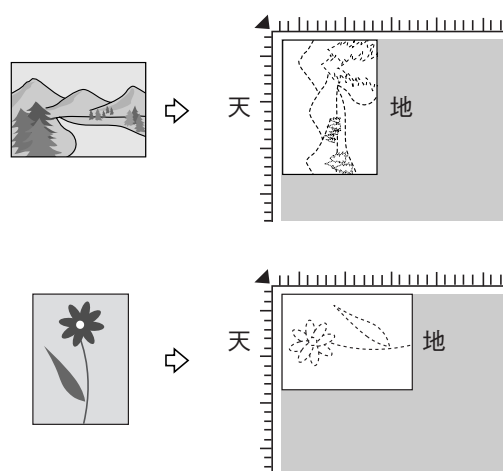
②写真の焼き増し

1　フレームデータを保存したメモリカードをセットします。

☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2　写真原稿をセットします。

☞本書 31 ページ「ファンプリントモードでの写真原稿のセット」

横長写真の場合は縦置きで、縦長写真の場合は横置きで、1 枚だけセットしてください。

参考

- 原稿は原点マークから 5mm 以上離してセットしてください。
- 原稿のサイズは 2L 判まで可能です（A4/ 六切りの原稿には対応していません）。
- フレームデータのサイズ（用紙サイズ）が A4/ 六切りの場合は、L 判または 2L 判の原稿をセットしてください。

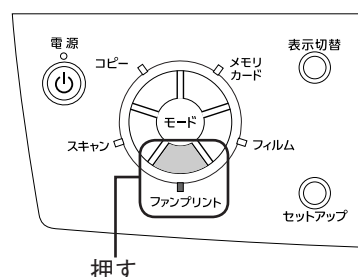
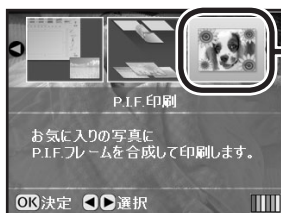
3　印刷用紙（写真用紙）をセットします。

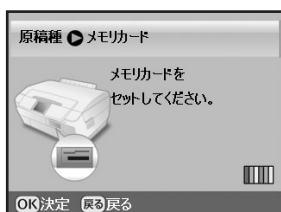
フレームデータと同じサイズの用紙をセットしてください。

☞本書 17 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット」

4　【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

次ページへ続く

コピー

5 メニューの［P.I.F. 印刷］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

6 原稿種を［写真印刷］に設定します。

①【▷】ボタンで設定値表示

②【▽】か【△】ボタンで選択
③【OK】ボタンで決定

7 【OK】ボタンを押して、写真をスキャンします。

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

【OK】ボタンでスキャン

8 使用するフレームデータを選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

合成可能な写真の数が表示される

9 スキャンされた写真を確認し、【OK】ボタンを押します。

写真の向きが正常かを確認します。逆さや横向きに表示されている場合は、【戻る】ボタンを押してやり直してください。

■合成可能な写真が 1 つの場合

【OK】ボタンを押す

■合成可能な写真が複数の場合

①合成する数だけ【△】ボタンを押す
※【▽】ボタンで合成数を減らせます。
②【OK】ボタンで決定

参考

- 合成可能な写真の数を超えての設定はできません。
- 合成可能な写真の数に満たない場合は、合成されない枠ができます。

10 焼き増し枚数を設定します。

【△】か【▽】ボタンで枚数設定

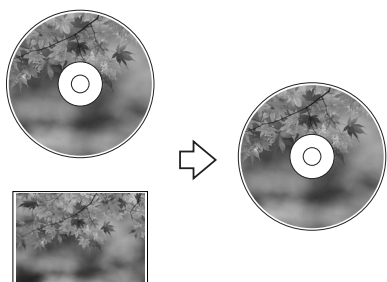
11 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

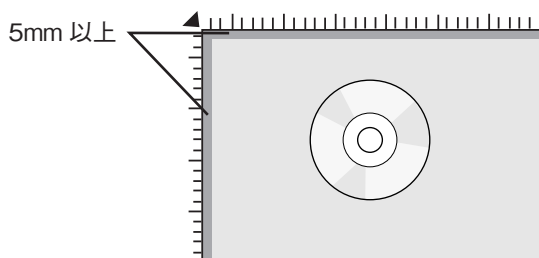
12 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、P.I.F. 印刷の手順説明は終了です。

CD レーベルへのコピー

CD レーベルから CD レーベルへのコピーはもちろん、写真などの四角い原稿も CD レーベルにレイアウトして印刷します。

1 原稿をセットします。

☞本書 31 ページ「CD/DVD レーベル原稿のセット」

原稿はできるだけ傾かないように置いてください。なお、原点マークから 5mm 以上離してください。CD や L 判写真などの小さい原稿は、原稿台の中央付近に置いてもかまいません。

参考

四角い原稿の場合は、原稿の中心から読み取れる最大の正方形領域がスキャンされます。印刷時は、スキャンした正方形領域を CD/DVD サイズに拡大 / 縮小し、ドーナツ状にくり抜いて印刷します。

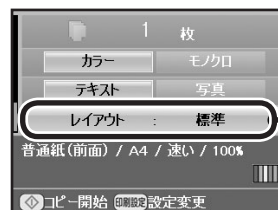
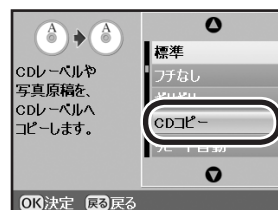
なお、くり抜いて印刷する領域を調整することができます。

☞本書 130 ページ「CD/DVD レーベルの印刷領域調整」

2 12cm CD/DVD をセットします。

☞ 本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」

3 【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

4 レイアウトを［CD コピー］に設定します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【 ▷ 】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定

5 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞ 本書 47 ページ「印刷設定」

参考

用紙種類を［普通紙（前面）］または［普通紙（背面）］に設定すると、A4 サイズの普通紙に事前に試し印刷をすることができます。この場合は、設定したオートシートフィーダ（前面か背面）に A4 普通紙をセットしてください。

☞本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

なお、試し印刷は CD/DVD をセットしたままの状態ではできません。CD/DVD ガイドを収納してから実行してください。

☞本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

6 【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

参考

- 印刷位置がずれる場合は、セットアップモードの［CD/DVD 上下 / 左右調整］で、印刷位置を微調整できます。
  ☞本書 130 ページ「CD/DVD レーベルの位置調整」
- 12cm CD/DVD レーベルの内径 / 外径調整により、印刷領域を広げることができます（ワイドエリアタイプに対応）。
  ☞本書 130 ページ「CD/DVD レーベルの印刷領域調整」

7 コピーが終了したことを確認し、CD/DVD を取り出します。

☞ 本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

以上で、CD レーベルへのコピーの手順説明は終了です。

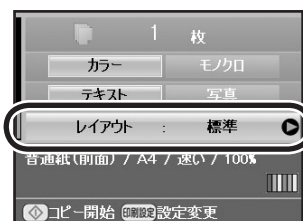
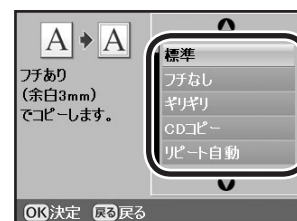
設定項目の詳細

コピーモードで設定できる項目と設定値について説明します。

コピー設定

コピー色 / 原稿種の設定

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】か【◁】ボタンで設定値選択

レイアウトの設定

①【▽】か【△】ボタンで［レイアウト］を選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで設定値選択
④【OK】ボタンで決定

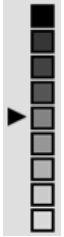
参考

［テキスト］/［写真］の原稿種ごとに、コピー設定の情報を保持します。

設定項目	設定値の詳細
枚数 コピー枚数を設定します。	1 ～ 99 枚 ※コピー終了後は「1 枚」の設定に戻ります。 ※レイアウトを［ポスター 16］/［2 アップ］/［4 アップ］/［CD コピー］に設定した場合は､「1 枚」に固定となります。
コピー色 原稿をカラーかモノクロでコピーします。	カラー　：カラーコピー モノクロ　：モノクロコピー
原稿種 原稿の種類に合わせた最適な設定で、コピーします。	テキスト　：文字が多い原稿やイラスト入りの文書などに最適な設定でコピー 写真　：写真などの画像に最適な設定でコピー ※文字と画像の両方が含まれている原稿の場合には、文字の印刷品質を重視したいときは［テキスト］を、画像の印刷品質を重視したいときは［写真］を選択してください。
レイアウト 原稿をさまざまなレイアウト（配置）でコピーします。	本書 34 ページ「いろいろなコピー」 標準　：余白 3mm でコピー フチなし　：余白なしで全面コピー ギリギリ　：余白 1.5mm でコピー CD コピー　：CD/DVD レーベルにコピー リピート自動　：用紙サイズに合わせて、等倍で複数枚割り付けコピー リピートコピー 4　：用紙サイズに合わせて、4 面割り付けコピー リピートコピー 9　：用紙サイズに合わせて、9 面割り付けコピー リピートコピー 16　：用紙サイズに合わせて、16 面割り付けコピー ポスター 4　：A4 サイズ 4 枚分の用紙に分割して拡大コピー ポスター 9　：A4 サイズ 9 枚分の用紙に分割して拡大コピー ポスター 16　：A4 サイズ 16 枚分の用紙に分割して拡大コピー 2 アップ　：2 枚の原稿を A4 サイズの用紙に割り付けてコピー 4 アップ　：4 枚の原稿を A4 サイズの用紙に割り付けてコピー ミラーコピー　：アイロンプリントペーパーに左右反転コピー ミニフォトコピー　：ミニフォトシール用紙に 16 面付けでコピー

印刷設定

①【印刷設定】ボタンで設定画面表示

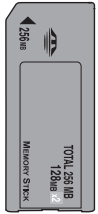
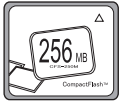
②【▽】か【△】ボタンで項目選択
③【▷】ボタンで設定値表示

④【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤【OK】ボタンで決定
⑥【OK】ボタンで設定終了

参考

設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。

設定項目	設定値の詳細
倍率 原稿を拡大 / 縮小してコピーします。	等倍 ： 原稿と同じサイズでコピー 自動 ： 設定されている［用紙サイズ］に合わせて、自動的に拡大 / 縮小コピー A4 →ハガキ(46%)/2L 判→ハガキ(76%)/L 判→ハガキ(110%)/L 判→ 2L 判(139%)/2L 判→ A4(165%)/ ハガキ→ A4(201%)/L 判→ A4(235%)/L 判→六切(200%)/ 六切→ L 判(42%) ：［標準］レイアウトの場合は（ ）内の倍率でコピーします。 L 判→ハガキ上半分 ：［フチなし］レイアウトの場合のみ設定可能。L 判の原稿を 88% に縮小し、ハガキの半分にレイアウトして印刷します。 任意（25 ～ 400%） ：［自動］以外の設定時に【▷】ボタンを押すと、任意の倍率設定ができます。
用紙種類 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいにコピーできます。	普通紙（前面） ： 両面上質普通紙<再生紙> / 事務用普通紙 ※前面オートシートフィーダ（A4 サイズ専用）から給紙されます。 普通紙（背面） ： 両面上質普通紙<再生紙> / 事務用普通紙 ※背面オートシートフィーダから給紙されます。 写真用紙クリスピア ： 写真用紙クリスピア<高光沢> 写真用紙 ： 写真用紙<光沢> / 写真用紙<絹目調> フォトマット紙 ： フォトマット紙 スーパーファイン紙 ： スーパーファイン紙 / スーパーファイン専用ラベルシート 郵便光沢ハガキ ： 郵便ハガキ（写真用）の通信面 郵便 IJ ハガキ ： 郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面 / スーパーファイン専用ハガキの通信面 郵便ハガキ ： 郵便ハガキ（再生紙）/ ハガキの宛名面 両面マット紙 ： 両面マット紙<再生紙>名刺サイズ ミニフォトシール ： ミニフォトシール アイロンペーパー ： アイロンプリントペーパー CD/DVD レーベル ： 12cm CD/DVD のレーベル面
用紙サイズ セットした用紙のサイズを設定します。	A4/B5/L 判 /2L 判 / ハガキ / ハガキ上半分 / 六切 / 名刺 / カード /CD/DVD
品質 コピー品質を設定します。	エコノミー / 速い / きれい / フォト

次ページへ続く

設定項目	設定値の詳細
コピー濃度 コピーの濃さを調整します。	＋４ 濃い ±０ 標準 −４ 薄い
フチなしはみ出し量 ［フチなし］設定時に、用紙からはみ出させる量を調整します。	標準　：原稿の拡大率が標準（フチが完全になくなります。） 少ない　：原稿の拡大率がやや小さい（余白が出る場合があります。） より少ない　：原稿の拡大率が小さい（余白が出る場合があります。）

ファンプリントモード（写真原稿のコピー）時の印刷設定

設定項目	設定値の詳細
用紙種類	本書 47 ページ
用紙サイズ	本書 47 ページ
レイアウト	フチなし / フチあり
品質	本書 47 ページ
フチなしはみ出し量	上表
フィルタ	なし / モノクロ

メモリカードについて

使用できるメモリカードの種類

本製品で使用できるメモリカードは以下の通りです。

スマートメディア	● xD-Picture Card™ ● xD-Picture Card™ Type M
● メモリースティック ● メモリースティック PRO ● マジックゲート メモリースティック	● メモリースティック Duo ● メモリースティック PRO Duo ● マジックゲート メモリースティック Duo ※専用のアダプタが必要です。
● SD メモリーカード ● マルチメディアカード	miniSD カード ※専用のアダプタが必要です。
コンパクトフラッシュ	マイクロドライブ

参考

- 上記は 2005 年 7 月現在の情報です。最新情報については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。
- メモリースティック PRO、メモリースティック PRO Duo、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティック Duo の著作権保護機能には対応していません。
- メモリースティック PRO Duo の高速転送機能には対応していません。

印刷できる画像ファイル形式

本製品で印刷できる画像ファイルの形式は以下の通りです。

デジタルカメラ	DCF※1 Version 2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF※1 Version 1.0 または 2.0 準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG※2 形式、TIFF※2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横 80 ～ 9200 ピクセル、縦 80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	999 個

※ 1 DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。

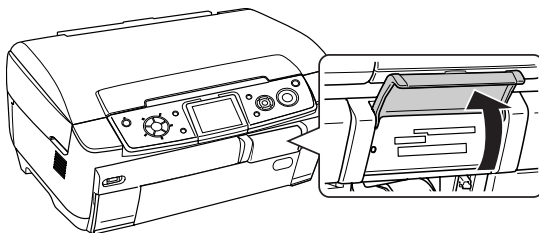
※ 2 Exif Version2.21 準拠。

メモリカードのセット方法

1 電源をオンにします。

本書 10 ページ「操作パネルの基本操作」

2 メモリカードスロットカバーを開きます。

メモリカードスロットカバーは止まるところまでしっかりと引き上げてください。

3 メモリカードを 1 枚だけ挿入します。

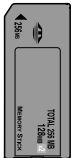
メモリカードの種類によって挿入するスロットが異なります。お使いのメモリカードとスロットの位置を確認してください。メモリカードが正常に挿入されるとメモリカードスロットランプが点灯します。
本書 51 ページ「メモリカードの種類とセット位置」

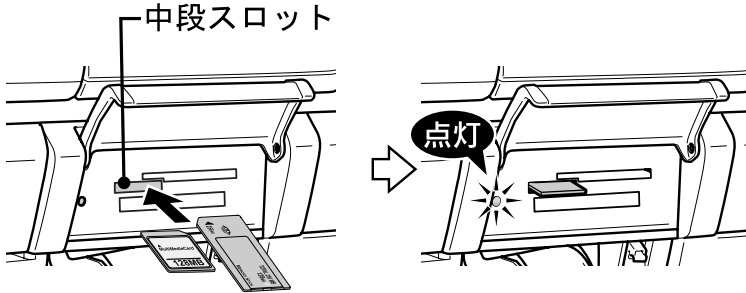
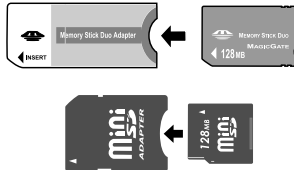
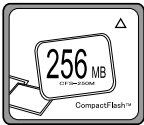
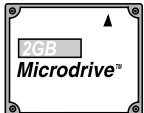
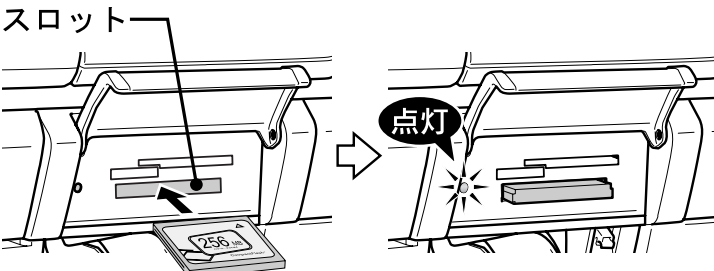
!注意

ランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを絶対に取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。

参考

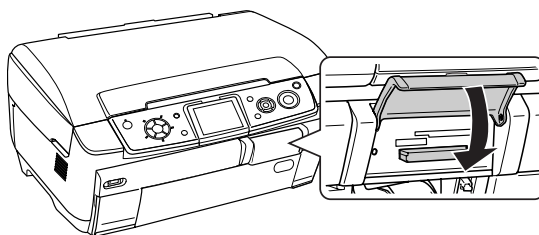
複数のメモリカードを一度にセットしないでください。複数のメモリカードを同時にセットすると、目的のメモリカード（印刷したいデータが保存されているメモリカード）が認識されない場合があります。

メモリカードの種類とセット位置

・メモリースティック
・メモリースティックPRO
・マジックゲート
　メモリースティック

・SD メモリーカード
・マルチメディア
　カード

・メモリースティック Duo※
・メモリースティック
　PRO Duo※
・マジックゲート
　メモリースティックDuo※

・miniSDカード※

※専用アダプタにカードを差し込んでから、本製品のスロットに差し込んでください。

・コンパクトフラッシュ

・マイクロドライブ

メモリカードスロットカバーを閉じます。

カバーを閉じないと、メモリカードを通して伝わる静電気により、本製品が誤作動する場合があります。

以上で、メモリカードのセットの手順説明は終了です。

写真プリントの基本手順

写真を選んで印刷

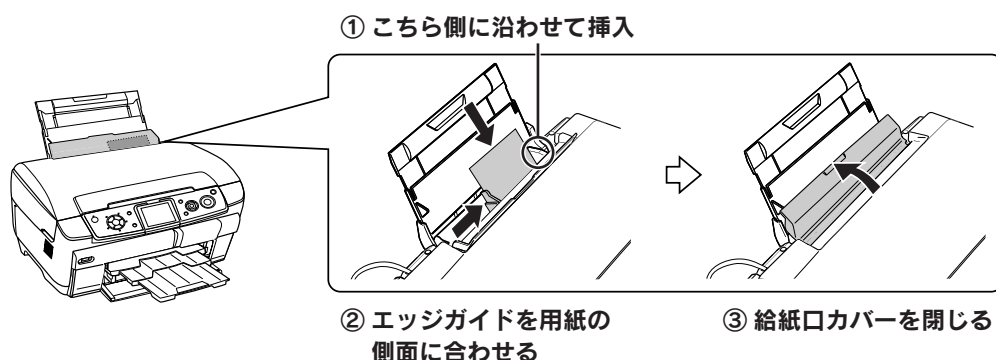
1 メモリカードの種類と挿入位置を確認して、メモリカードをセットします。

本書 49 ページ「メモリカードについて」
本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

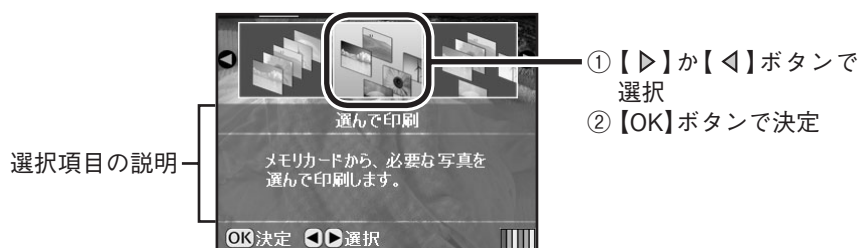
2 印刷用紙をセットします。

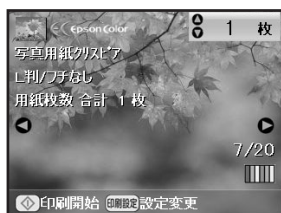
本書 17 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット」

3 操作パネルの【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

参考

メモリカードモードにならない場合は以下をご確認ください。

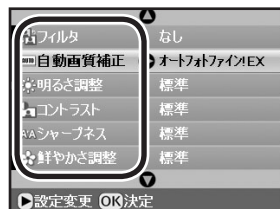
- もう一度【メモリカード】ボタンを押してください。電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンが反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（スリープモード時）や、スクリーンセーバー起動中は、【メモリカード】ボタンを 2 回押してください。

4 メニューの［選んで印刷］を選択します。

5 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

写真を1つだけ選択する場合は、①と②の手順のみになります。
複数の写真を選択する場合は、①～④の手順を繰り返してください。

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【△】か【▽】ボタンで枚数設定

③【▷】か【◁】ボタンで次の写真を表示
④【△】か【▽】ボタンで枚数設定

6 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定を変更します。

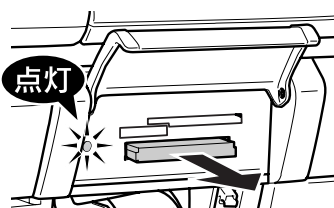
本書 75 ページ「印刷設定」

①【印刷設定】ボタンで設定画面表示

②【▽】か【△】ボタンで項目選択
③【▷】ボタンで設定値表示

④【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤【OK】ボタンで決定
⑥【OK】ボタンで設定終了

7 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

8 印刷が終了したら、メモリカードを取り出します。

ランプが点灯していることを確認して、取り出します。

！注意

ランプが点滅しているときは、取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。

以上で、メモリカード印刷の基本手順の説明は終了です。

写真プリントの応用手順

用紙と余白を設定して印刷

セットした用紙の種類 / サイズを設定したり、余白を設定して印刷します。

1 写真プリントの基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。

☞本書 52 ページ「写真プリントの基本手順」手順1～手順4

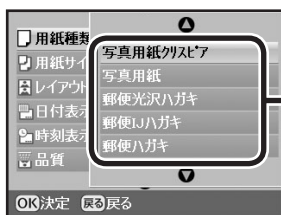
2 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

☞本書 74 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示し、設定する項目を選択します。

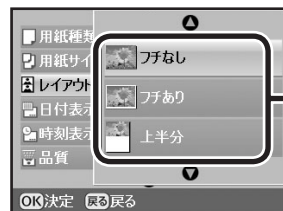
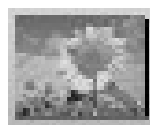
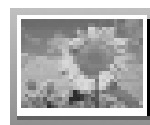
① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンを押す

4 ［用紙種類］/［用紙サイズ］/［レイアウト］の設定値を選択します。

用紙種類（写真用紙 / ミニフォトシールなど）の場合

① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

用紙サイズ（L 判 / ハガキなど）の場合

① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

余白(フチなし / フチありなどレイアウト)の場合

① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

フチなし　フチあり　上半分

参考

［フチなし］設定は、写真を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、「印刷設定」ではみ出し量を調整してください。

☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

5 必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。

6 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、用紙と余白を設定して印刷する手順説明は終了です

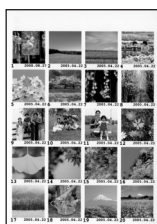
複数の写真を割り付けて印刷

1 枚の用紙に 2 面以上の面付けレイアウトで印刷します。

2 面

4 面

8 面

20 面

80 面
（インデックス）

参考

- ミニフォトシールに印刷するときは、用紙種類を［ミニフォトシール］に設定すると、ハガキサイズ /16 面のレイアウトになります。
  ☞本書 67 ページ「ミニフォトシールなどのバラエティ用紙に印刷」
- 80 面レイアウト（インデックス）は、用紙サイズを A4/ 六切に設定した場合にのみ設定できます。

1 **写真プリントの基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

☞本書 52 ページ「写真プリントの基本手順」手順1～手順4

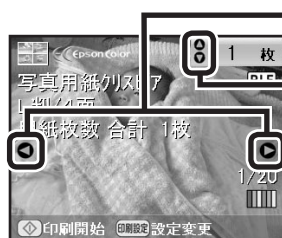
2 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

3 **［レイアウト］の設定値を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンを数回押して設定値を選択
④【OK】ボタンで決定

4 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

5 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【△】か【▽】ボタンで枚数設定
※ 複数の写真を選択する場合は、①と②を繰り返す

参考

選択した写真が設定枚数ずつ順番に面付け（レイアウト）されます。

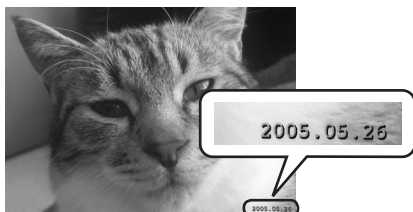
4 面レイアウトで写真 A を 2 枚、写真 B を 1 枚（合計 3 枚）選択した場合、右図のように印刷されます。

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、割り付け印刷の手順説明は終了です。

メモリカードから写真プリント

日付を入れて印刷

写真データに記録されている撮影日を入れて印刷します。

1 **写真プリントの基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

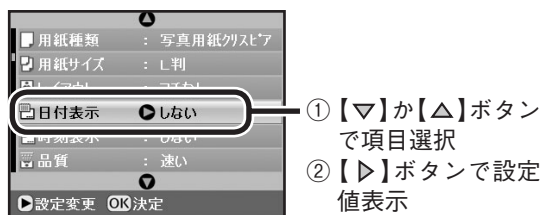
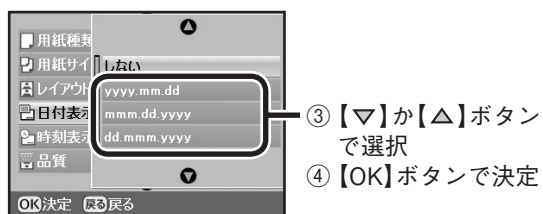
☞本書 52 ページ「写真プリントの基本手順」手順1～手順4

2 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書 74 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

4 **［日付表示］の設定値を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

次の 3 つの表記で印刷されます。

yyyy.mm.dd	年 . 月 . 日（例：2005.10.01）
mmm.dd.yyyy	月 . 日 . 年（例：Oct.01.2005）
dd.mmm.yyyy	日 . 月 . 年（例：01.Oct.2005）

5 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、日付を入れて印刷する手順説明は終了です。

携帯写真印刷

携帯電話などで撮影した、粗い画像（低解像度の画像）上のノイズを除去し、印刷結果を向上させます。

画像に補正を加えるため、印刷時間が長くなります。

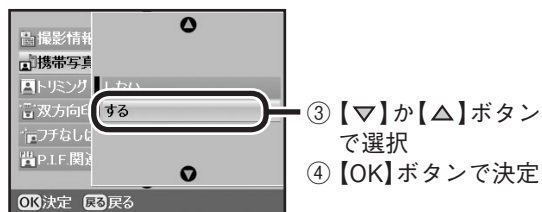
1 **写真プリントの基本手順に従いメモリカードモードのメニューを選択します。**

☞本書 52 ページ「写真プリントの基本手順」手順1～手順4

2 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書 74 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

4 **携帯写真印刷を［する］に設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示
③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

5 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、携帯写真印刷の手順説明は終了です。

ズームアップして印刷

写真の一部をズームアップして印刷します。

1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **印刷用紙をセットします。**

☞本書 13 ページ「印刷用紙、CD/DVD のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［ズーム印刷］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **印刷する写真を 1 つだけ選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

6 **ズームアップする部分の中心「＋」を設定します。**

①【△】【▽】【▷】【◁】ボタンで「＋」の位置を移動
②【OK】ボタンで決定

7 **ズームアップする範囲を設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで枠を拡大縮小
②【OK】ボタンで決定

8 **印刷枚数を設定します。**

【▽】か【△】ボタンで枚数設定

参考

ズーム範囲を変更する場合は、【戻る】ボタンで手順 7 か 6 へ戻り設定し直してください。

9 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

参考

用紙種類を［CD/DVD レーベル］に設定すると、CD/DVD レーベルにズームアップした写真を印刷できます。事前に試し印刷をする場合は、用紙種類を［普通紙］、用紙サイズを［CD/DVD］に設定し、オートシートフィーダに A4 サイズの普通紙をセットしてください。

10 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、ズームアップして印刷する手順説明は終了です。

すべての写真を印刷

メモリカード内のすべての写真を、一括して印刷します。

1 **メモリカードをセットします。**
☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **印刷用紙をセットします。**
☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［すべて印刷］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **印刷部数を設定します。**

【△】か【▽】ボタンで各何枚印刷するかを設定

6 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**
☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

7 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、すべての写真を印刷する手順説明は終了です。

写真（コマ番号）の範囲を指定して印刷

メモリカード内の写真のうち印刷したい写真の範囲（2～5コマ目など）を指定して印刷します。

1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書50ページ「メモリカードのセット方法」

2 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書16ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［範囲印刷］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **始めの写真を決定します。**

①【▷】【◁】【△】【▽】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

6 **終わりの写真を決定します。**

①【▷】【◁】【△】【▽】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

7 **印刷部数を設定します。**

【△】か【▽】ボタンで部数設定

8 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

☞ 本書75ページ「印刷設定」

9 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、範囲指定して印刷する手順説明は終了です。

日付で写真を選んで印刷

特定の撮影日から写真を選んで印刷します。
運動会や遠足など、イベントのあった日の写真を選ぶ場合などに便利です。

1 メモリカードをセットします。

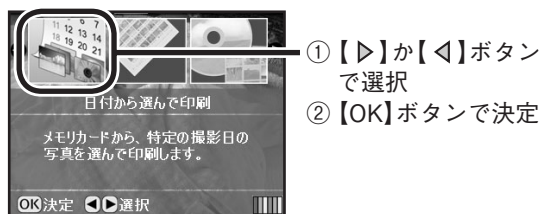
☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 メニューの［日付から選んで印刷］を選択します。

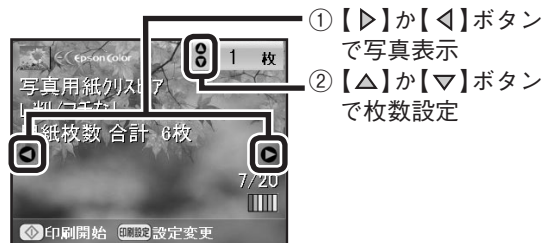
①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 日付を選択します。

いくつかの日付を選択する場合は、①と②の手順を繰り返し、最後に【OK】ボタンを押します。

②【▷】ボタンでチェック(☑)を付ける
※【◁】ボタンでチェックを外せます。
③【OK】ボタンで決定

6 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

☞本書 74 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

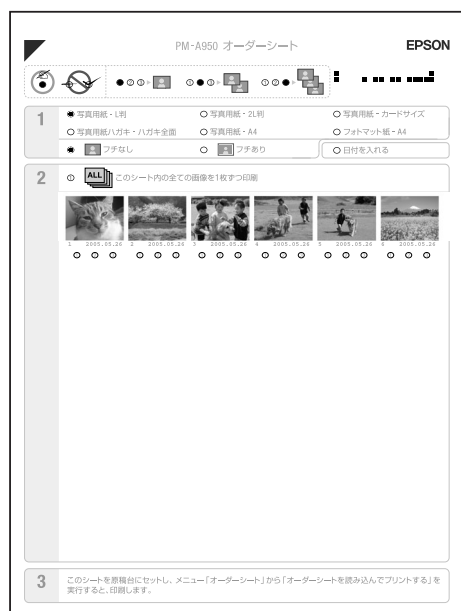
①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【△】か【▽】ボタンで枚数設定

7 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

8 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、日付で写真を選んで印刷する手順説明は終了です。

マークシート方式で簡単印刷 <オーダーシート印刷>

操作パネルで写真の選択や印刷設定をせずに、オーダーシート（写真プリント注文用紙）に手書きでマークを付けるだけで、簡単に写真プリントができます。

①オーダーシートを印刷

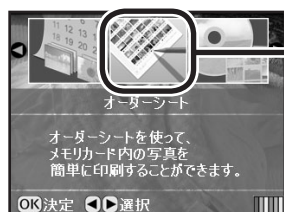
1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **印刷用紙（A4 普通紙）をセットします。**

☞本書 16 ページ「前面オートシートフィーダへの A4 普通紙のセット」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

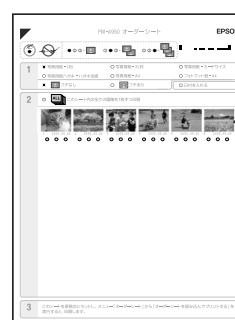
4 **メニューの［オーダーシート］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **［オーダーシートを印刷］を選択し、設定値を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【▷】ボタンを押す

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定
⑤【OK】ボタンで確認

設定項目	設定値	
範囲選択	すべて	メモリカード内のすべての写真を印刷します。
	最新の 30 枚	ファイル名順(ASCII コード順)に並べられた写真の 1 枚目から 30 枚目までを印刷します。
	最新の 60 枚	ファイル名順(ASCII コード順)に並べられた写真の 1 枚目から 60 枚目までを印刷します。
	最新の 90 枚	ファイル名順(ASCII コード順)に並べられた写真の 1 枚目から 90 枚目までを印刷します。

6 **【スタート】ボタンを押して、オーダーシートを印刷します。**

※オーダーシート 1 枚の用紙には最大 30 枚の写真が印刷されます。

参考

オーダーシートを印刷した後は、写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更したり、別のメモリカードに差し替えたりしないでください。

次ページへ続く

②オーダーシートに記入して写真プリント

1 **印刷用紙と印刷したい写真を選択して、オーダーシートにマークを付けます。**

マークは、HBなどの濃い鉛筆か濃い色のペンを使用し、しっかりと塗りつぶしてください。

正しい記入例 ●

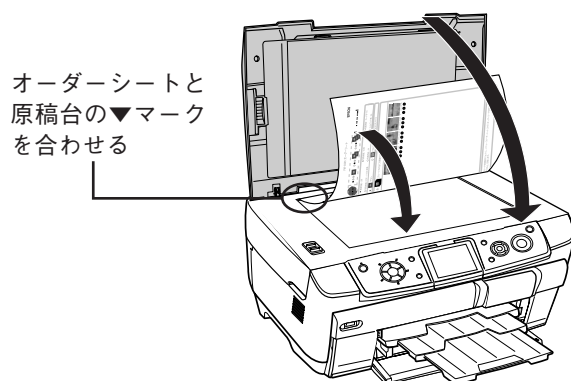
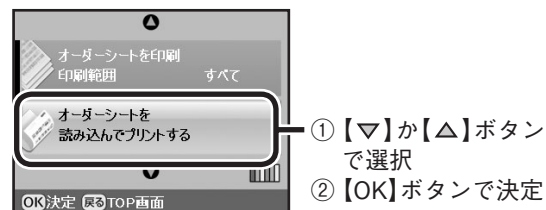
悪い記入例

2 **印刷用紙をセットします。**

手順1で選択した用紙をセットします。

☞ 本書16ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **オーダーシートを原稿台にセットします。**

図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

4 **［オーダーシートを読み込んでプリントする］を選択します。**

5 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

オーダーシートにマークした写真が印刷されます。

以上で、オーダーシート印刷の手順説明は終了です。

デジタルカメラで指定した写真を印刷＜DPOF 印刷＞

デジタルカメラ側で「印刷する写真」や「枚数」を設定することができます。指定した写真を印刷する場合は、以下の手順に従ってください。

参考

- 本製品が対応している DPOF（ディーポフ）のバージョンは、Ver1.10 です。
- お使いのデジタルカメラによっては、印刷写真指定機能（DPOF）の呼び方が異なる場合があります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 DPOF 情報の入ったメモリカードをセットします。

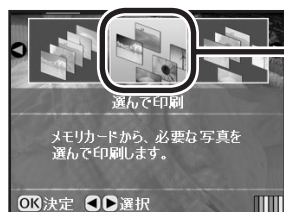
☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

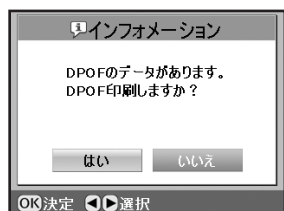
2 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［すべて印刷］/［選んで印刷］/［範囲印刷］のいずれかを選択します。

オーダーシート /CD/DVD/ ズーム印刷は対応していません。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 表示された画面から［はい］を選択します。

①【◁】か【▷】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

参考

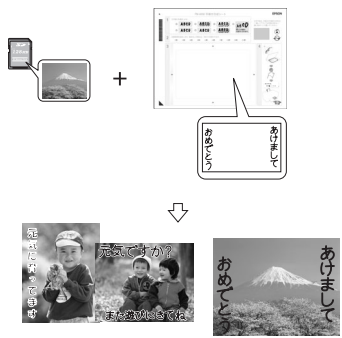
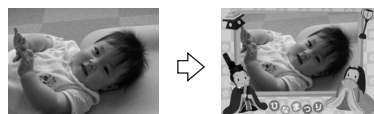
DPOF 情報の入った写真データがない場合は、メッセージ画面が表示されません（DPOF 印刷はできません）。

6 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

DPOF では、印刷タイプ（通常印刷 / インデックス印刷）と印刷する写真の指定ができます。通常印刷の場合には、印刷枚数も指定できます。これ以外の項目については、本製品の設定で印刷されます。

7 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

DPOF 情報と印刷設定に従って印刷されます。

- デジタルカメラでインデックス印刷を指定した場合は、コマ番号なしのインデックス印刷のレイアウト（20 面 /80 面など）で印刷されます。なお、カラー印刷のみの対応となります。
- デジタルカメラでインデックス印刷と通常印刷の両方を指定した場合は、指定されている順番に従って両方を順番に処理します。

以上で、DPOF 印刷の手順説明は終了です。

いろいろなメモリカード印刷

バラエティ印刷

■CD/DVD レーベル
12cm の CD/DVD レーベルに直接印刷

☞65 ページ

■CD お試し
A4 普通紙にお試し印刷

☞65 ページ

■CD/DVD ジャケット
A4 用紙にジャケット印刷

☞66 ページ

■ミニフォトシール印刷
ミニフォトシール用紙に 16 面付けして印刷

☞67 ページ

■アイロンプリント
アイロンプリントペーパーに左右反転して印刷

☞67 ページ

■名刺 / カード印刷
名刺サイズやカードサイズの用紙に印刷

☞67 ページ

写真に文字やフレームを合成してプリント

■手書き合成シート
手書きの文字やイラストを合成してプリント

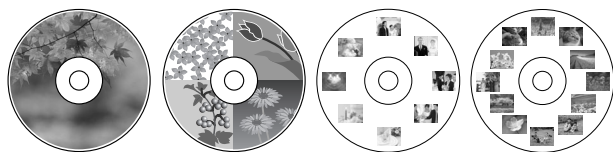
☞68 ページ

■P.I.F. 印刷
写真にフレームを付けて印刷

☞72 ページ

CD/DVD レーベルに印刷

写真を CD/DVD のレーベル面に直接印刷します。

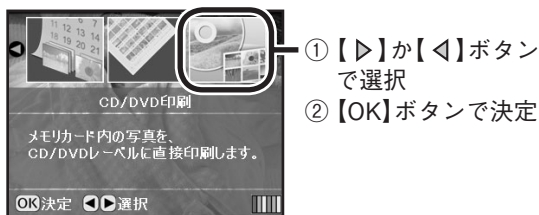
1 **メモリカードをセットします。**

本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **12cm の CD/DVD をセットします。**

本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［CD/DVD 印刷］を選択します。**

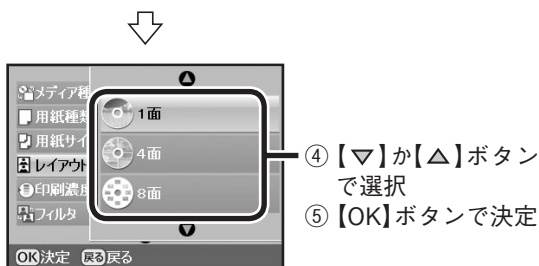
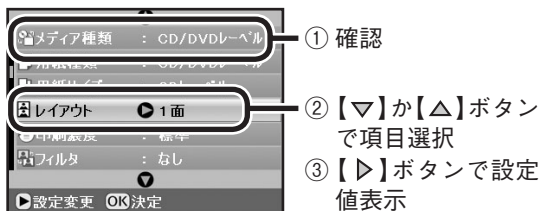
① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

6 **メディア種類が［CD/DVD レーベル］になっていることを確認して、レイアウトを選択します。**

1 面 /4 面 /8 面 /12 面のレイアウトが選択できます。

① 確認
② 【▽】か【△】ボタンで項目選択
③ 【▷】ボタンで設定値表示

⇩

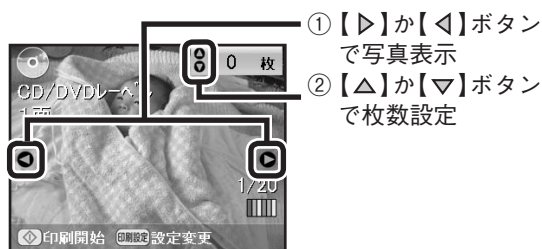
④ 【▽】か【△】ボタンで選択
⑤ 【OK】ボタンで決定

7 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

本書 77 ページ「CD/DVD 印刷時の印刷設定」

用紙種類を［普通紙（前面）］または［普通紙（背面）］に設定すると、A4 サイズの普通紙に事前に試し印刷をすることができます。この場合は、設定したオートシートフィーダ（前面か背面）に A4 普通紙をセットしてください。
本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」
なお、試し印刷は CD/DVD をセットしたままの状態ではできません。CD/DVD ガイドを収納してから実行してください。
本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

8 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

設定したレイアウトの面付け数を超えないように、写真を選択してください。

① 【▷】か【◁】ボタンで写真表示
② 【△】か【▽】ボタンで枚数設定

9 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

参考

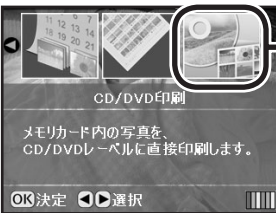
- 印刷位置がずれる場合は、セットアップモードの［CD/DVD 上下 / 左右調整］で、印刷位置を微調整できます。
  本書 130 ページ「CD/DVD レーベルの位置調整」
- 12cm CD/DVD レーベルの内径 / 外径調整により、印刷領域を広げることができます（ワイドエリアタイプに対応）。
  本書 130 ページ「CD/DVD レーベルの印刷領域調整」

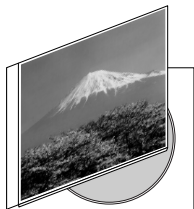
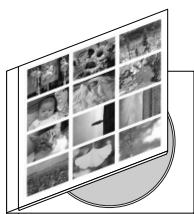
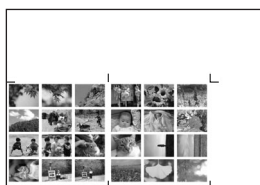
10 **印刷が終了したことを確認し、CD/DVD を取り出します。**

続けてもう 1 枚印刷する場合は、CD/DVD をセットし直し、「もう 1 枚印刷しますか？」のメッセージ画面で［はい］を選択して実行してください。

本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

以上で、メモリカードから CD/DVD レーベルに印刷する手順説明は終了です。

CD ケース用ジャケット印刷

A4 サイズの用紙に、CD ケースのサイズにレイアウトして印刷します。切り取りガイドに沿って切り取ると、CD ジャケットになります。

CD ケース片面

CD ケースインデックス
（12 面× 2）

1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。**

☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［CD/DVD 印刷］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

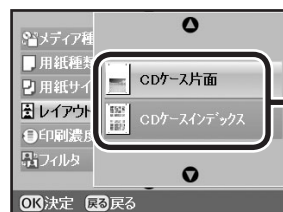
5 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

6 **メディア種類を［CD/DVD ジャケット］に設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

7 **レイアウトを選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

8 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

☞ 本書 77 ページ「CD/DVD 印刷時の印刷設定」

9 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書 74 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

10 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

11 **印刷結果を切り取りガイドに沿って切り取ります。**

以上で、CD ケース用ジャケットを印刷する手順説明は終了です。

ミニフォトシールなどのバラエティ用紙に印刷

用紙の設定を変更することで、ミニフォトシールやアイロンプリントペーパーなどのいろいろな用紙に、最適な設定で印刷することができます。

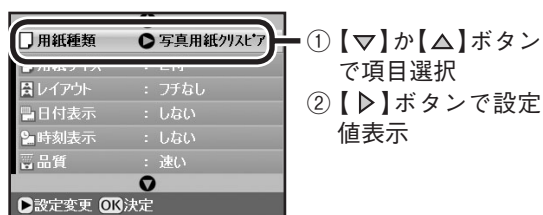
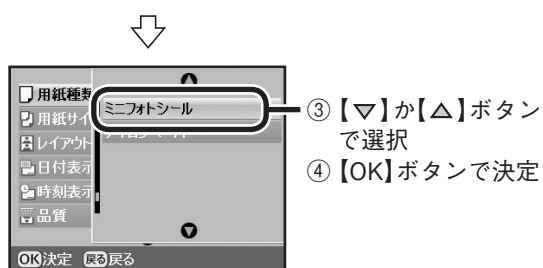
1 **写真プリントの基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

☞本書 52 ページ「写真プリントの基本手順」手順1〜手順4

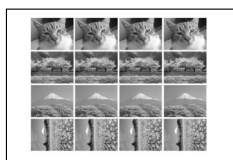
2 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書 74 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

4 **用紙の設定をします。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

■ミニフォトシールに印刷する場合

用紙種類　：ミニフォトシール
用紙サイズ：ハガキ（固定）

レイアウトについて

写真を複数枚選択した場合、選択された写真が、設定枚数分ずつ順番に 16 面付け（レイアウト）されます。合計枚数が 16 枚未満の場合は余白ができます。

写真を一枚だけ選択した場合（合計枚数が 1 枚の場合）は、同じ写真が 16 個印刷されます。

■アイロンプリントペーパーに印刷する場合

用紙種類　：アイロンペーパー
用紙サイズ：A4（固定）

写真データ　反転して印刷　アイロンで転写

アイロンを使って布に転写する方法は、アイロンプリントペーパーの説明書をご覧ください。

■名刺サイズの用紙に印刷する場合

用紙種類　：両面マット紙
用紙サイズ：名刺（固定）

■カードサイズの用紙に印刷する場合

用紙種類　：写真用紙
用紙サイズ：カード

5 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、バラエティ用紙に印刷する手順説明は終了です。

『活用ガイド』（電子マニュアル）でバラエティ用紙を使った楽しい活用例をご案内しています。ぜひご覧ください。

☞本書 116 ページ「活用ガイドの表示方法」

手書きの文字やイラストを合成して印刷

メモリカード内の写真に、手書きの文字やイラストを合成して印刷します。

①　②

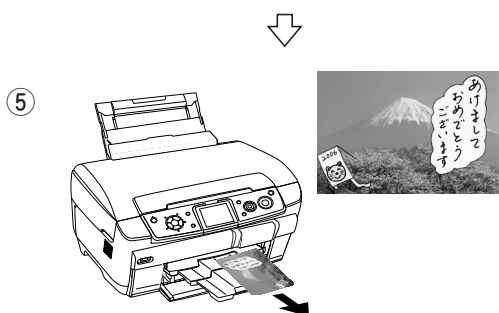
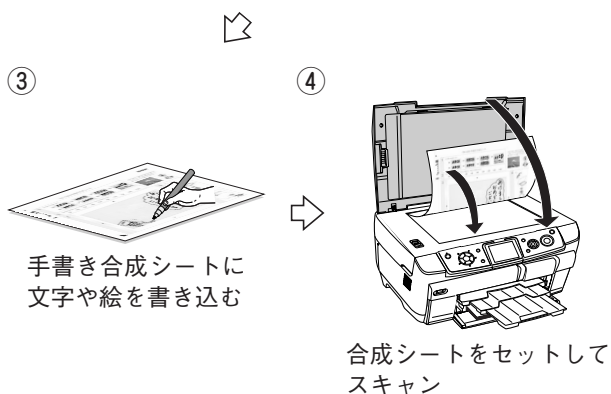
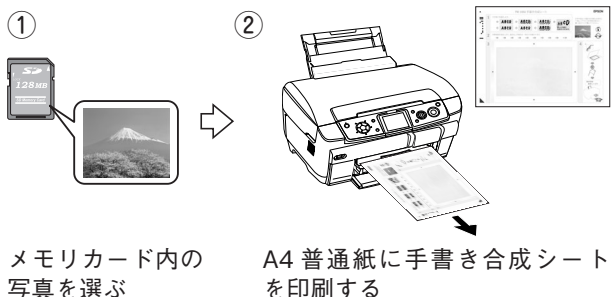
メモリカード内の写真を選ぶ

A4 普通紙に手書き合成シートを印刷する

③　④

手書き合成シートに文字や絵を書き込む

合成シートをセットしてスキャン

⑤

楽しい合成写真プリントのできあがり！

用意するもの

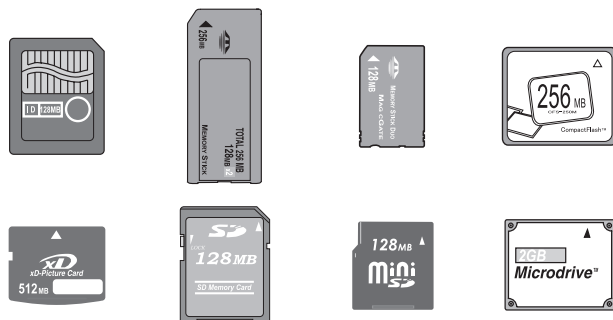
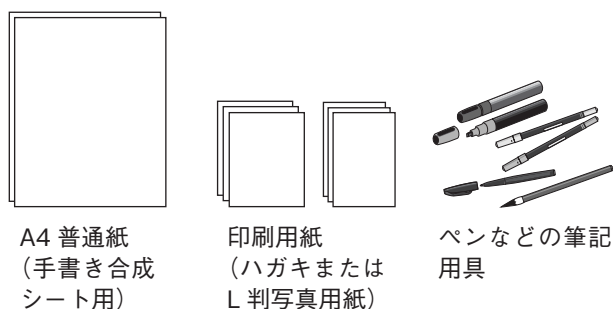
合成したい写真の入ったメモリカード（いずれか 1 枚）

A4 普通紙（手書き合成シート用）

印刷用紙（ハガキまたは L 判写真用紙）

ペンなどの筆記用具

①手書き合成シートの印刷

1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

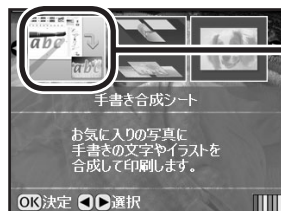
2 **A4 サイズの普通紙（手書き合成シート印刷用）を、前面オートシートフィーダにセットします。**

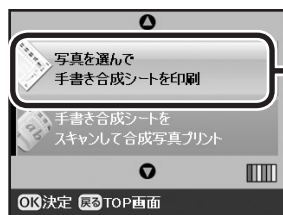
☞本書 16 ページ「前面オートシートフィーダへの A4 普通紙のセット」

参考

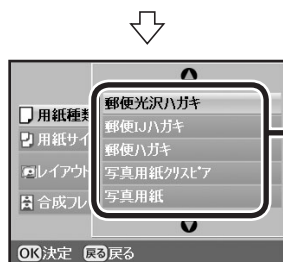
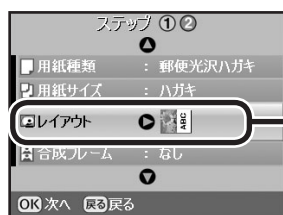
手書き合成シートに使用する用紙は、両面に汚れ（異物）のないことを確認してください。合成時に用紙の汚れ（異物）が手書きデータとして認識される場合があります。

3 **【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。**

4 **メニューの[手書き合成シート]を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **［写真を選んで手書き合成シートを印刷］を選択します。**

6 **合成写真を印刷する用紙の、用紙種類と用紙サイズを設定します。**

手書き合成シート印刷用の用紙ではありません。L 判サイズの写真用紙、または各種郵便ハガキが設定できます。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

7 **レイアウト（写真を印刷する位置）を設定します。**

参考

合成フレームの設定をすると、写真を楕円形に印刷することができます。楕円のフチをぼかすこともできます。

8 **合成する写真を 1 つだけ選択します。**

☞ 本書 74 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

【▷】か【◁】ボタンで写真表示

9 **【スタート】ボタンを押して、手書き合成シートを印刷します。**

参考

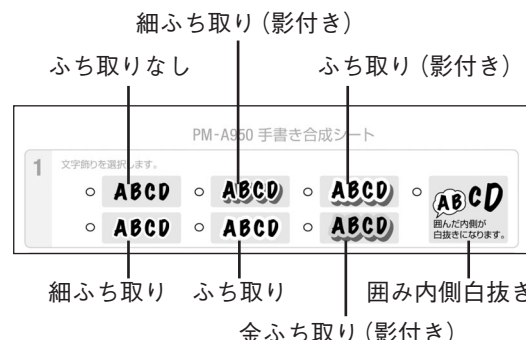
手書き合成シートを印刷した後は、合成写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更したり、別のメモリカードに差し替えたりしないでください。

②手書き合成シートに記入

1 **印刷された「手書き合成シート」上の手順 1 で、手書きの文字飾りを 1 つだけ選択します（マークを付けます）。**

ＨＢなどの濃い鉛筆か濃い色のペンで、○をしっかりと塗りつぶしてください。

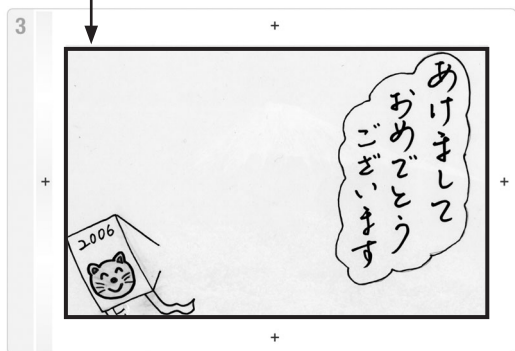
次ページへ続く

メモリカードから写真プリント

2 「手書き合成シート」上の手順 2 で、印刷枚数を指定します（マークを付けます）。

HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンで、○をしっかりと塗りつぶしてください。

2 印刷枚数を指定します。指定なしの場合は、1枚だけ印刷されます。 1○ 2○ 3○ 4○ 5○ 6○ 7○ 8○ 9○ 10○

3 「手書き合成シート」上の手順 3 の手書きエリアに、文字や絵などを書きます。

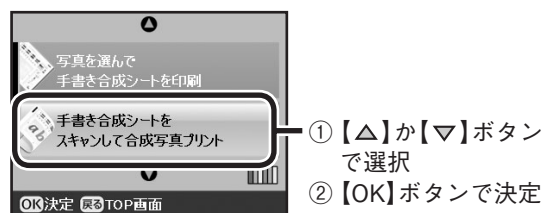
手書きエリア
太線の内側に、文字や絵を手書きしてください。

参考

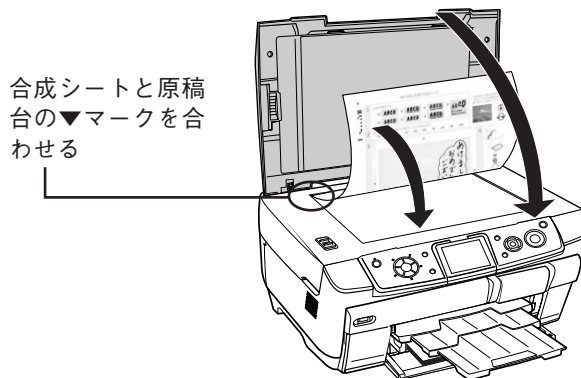
- 文字や絵は、かすれにくい筆記用具を使って、濃くはっきりと書いてください。ボールペンやシャープペンシルなどによる細い文字、クレヨンや色鉛筆などによるかすれた文字は、正常に合成されない場合があります。
- 手書きエリアより一回り大きなエリア全体が、設定した用紙サイズ（L 判 / ハガキ）に合わせて自動的に拡大 / 縮小され、印刷されます。
- 手書きエリアの外側に書かれた文字や絵は、印刷されません。

③合成シートをスキャンして合成写真プリント

1 設定した印刷用紙を、背面オートシートフィーダにセットします。

設定した印刷用紙は、「手書き合成シート」上の手順 4 に記載されています。
☞本書 17 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット」

2 ［手書き合成シートをスキャンして合成写真プリント］を選択します。

3 手書き合成シートを原稿台にセットします。

図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

4 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

合成結果が印刷されます。

以上で、手書き合成シート印刷の手順説明は終了です。

こんなときは

- **手書きエリアのフチまで書いたのに、写真のフチに印刷されない（思ったより内側に入ってしまう）。**

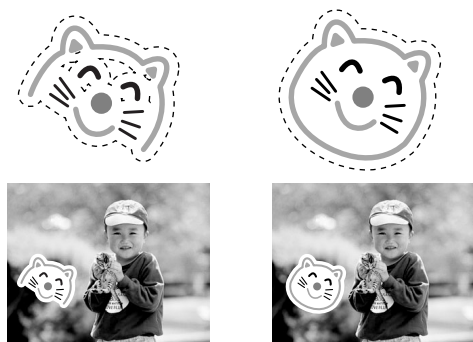
手書きエリアの枠線は、写真のフチを表しているのではありません。手書きエリアに書いた内容は、写真のフチよりも内側に印刷されます。
機能の仕様上、写真のフチまで手書きの内容を入れることはできません。

- **文字や絵がかすれて、きれいに印刷されない。**

手書きエリアの文字や絵は、書かれている文字や線の輪郭から形や範囲が認識されます。このため、線が細かったりかすれたりしていると、正しく認識されません。また、手書き合成シートに印刷されている文字や線と同じような色（薄い水色）のペンを使用すると、正しく認識されません。
文字や絵がかすれたり切れたりしてきれいに合成できないときは、太いペンや濃い色のペンなどを使用して、できるだけ太く、はっきりと書いてください。

- **絵の一部が欠けてしまう。**

手書き合成は、文字や線の部分のみ、または線の周囲ギリギリの部分を切り抜くため、線が途切れたり離れたりしている絵には不向きです。
絵を合成する場合は、絵を囲む（線をつなげる）ようにして、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、絵全体が切り抜かれてうまく合成することができます。

破線部分が切り抜かれます。

- **文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、文字の一部まで白抜きになってしまう。**

「囲み内側白抜き」の機能の仕様です。
下図（A）のように絵の中（顔の部分）を濃い色のペンで塗り潰して、文字飾りを「ふち取り」に設定するか、下図（B）のように文字全体を線で囲い、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定してお試しください。

(A)

(B)

- **用紙の汚れ（異物）が合成されてしまった。**

修正液（修正シール）などで汚れを消して、もう一度印刷をお試しください。

- **手書きの内容が等倍（100%）で印刷されない。**

手書きエリアや印刷エリアは、印刷される領域の実寸を表示していません。書き込んだ内容は、用紙のサイズに合わせて自動的に拡大／縮小されますので、等倍にはなりません。

- **手書きした文字がにじんでしまう。**

手書き合成シートを印刷した直後は、まだインクが十分に乾燥していません。乾燥していないシートに水性ペンなどで文字を書き込むと、文字がにじんでしまうことがあります。手書き合成シートを十分に乾燥させてから、文字を書き込んでください。

- **手書きエリアの画像に位置を合わせて文字を書いたのに、合成結果がずれてしまう。**

手書きエリアの画像は位置合わせの目安になりますが、合成結果とぴったり一致するものではありません。
また、手書き合成シートのスキャン時にシートが傾いてセットされていると、合成結果が大きくずれることがあります。

フレームを付けて印刷< P.I.F. 印刷>

エプソンの PRINT Image Framer（プリント イメージ フレーマー）は、写真データにフレーム※（飾り枠）や年賀状 / カレンダーなどのレイアウト※（書式）を重ね合わせて、楽しい印刷ができます。

※ 写真データに重ね合わせるフレームやレイアウトのデータを「P.I.F.（ピフ）フレーム」といいます。

撮影した写真を使って

＋

P.I.F. フレームを重ね合わせると、

楽しい写真の出来上がり！

①フレームデータをメモリカードに保存

エプソンのホームページ、または付属の『ソフトウェア CD-ROM』から、P.I.F. フレームを入手してメモリカードに保存します。

（2005 年 7 月現在の画面）

ダウンロード

メモリカードへ保存

フレームデータを準備するには、本製品とパソコンを接続して、ソフトウェアをインストールしておく必要があります。
本書 157 ページ「ドライバの再インストール」

1 メモリカードを本製品にセットします。

本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」
本書 115 ページ「メモリカードドライブとしての使い方」

2 パソコンで、エプソンのホームページ、または『ソフトウェア CD-ROM』から、P.I.F. フレームを入手します。

http://www.i-love-epson.co.jp

3 付属のアプリケーションソフト「EPSON（エプソン） PRINT Image Framer Tool（プリント イメージ フレーマー ツール）」を起動します。

Windows の場合

［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON PRINT Image Framer］－［EPSON PRINT Image Framer Tool］の順にクリックします。

Mac OS X の場合

ハードディスク内の［アプリケーション］－［PRINT Image Framer Tool］－［PRINT Image Framer Tool］の順にダブルクリックします。

4 P.I.F. フレームをメモリカードに保存します。

「EPSON PRINT Image Framer Tool」のヘルプ

「EPSON PRINT Image Framer Tool」では、オリジナルの P.I.F. フレームを作成することもできます。

5 保存が終了したら、一旦メモリカードを取り出します。

② P.I.F. 印刷の実行

P.I.F. フレームと写真を合成して印刷します。

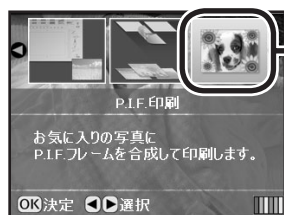
1 **P.I.F. フレームと写真が保存されているメモリカードを、本製品にセットします。**

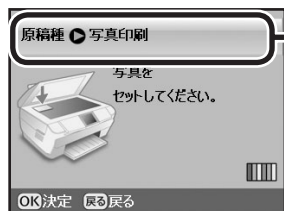
☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **印刷用紙をセットします。**

使用する P.I.F. フレームと同じサイズの用紙をセットしてください。
☞本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3 **【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。**

4 **メニューの［P.I.F. 印刷］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **原稿種を［メモリカード］に設定します。**

①【▷】ボタンで設定値表示

②【▽】か【△】ボタンで選択
③【OK】ボタンで決定
④【OK】ボタンで設定終了

6 **合成する P.I.F. フレームを選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

合成可能な写真の数が表示される

7 **写真を選択します。**

手順 6 で表示された合成可能な写真の数だけ選択してください。

■合成可能な写真が 1 つの場合

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

■合成可能な写真が複数の場合

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【△】ボタンで選択
※【▽】ボタンで選択を解除できます。
③ ①と②を繰り返し、【OK】ボタンで決定

参考

- 合成可能な写真の数を超えての設定はできません。
- 合成可能な写真の数に満たない場合は、合成されない枠ができます。

8 **印刷枚数を設定します。**

【▽】か【△】ボタンで枚数設定

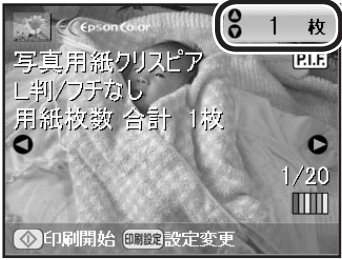
9 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

用紙サイズは、P.I.F. フレームのサイズにより固定となります。また、フチなしの P.I.F. フレームを使用する場合は、フチなしはみ出し量の調整はできません。
☞ 本書 75 ページ「印刷設定」

10 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

参考

- P.I.F. は 1 回の印刷で 1 種類しか使用できません。
- 写真ごとに P.I.F. が指定されている場合は、P.I.F. 関連付けの設定をして、メモリカードモードのメニューから印刷してください。

以上で、P.I.F. 印刷の手順説明は終了です。

設定項目の詳細

メモリカードからの印刷で設定できる項目と設定値について説明します。

写真の表示切替と枚数設定方法

写真選択の際、【表示切替】ボタンで、以下のように画面表示を切り替えることができます。また、各画面で印刷枚数の設定ができます。
なお、［すべて印刷］/［オーダーシート］/［スライドショー］では、表示切替はできません。

表示	説明
1 面表示 ＋ 印刷設定表示 （標準）	メモリカード内の写真を、1 枚ずつ表示します。 また、印刷設定情報を表示します。 ①【▷】か【◁】ボタンで写真表示 ②【△】か【▽】ボタンで枚数設定
1 面表示 ＋ 印刷設定表示 （詳細）	上記標準表示より、さらに詳しい印刷設定情報を表示します。 ①【表示切替】ボタンを押す ②【▷】か【◁】ボタンで写真表示 ③【△】か【▽】ボタンで枚数設定
1 面表示 （印刷設定 表示なし）	印刷設定情報の表示を消します。 ①【表示切替】ボタンを押す ②【▷】か【◁】ボタンで写真表示 ③【△】か【▽】ボタンで枚数設定
16 面表示	メモリカード内の写真を、一度に 16 枚表示します。 ①【表示切替】ボタンを押す ②【▷】か【◁】ボタンで写真表示 ③【△】か【▽】ボタンで枚数設定

写真のスライドショー表示

メモリカードモードのメニューの［スライドショー］を選択すると、メモリカード内の写真を一定間隔で順次表示します。
【OK】ボタンで一時停止 / 再実行することができます。その他の操作ボタンを押すと、メニューに戻ります。

印刷設定

「印刷設定」が表示されている画面で【印刷設定】ボタンを押すと、印刷設定画面が表示されます。

設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。

設定項目	設定値の詳細
用紙種類 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいに印刷できます。	写真用紙クリスピア ：写真用紙クリスピア＜高光沢＞ 写真用紙 ：写真用紙＜光沢＞ / 写真用紙＜絹目調＞ 郵便光沢ハガキ ：郵便光沢ハガキ（写真用）の通信面 郵便 IJ ハガキ ：郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面 / スーパーファイン専用ハガキの通信面 郵便ハガキ ：郵便ハガキ（再生紙）/ ハガキの宛名面 普通紙（前面） ：両面上質普通紙＜再生紙＞ / 事務用普通紙 ※前面オートシートフィーダ（A4 サイズ専用）から給紙されます。 普通紙（背面） ：両面上質普通紙＜再生紙＞ / 事務用普通紙 ※背面オートシートフィーダから給紙されます。 フォトマット紙 ：フォトマット紙 スーパーファイン紙 ：スーパーファイン紙 両面マット紙 ：両面マット紙＜再生紙＞（名刺サイズ） ミニフォトシール ：ミニフォトシール アイロンペーパー ：アイロンプリントペーパー
用紙サイズ セットした用紙のサイズを設定します。	L 判 /2L 判 / ハガキ / 六切 /A4/ カード / 名刺
レイアウト 用紙にどのような配置 / 面付けで印刷するかを設定します。	フチなし　フチあり　上半分　2 面　4 面 8 面　20 面　80 面（インデックス） 20 面 /80 面は、各写真の下にコマ番号や日付が必ず印刷されますので、インデックス印刷（写真一覧）としてご利用になれます。
日付表示※1※2 撮影した日付を入れて印刷します。	しない ：日付を入れない yyyy.mm.dd ：年 . 月 . 日を印刷 例）2005.10.01 mmm.dd.yyyy ：月 . 日 . 年を英語表記で印刷 例）Oct.01.2005 dd.mmm.yyyy ：日 . 月 . 年を英語表記で印刷 例）01.Oct.2005
時刻表示※1※2 撮影した時刻を入れて印刷します。	しない ：時刻を入れない 12 時間 ：時刻を 12 時間表記で印刷 例）8:35 24 時間 ：時刻を 24 時間表記で印刷 例）20:35

設定項目	設定値の詳細
品質 印刷品質を設定します。	速い / きれい / フォト
フィルタ 写真に特殊効果を加えて印刷します。	なし　：特殊効果を加えずに印刷します。 セピア　：セピア色で印刷 モノクロ　：モノクロで印刷
自動画質補正 写真を、最適な色合いに自動補正して、印刷します。	オートフォトファイン!EX：画像に合わせて最適な補正をして印刷します。 写真データに Exif Print※の撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた補正も行います。 P.I.M.　：PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。 なし　：画像を補正せずに印刷します。 ※ Exif Print（イグジフプリント）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加される撮影情報です。
明るさ調整 写真の明るさを調整して印刷します。	より明るく / 明るく / 標準 / 暗く / より暗く
コントラスト 写真のコントラスト（メリハリ）を調整して印刷します。	標準 / 強く / より強く
シャープネス 写真のシャープさを調整して印刷します。	シャープネス強 / シャープネス弱 / 標準 / ソフトフォーカス弱 / ソフトフォーカス強
鮮やかさ調整 写真の鮮やかさを調整して印刷します。	より鮮やか / 鮮やか / 標準 / くすんだ / よりくすんだ
撮影情報印刷 撮影したデジタルカメラの情報を入れて印刷します。	しない　：撮影情報を印刷しません。 する　：写真データの Exif 情報に基づいて撮影環境に関する情報を印刷します。
携帯写真印刷 解像度の低い写真に、最適な補正を加えて印刷します。	しない　：補正を加えずに印刷します。 する　：ノイズ除去しながら解像度補間を行います。（印刷速度が多少遅くなります。） ※自動画像補正を［なし］に設定している場合は機能しません。
トリミング 印刷枠に対して元画像をトリミングして印刷します。	する　：印刷領域の一辺と画像の一辺のサイズを合わせて印刷します。 横長の画像の場合は、縦の印刷領域に合わせて印刷します。印刷領域に収まらない上下 (または左右) の画像が切り取られます。 元画像　用紙サイズ（印刷領域） しない　：画像データを切り取ることなく用紙サイズの印刷領域に収まるように印刷します。 元画像　用紙サイズ（印刷領域） ※パノラマ写真のように、長辺の画素数が短辺の画素数の 2 倍以上ある場合は、トリミングの設定が無効となります。 ※フチなし / 上半分のレイアウトを選択した場合は、常にトリミングして印刷します。

設定項目	設定値の詳細
双方向印刷 双方向印刷により、印刷速度が速くなります。	する　：プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。（印刷速度が速くなりますが、印刷品質が多少低下します。） しない　：双方向印刷をしません。（片方向印刷により高品質になりますが、印刷速度が多少低下します。）
フチなしはみ出し量 ［フチなし］設定時に、用紙からはみ出させる量を調整します。	標準　：はみ出し量を標準で印刷（フチが完全になくなります。） 少ない　：はみ出し量をやや少なめにして印刷（余白が出る場合があります。） より少ない　：はみ出し量を少なめにして印刷（余白が出る場合があります。）
P.I.F. 関連付け P.I.F. のレイアウト関連付け印刷を行います。	する　：P.I.F. 対応のデジタルカメラで P.I.F. を指定して撮影した写真を、指定通りに印刷します。 ※ P.I.F. を指定して撮影した写真は、以下のように表示されます。 しない　：P.I.F. のレイアウト関連付け印刷をしません。

※ 1：　レイアウトによっては、日付表示 / 時刻表示を設定しても印刷されない場合があります（例：L 判に 2 面以上、2L 判やハガキに 4 面以上の面付けレイアウトを選択した場合や 20 面 /80 面のレイアウトを選択した場合など）。
なお、20 面 /80 面は各写真の下に写真情報（コマ番号・日付）として印刷されます。

※ 2：　スキャンしたデータをメモリカードに保存する機能（スキャンモードの［スキャンしてメモリカードに保存］、またはフィルムモードの［メモリカードに保存］）を使用してメモリカードに保存されたデータの場合、日付印刷 / 時刻印刷の設定は無効となり印刷されません。

CD/DVD 印刷時の印刷設定

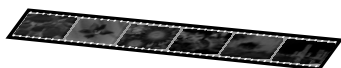
メディア種類	CD/DVD レーベル	CD/DVD ジャケット
用紙種類	CD/DVD レーベル / 普通紙 ※［普通紙］に設定すると、A4 サイズの普通紙に試し印刷することができます。	写真用紙クリスピア / 写真用紙 / 普通紙 / フォトマット紙 / スーパーファイン紙
用紙サイズ	CD/DVD / A4	A4
レイアウト	1 面 /4 面 /8 面 /12 面 本書 65 ページ	CD ケース片面 /CD ケースインデックス 本書 66 ページ
印刷濃度	標準 / 濃く / より濃く	－

その他の項目は 75 ページをご覧ください。

フィルムについて

使用できるフィルムの種類

本製品で使用できるフィルムは以下の通りです。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）

一般の 35mm フィルムを 6 コマ単位で切ったフィルム（スリーブフィルム）

＜フィルムタイプ＞

■ **カラーネガフィルム**
カラー画像の濃淡が反転して記録されているフィルム
■ **モノクロネガフィルム**
モノクロ画像の濃淡が反転して記録されているフィルム
■ **カラーポジフィルム**
カラー画像がそのまま再現されているフィルム

35mm マウント（スライド）フィルム

スライド用に、カラーポジフィルムを 1 枚ずつ切って、プラスチックなどの枠に挟んだフィルム。厚さ 2 ｍｍ以内のものが使用できます。

＜フィルムタイプ＞

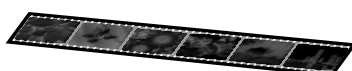
■ **カラーポジフィルム**
カラー画像がそのまま再現されているフィルム
（カラースライド用のフィルム）

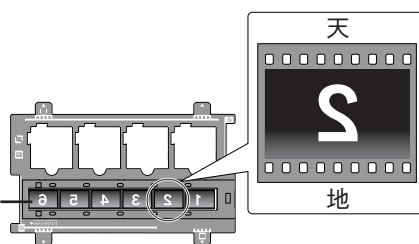
フィルムのセット方法

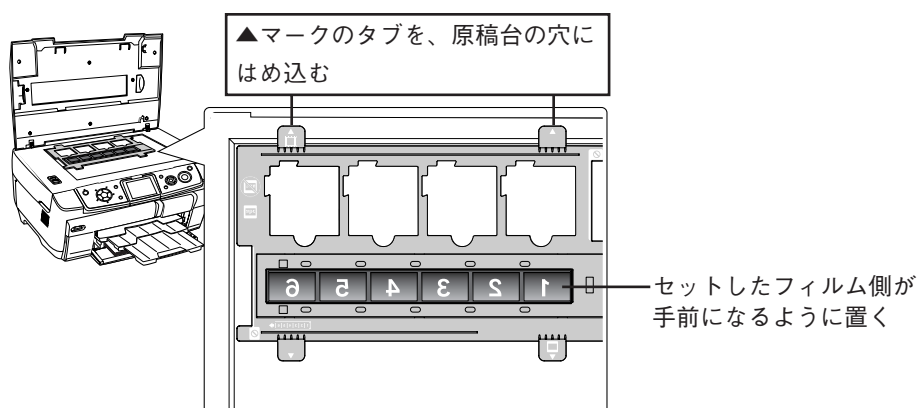
フィルムのセット方法

！注意

- ストリップフィルムとマウントフィルムとでは、セット方法が異なります。2 種類のフィルムを同時にセットしないでください。
- フィルムは正しい向きにセットしてください。画像を取り込んだ後に反転することはできません。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）

1 ストリップフィルムをフィルムホルダにセットします。

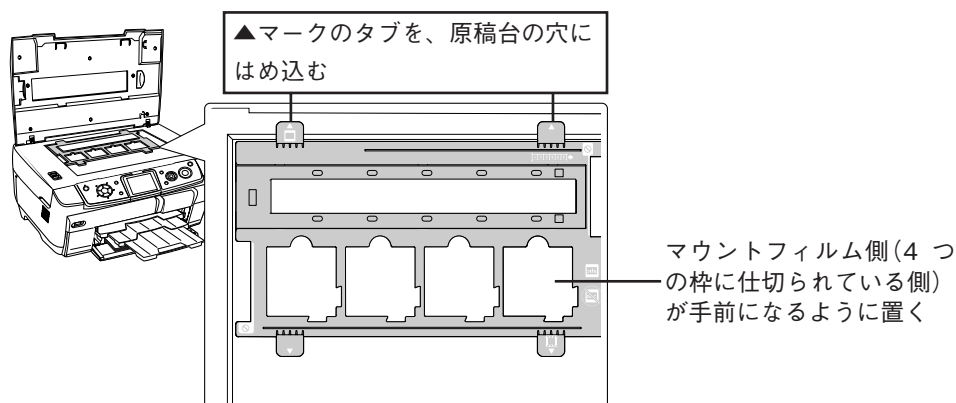
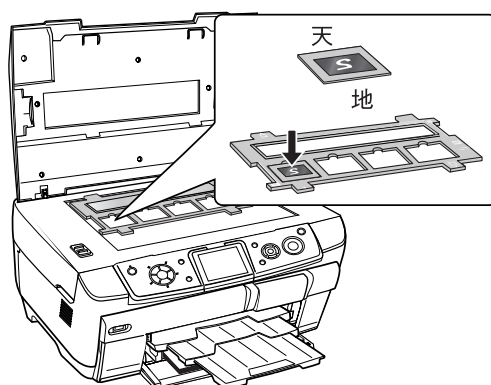
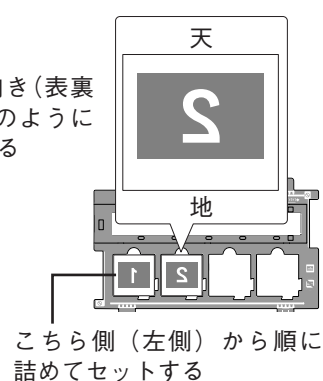
フィルムホルダは、原稿カバー内に収納できます。フィルムホルダが収納されている場合は取り出して、保護マットは外したままにしておいてください。

☞ 本書 84 ページ「フィルムホルダの収納」

2 フィルムホルダを原稿台に置きます。

以上で、ストリップフィルムのセット方法の説明は終了です。

35mm マウント（スライド）フィルム

1 フィルムホルダを原稿台に置きます。

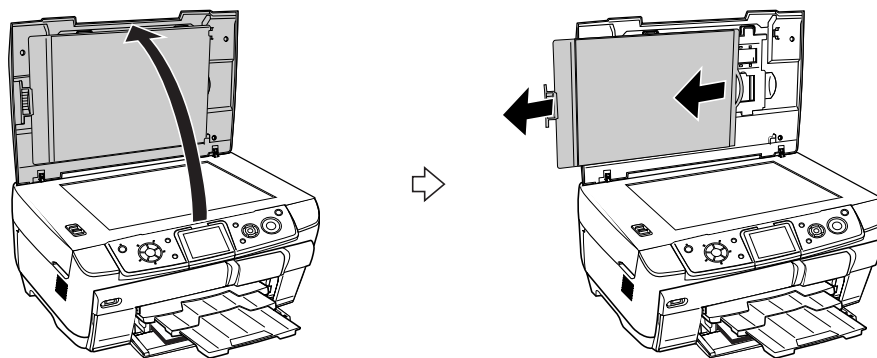
フィルムホルダは、原稿カバー内に収納できます。フィルムホルダが収納されている場合は取り出して、保護マットは外したままにしておいてください。

☞ 本書 84 ページ「フィルムホルダの収納」

2 マウントフィルムを 1 枚ずつ、フィルムホルダにセットします。

以上で、マウントフィルムのセット方法の説明は終了です。

写真プリントの基本手順

写真を選んで印刷

1

原稿カバーを開けて、保護マットを取り外します。

2

原稿台にフィルムをセットして、原稿カバーを閉じます。

☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」

3

印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

4

【フィルム】ボタンを押して、フィルムモードにします。

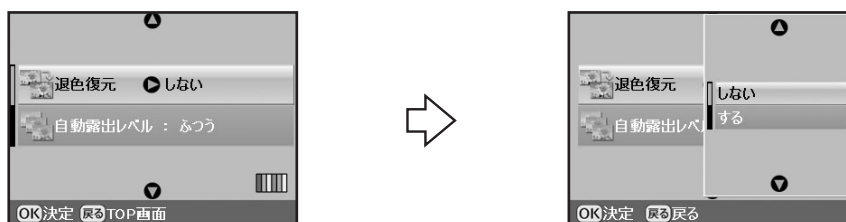
参考

- フィルムモードにならない場合は、もう一度【フィルム】ボタンを押してください。電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンが反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（スリープモード時）や、スクリーンセーバー起動中は、【フィルム】ボタンを 2 回押してください。

5 セットしたフィルムの種類を選択します。

6 スキャン時の設定をします。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで設定値選択
④【OK】ボタンで決定

参考

- 色あせたり変色した古い写真フィルムを印刷する場合は退色復元を［する］に設定します。
  本書 86 ページ「退色復元印刷」
- 露出（光を取り込む量）を調整する場合は自動露出を［淡い］または［鮮やか］に変更します。

7 【OK】ボタンを押して、スキャンを実行します。

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

8 スキャン結果を確認し、【OK】ボタンを押します。

スキャンし直す場合は、【戻る】ボタンを押してください。

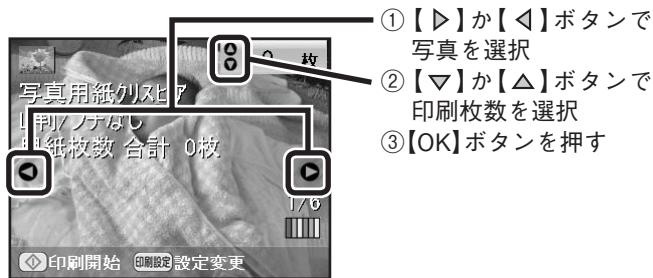
① スキャン結果を確認
② 【OK】ボタンで決定

9 メニューの［選んで印刷］を選択します。

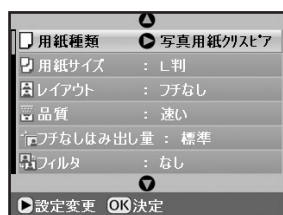
① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

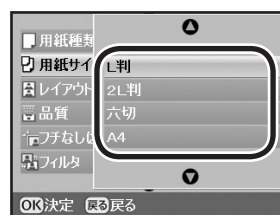
次ページへ続く

10 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

複数の写真を選択する場合は①と②の手順を繰り返し、最後に【OK】ボタンを押します。

①【▷】か【◁】ボタンで写真を選択
②【▽】か【△】ボタンで印刷枚数を選択
③【OK】ボタンを押す

11 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定を変更します。

本書 90 ページ「印刷設定」

①【印刷設定】ボタンで設定画面表示

②【▽】か【△】ボタンで項目選択
③【▷】ボタンで設定値表示

④【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤【OK】ボタンで決定
⑥【OK】ボタンで設定終了

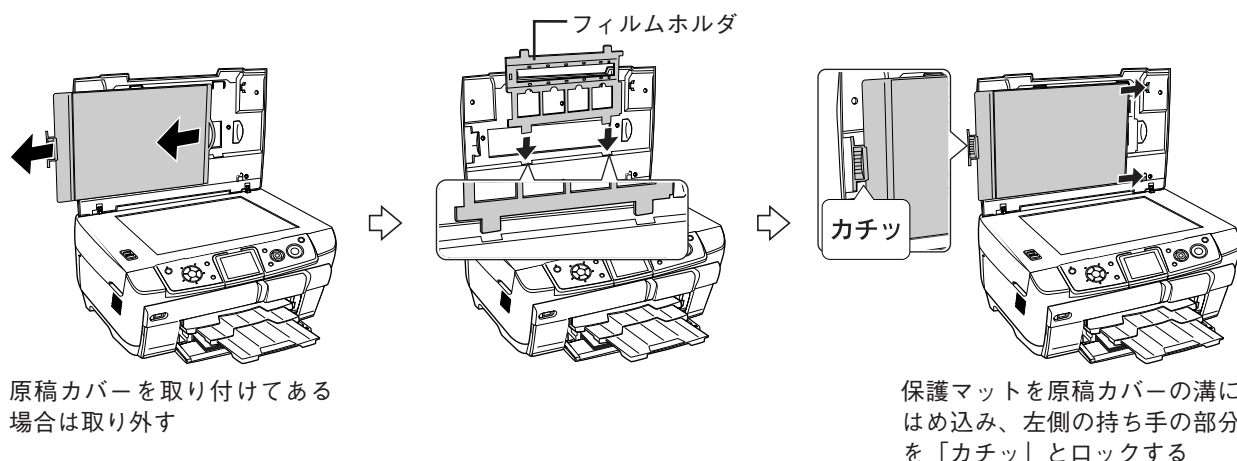
12 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

13 印刷が終了したら、フィルムホルダからフィルムを取り外します。

印刷終了後も、続けてスキャンができるように、原稿カバー裏のランプが点灯していることがあります。

以上で、フィルム印刷の基本手順の説明は終了です。

フィルムホルダの収納

フィルムホルダを使用しないときは、原稿カバーの内側に収納しておくことができます。

原稿カバーを取り付けてある場合は取り外す

保護マットを原稿カバーの溝にはめ込み、左側の持ち手の部分を「カチッ」とロックする

写真プリントの応用手順

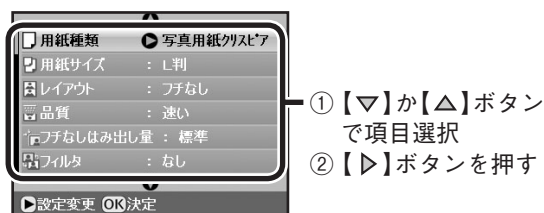
用紙と余白を設定して印刷

セットした用紙の種類 / サイズを設定したり、余白を設定して印刷します。

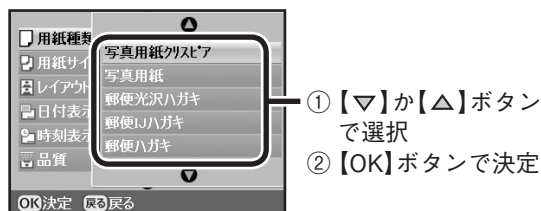
1 **写真プリントの基本手順に従ってフィルムをスキャンし、印刷する写真を選択します。**

☞本書 82 ページ「写真プリントの基本手順」手順1～手順10

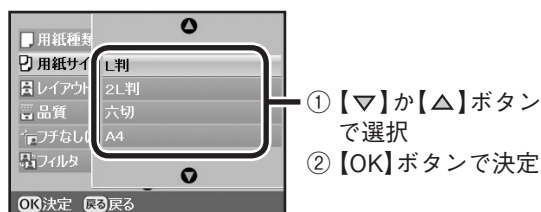
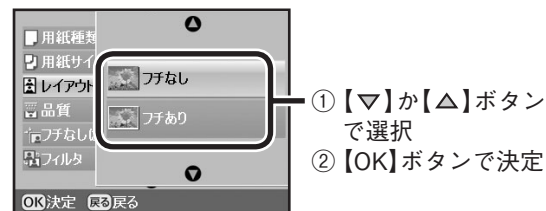
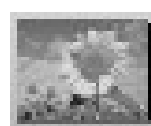
2 **【印刷設定】ボタンを押して、設定する項目を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンを押す

3 **設定値を選択します。**

用紙種類［写真用紙 / スーパーファイン紙］などの場合

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

用紙サイズ［L 判 / ハガキ］などの場合

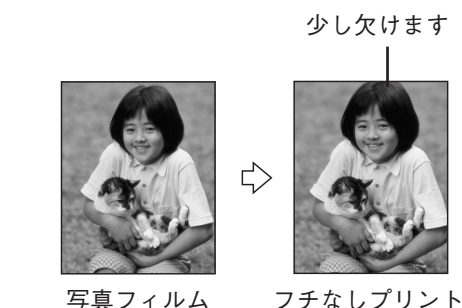
余白［フチなし / フチあり］の場合

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

フチなし　　フチあり

参考

［フチなし］設定は、写真を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、「印刷設定」ではみ出し量を調整してください。

☞ 本書 90 ページ「印刷設定」

写真フィルム　　フチなしプリント

4 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

5 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

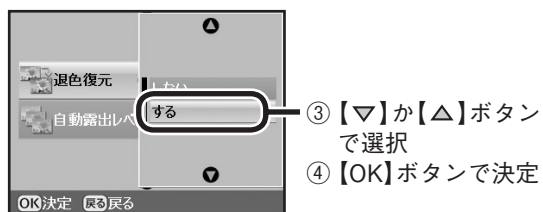
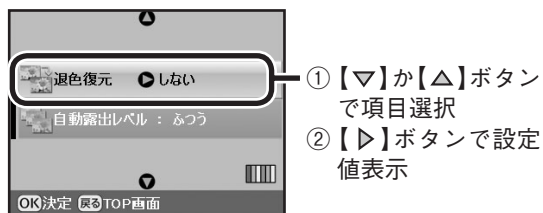
以上で、用紙と余白を設定して印刷する手順説明は終了です。

退色復元印刷

色あせた写真フィルムを、元の色に復元して印刷します。

1 **写真プリントの基本手順に従い、メニューのフィルムの種類を選択します。**

☞本書 82 ページ「写真プリントの基本手順」手順1～手順5

2 **退色復元を［する］に設定します。**

3 **【OK】ボタンを押して、スキャンを実行します。**

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

4 **この後は、写真プリントの基本手順に従い、印刷を実行します。**

☞本書 83 ページ「写真プリントの基本手順」手順8～手順13

以上で、退色復元印刷の手順説明は終了です。

ズームアップして印刷

写真の一部をズームアップして印刷します。

1 **写真プリントの基本手順に従い、フィルムをスキャンします。**

☞本書 82 ページ「写真プリントの基本手順」手順1〜手順8

2 **メニューの［ズーム印刷］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

3 **印刷する写真を 1 つだけ選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【OK】ボタンで決定

4 **ズームアップする部分の中心「＋」を設定します。**

①【△】【▽】【▷】【◁】ボタンで「＋」の位置を移動
②【OK】ボタンで決定

5 **ズームアップする範囲を設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで枠を拡大縮小
②【OK】ボタンで決定

6 **印刷枚数を設定します。**

【△】か【▽】ボタンで枚数設定

ズーム範囲を変更する場合は、【戻る】ボタンで手順5か4へ戻り設定し直してください。

7 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

☞ 本書 90 ページ「印刷設定」

8 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、ズームアップして印刷する手順説明は終了です。

すべての写真を印刷

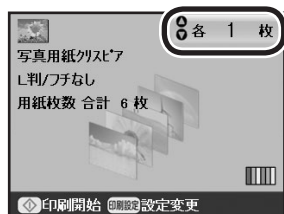
セットしたフィルム内のすべての写真を印刷します。

1 **写真プリントの基本手順に従い、フィルムをスキャンします。**

本書 82 ページ「写真プリントの基本手順」手順1～手順8

2 **メニューの［すべて印刷］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

3 **印刷部数を設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで部数設定
②【OK】ボタンで決定

4 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

本書 90 ページ「印刷設定」

5 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、すべての写真を印刷する手順説明は終了です。

写真（コマ番号）の範囲を指定して印刷

セットしたフィルム内の写真のうち印刷したい写真の範囲（2 ～ 5 コマ目など）を指定して印刷します。

1 写真プリントの基本手順に従い、フィルムをスキャンします。

☞本書 82 ページ「写真プリントの基本手順」手順1～手順8

2 メニューの［範囲印刷］を選択します。

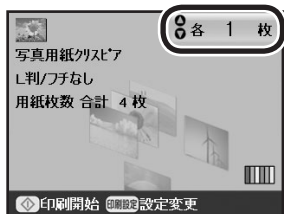
①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

3 始めの写真を決定します。

①【▷】【◁】【△】【▽】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

4 終わりの写真を決定します。

①【▷】【◁】【△】【▽】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 印刷部数を設定します。

【▽】か【△】ボタンで部数設定

6 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞ 本書 90 ページ「印刷設定」

7 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、範囲を指定して印刷する手順説明は終了です。

フィルムから写真プリント

設定項目の詳細

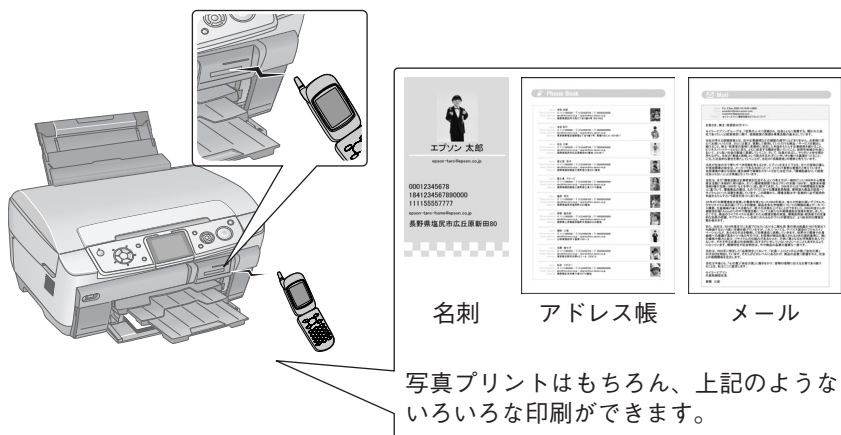
フィルムモードで設定できる項目と設定値について説明します。

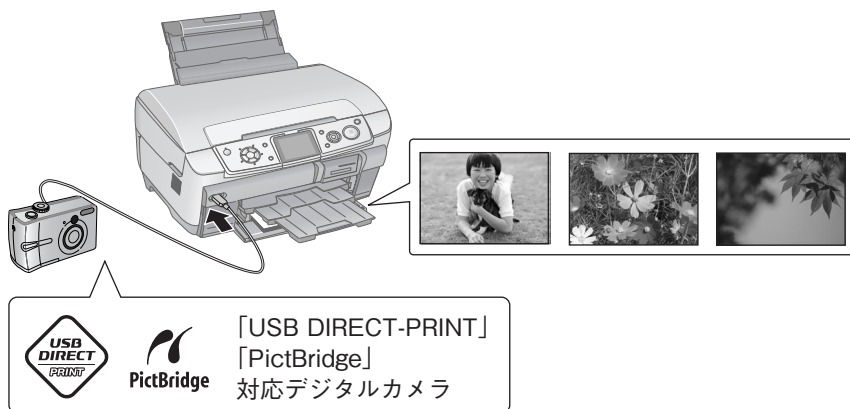
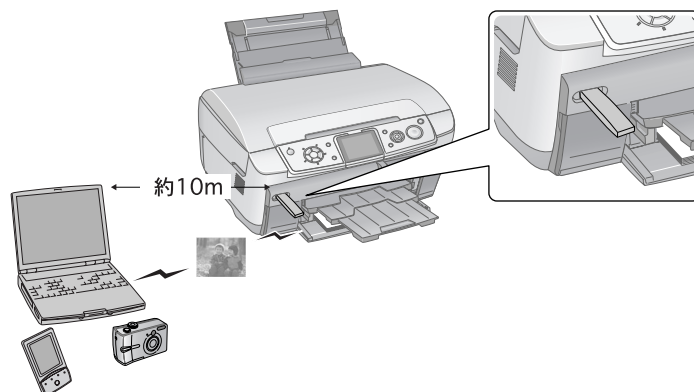
印刷設定

「印刷設定」が表示されている画面で【印刷設定】ボタンを押すと、印刷設定画面が表示されます。

設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。

設定項目	設定値の詳細
用紙種類 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいに印刷できます。	写真用紙クリスピア　：写真用紙クリスピア<高光沢> 写真用紙　：写真用紙<光沢> / 写真用紙<絹目調> 郵便光沢ハガキ　：郵便光沢ハガキ（写真用）の通信面 郵便 IJ ハガキ　：郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面 / スーパーファイン専用ハガキの通信面 郵便ハガキ　：郵便ハガキ（再生紙）/ ハガキの宛名面 普通紙（前面）　：両面上質普通紙<再生紙> / 事務用普通紙 ※前面オートシートフィーダ（A4 サイズ専用）から給紙されます。 普通紙（背面）　：両面上質普通紙<再生紙> / 事務用普通紙 ※背面オートシートフィーダから給紙されます。 フォトマット紙　：フォトマット紙 スーパーファイン紙　：スーパーファイン紙 両面マット紙　：両面マット紙<再生紙>（名刺サイズ）
用紙サイズ セットした用紙のサイズを設定します。	L 判 /2L 判 / ハガキ / 六切 /A4/ カード / 名刺
レイアウト 用紙にどのような配置 / 面付けで印刷するかを設定します。	フチなし　フチあり
品質 印刷品質を設定します。	速い / きれい / フォト
フチなしはみ出し量 ［フチなし］設定時に、用紙からはみ出させる量を調整します。	標準　：はみ出し量を標準で印刷（フチが完全になくなります。） 少ない　：はみ出し量をやや少なめにして印刷（余白が出る場合があります。） より少ない　：はみ出し量を少なめにして印刷（余白が出る場合があります。）
フィルタ 写真に特殊効果を加えて印刷します。	なし　：特殊効果を加えずに印刷します。 モノクロ　：モノクロで印刷

ダイレクトプリントについて

※ 携帯電話のメモリカードから写真プリントする方法は、
☞ 本書 56 ページ「携帯写真印刷」

「USB DIRECT-PRINT」
「PictBridge」
対応デジタルカメラ

※ デジタルカメラのメモリカードから写真プリントする方法は、
☞ 本書 49 ページ「メモリカードから写真プリント」

携帯電話から直接印刷 ＜赤外線通信カード - 別売 - ＞

携帯電話の赤外線通信機能を使い、ワイヤレスで印刷することができます。
印刷可能な携帯電話については、本製品のカタログやエプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.i-love-epson.co.jp ＞

印刷可能なデータと適切な用紙サイズ

携帯電話から赤外線経由で送信される以下のデータを、所定のフォーマット（レイアウト）で印刷します。

※お使いの携帯電話によって、印刷できるデータやメニュー名称などが異なります。

印刷可能なデータと印刷形式			適切な用紙サイズ
①	電話帳（vCard）	一件印刷	名刺
②	電話帳（vCard）	全件印刷	A4
③	メール（vMessage）		A4
④	メモ（vNote）		A4
⑤	予定表 / スケジュール（vCalendar）		A4
⑥	ToDo リスト（vCalendar）		A4
⑦	画像（JPEG 画像のみ対応）		カード / L 判 / ハガキ

印刷イメージ

①電話帳 1 件印刷（名刺サイズ）

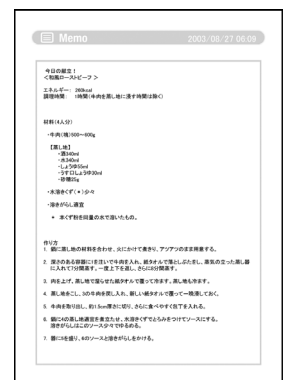
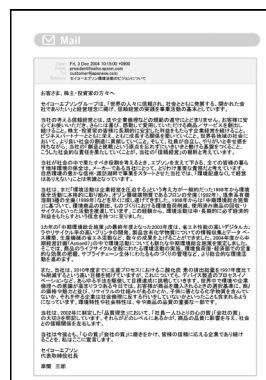
画像データがある場合、このように印刷されます。

※ 名刺よりも大きなサイズの用紙に印刷すると、余白が多くなります。

②電話帳全件印刷（A4 サイズ）

画像データがある場合、このように印刷されます。

※ テキストデータのみの場合、最大 1000 件の電話帳を印刷できます。
画像データがある場合は、件数が少なくなります。

③メール（A4 サイズ） ④メモ（A4 サイズ）

※ メール / メモは、用紙 1 枚の印刷エリア内に可能な限り印刷されます。印刷エリア内に収まらない長文のメールなどは、途中で印刷が途切れます。

※ メールの中の絵文字や写真は印刷されません（一部の携帯電話では、絵文字データが正しく印刷されます）。

⑤予定表 / スケジュール（A4 サイズ）

⑥ ToDo リスト（A4 サイズ）

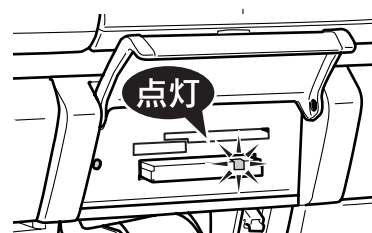
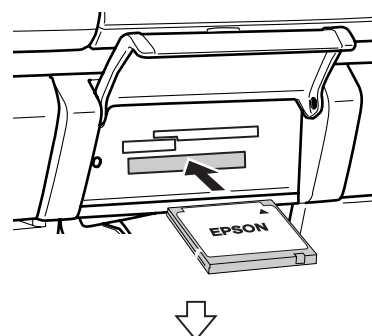
⑦ JPEG 画像

印刷の際、本製品の操作パネルで各種印刷設定ができます。
☞ 本書 94 ページ「携帯電話からの印刷方法」

赤外線通信カードのセット方法

印刷を実行する前に、別売の赤外線通信カード（型番：PMPTIR1）をセットします。
赤外線通信カードは、コンパクトフラッシュメモリカードと同様の手順でセットできます。
☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

1 **本製品の電源をオンにします。**

2 **赤外線通信カードをセットします。**
正常にセットされると、赤外線通信カードの緑色のランプが点灯します。

参考
緑色以外（赤 / 橙）のランプが点灯していたり、しばらくしてもランプが点灯しない場合は、赤外線通信カードを一旦引き抜き、もう一度セットし直してみてください。

携帯電話からの印刷方法

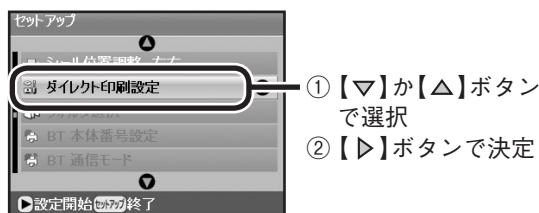
1　印刷用紙をセットします。

本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2　【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

メモリカードモードでは印刷できません。

3　［ダイレクト印刷設定］を選択します。

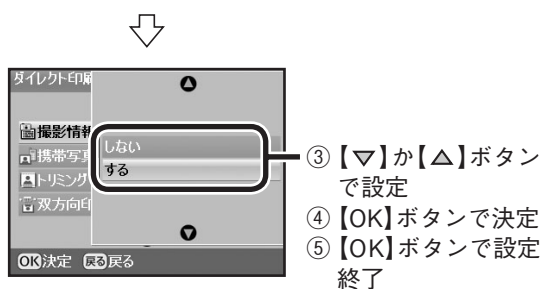
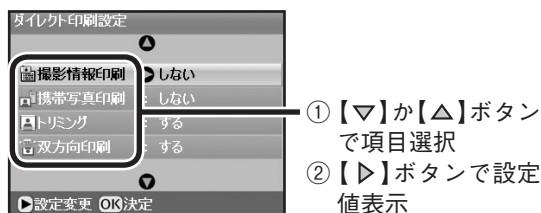
①【▽】か【△】ボタンで選択
②【▷】ボタンで決定

4　印刷設定をします。

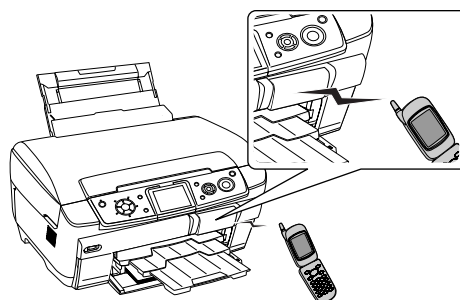
本書 75 ページ「印刷設定」

カメラ付き携帯電話で撮影した写真を印刷する場合は、設定項目の［携帯写真印刷］を［する］に設定することをお勧めします。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

⇩

③【▽】か【△】ボタンで設定
④【OK】ボタンで決定
⑤【OK】ボタンで設定終了

5　携帯電話からデータを送信して、印刷を実行します。

携帯電話の赤外線ポートを、本製品の赤外線通信カードに向けて（10cm 以内に近づけて）、送信してください。正常にデータを受信すると、印刷が始まります。

参考

- 携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 赤外線通信カードの通信距離は 20cm 以内ですが、静電気防止のためメモリカードスロットカバーを閉じることにより、通信距離が 10cm 以内となります。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の直下などの場所では、正常に通信できない場合があります。
- 画像データの送信時は、印刷中に最大 10 件まで（印刷中のデータを含む）印刷予約することができます（最大 3MB）。
- 電話帳全件送信の際、携帯電話の機種によっては、暗証番号以外に「認証パスワード」が求められる場合があります。その場合は、本製品で設定した BT/ 赤外線通信パスキーの値（4 桁の数字）を入力してください。
  本製品の［BT/ 赤外線通信パスキー設定］をしていない場合、初期値の「0000」となります。
  本書 96 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

以上で、携帯電話から直接印刷する手順説明は終了です。

デジタルカメラから直接印刷 < USB 接続>

参考

- 「USB DIRECT-PRINT」、または「PictBridge」の規格に対応したデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷することができます。本製品と接続可能なデジタルカメラについては、エプソンのホームページでご案内しています。（http://www.i-love-epson.co.jp）
- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷の設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されます。ただし、[標準設定※1] などを選択した場合やデジタルカメラ側で設定できない機能については、本製品側の設定が反映されます。なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせの場合は、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます（この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません)。
- CD/DVD に印刷する場合は、本製品側で印刷の設定をしてから、デジタルカメラ側で写真を選択して印刷を実行してください。ただし、お使いのデジタルカメラによっては、DPOF※2 設定での CD/DVD 印刷ができない場合があります。
- セピアまたはモノクロで印刷したい場合は、本製品側でセピア印刷またはモノクロ印刷の設定をしてください。デジタルカメラ側で「プリント効果：イメージオプティマイズ※3」の設定ができる場合は、「標準設定※1」に設定してください。
- TIFF 画像の印刷はできません。TIFF 画像を印刷したい場合は、メモリカードから直接印刷してください。

※ 1 本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「標準設定」「プリンタ指定」など）
※ 2 DPOF < Ver1.10 >に対応したデジタルカメラであらかじめ印刷設定した「プリント指定ファイル」により印刷する機能（ファイル指定の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「DPOF」「プリント予約」など）
※ 3 色合いなどの調整をする設定項目（設定項目名はデジタルカメラによって異なります。例:「プリント効果:イメージオプティマイズ」「印刷補正」など）

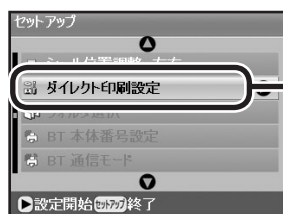
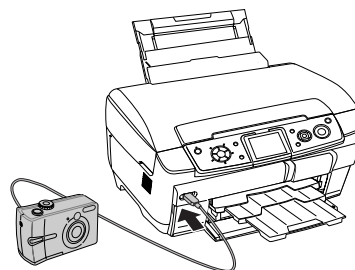
1 本製品の電源をオンにし、印刷用紙をセットします。

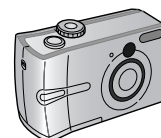
☞本書 13 ページ「印刷用紙、CD/DVD のセット方法」

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

メモリカードモードでは印刷できません。

3 [ダイレクト印刷設定]を選択し、必要に応じて印刷設定をします。

☞本書 94 ページ「携帯電話からの印刷方法」手順 3 4

4 デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

5 デジタルカメラで各種設定をします。

① 印刷する写真と枚数を設定します。
② お好みでその他の項目を設定します。

6 デジタルカメラから印刷を実行します。

以上で、デジタルカメラから直接印刷する手順説明は終了です。

Bluetooth でワイヤレス印刷 < Bluetooth ユニット - 別売 - >

本製品と通信が可能な製品

Bluetooth 対応の製品で、以下のプロファイル※に対応している必要があります。

※ Bluetooth 通信を行うための規格です。製品ごとの特長や使用目的に応じて複数のプロファイルが制定されています。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器がお互いに共通のプロファイルに対応している必要があります。

BIP（Basic Imaging Profile）

- JPEG 画像（最大 2.5MB）に対応。
- 本製品の操作パネルで、ダイレクト印刷設定を行ってから、データを送信して印刷します。
- 一度に送信できるデータは 1 件で、最大 10 件まで印刷予約することができます（最大 3MB）。

OPP（Object Push Profile）

- JPEG画像、およびvObjectに対応（赤外線通信と同様）。
  本書 92 ページ「携帯電話から直接印刷＜赤外線通信カード - 別売 - ＞」
- 本製品の操作パネルでダイレクト印刷設定を行ってから、データを送信して印刷します。

HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

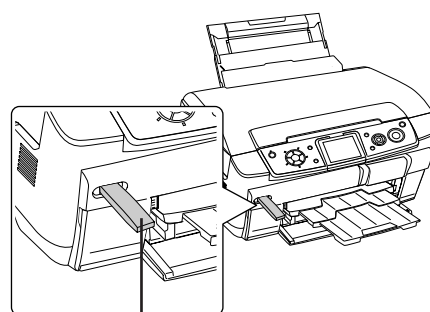
- データを送信する機器の設定に従って印刷します。本製品の操作パネルでは、設定できません。

参考

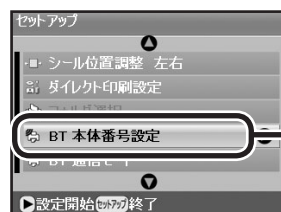
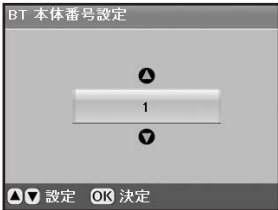
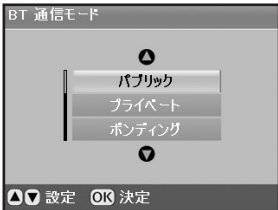
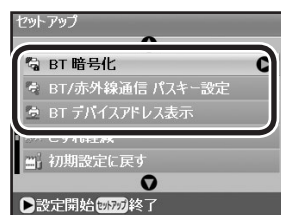
- ご利用の製品の取扱説明書などで、上記のプロファイルに対応しているかをご確認ください。Bluetooth 対応の製品でも、上記のプロファイルに対応していない場合は、Bluetooth ユニットと通信することはできません。
- 通信可能な Bluetooth 製品については、エプソンのホームページでご案内しています（http://www.i-love-epson.co.jp）。

Bluetooth ユニットの通信設定

印刷前に Bluetooth の通信設定を行います。

1 **本製品に Bluetooth ユニットを接続します。**

Bluetooth ユニット
（型番：PMDBU3）

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

3 **Bluetooth の設定項目を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで決定

4 **Bluetooth の設定をします。**

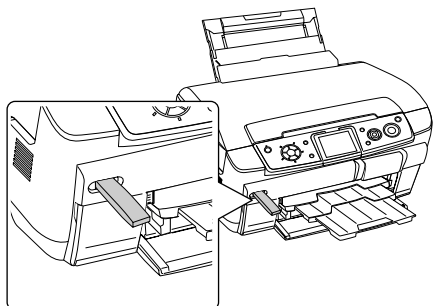
各項目の設定方法は、次ページの「Bluetooth の通信設定」をご覧ください。

Bluetooth の通信設定

設定項目	設定値 / 説明	設定方法
BT 本体番号設定	0 ～ 9	①【△】か【▽】ボタンで設定 ②【OK】ボタンで決定
	Bluetooth 通信が可能な距離に、複数台の Bluetooth 対応機器がある場合に、混信を防ぐため異なる番号を設定します。電源を一旦オフにすると設定が有効になります。	
BT 通信モード	パブリック	①【▽】か【△】ボタンで設定 ②【OK】ボタンで決定
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷ができます。	
	プライベート	
	Bluetooth 対応機器から検索できないようにします。印刷するためには、一度パブリックモードで、本製品を検索する必要があります。	
	ボンディング	
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷をする際には、パスキーが必要になります。	
BT 暗号化	しない / する	①【△】か【▽】ボタンで設定 ②【OK】ボタンで決定
	通信の内容を暗号化することができます。パスキーの入力が必要になります。	
BT/ 赤外線通信パスキー設定	任意の 4 桁の数字 （初期値：0000）	①【▽】か【△】ボタンで設定 ②【▷】か【◁】ボタンで桁移動 ③【OK】ボタンで決定
	セキュリティ確保のためにパスキーを設定します。パスキーを設定すると、デジタルカメラなどから印刷を実行する際に、パスキーの入力が必要になります。 Bluetooth 通信でパスキーを使用する場合は、［BT 通信モード］を［ボンディング］に設定するか、［BT 暗号化］を［する］に設定してください。	
BT デバイスアドレス表示	（例）11-11-11-11-11-11	
	本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。本製品と通信を行う機器で、本製品のデバイスアドレスを入力する必要がある場合に、ここで表示されたデバイスアドレスを入力しても通信できないことがあります。その場合は、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。 ☞ 本書 166 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」	

印刷方法

印刷前に Bluetooth の通信設定を行ってください。
☞ 本書 96 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

1　本製品に Bluetooth ユニットを接続します。

2　印刷用紙をセットします。

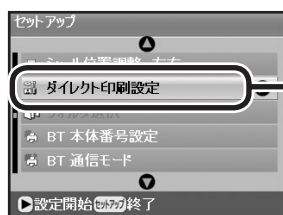
☞本書 13 ページ「印刷用紙、CD/DVD のセット方法」

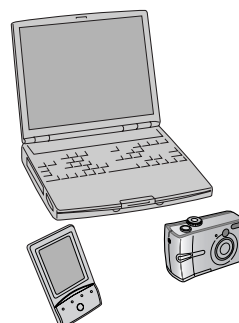
HCRP プロファイルの場合は手順 5 に進みます。

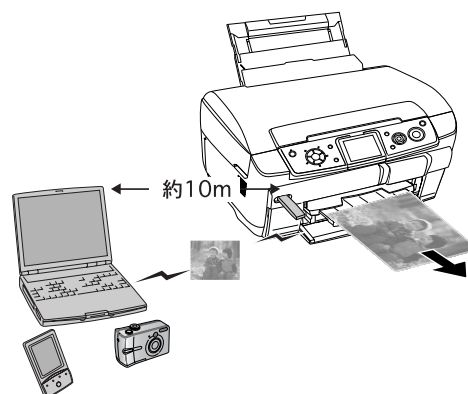
3　【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

メモリカードモードでは印刷できません。

4　［ダイレクト印刷設定］を選択し、必要に応じて印刷設定をします。

☞本書 94 ページ「携帯電話からの印刷方法」手順 3 4

5　お使いの Bluetooth 対応機器での設定をして、印刷を実行します。

設定の方法は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

6　本製品がデータを受信して、印刷が始まります。

データを受信すると、操作パネルに Bluetooth 通信中を示すメッセージが表示されます。

参考

操作パネルに Bluetooth 通信中を示すメッセージが表示されない場合は、Bluetooth ユニットの通信設定を確認してください。
☞本書 96 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

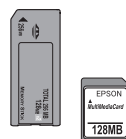
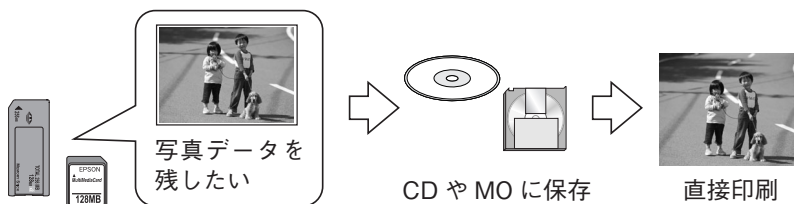
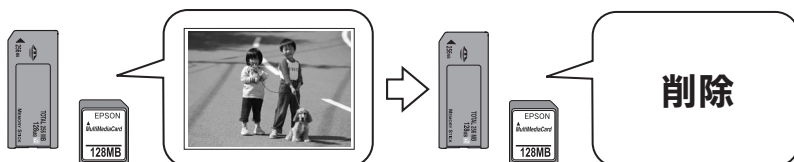
以上で、Bluetooth を使用した印刷の手順説明は終了です。

いろいろな使い方

写真やフィルム
をスキャンして
データ化

メモリカードに保存

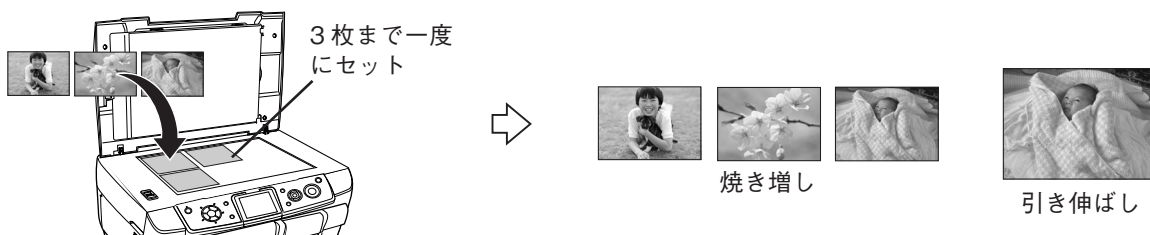
CD や MO に保存

直接印刷

ファンプリント機能（おもしろ写真プリント）

【ファンプリント】ボタンを押すと、ファンプリントモードになります。ファンプリントモードでは、エプソン独自の、便利でおもしろい写真プリントができます。

■写真コピー

写真の焼き増しや引き伸ばしが簡単にできます。そのうえ、L 判写真などは、3 枚まで一度にセットできます。

本書 40 ページ「写真の焼き増し＜写真コピー＞」

■手書き合成シート

メモリカードの写真に、手書きの文字やイラストを合成して印刷します。

本書 68 ページ「手書きの文字やイラストを合成して印刷」

■ P.I.F. 印刷

写真にフレームを重ね合わせて（合成して）印刷します。

写真　　フレーム

プリント写真（紙）を使う場合･････････ 本書 43 ページ「写真にフレームを付けて焼き増し＜ P.I.F. 印刷＞」

メモリカードの写真データを使う場合･･･ 本書 72 ページ「フレームを付けて印刷＜ P.I.F. 印刷＞」

年賀状 / ハガキ印刷

本製品では、いろいろな方法で、年賀状やご案内ハガキなどを作成することができます。

■写真を印刷する

フチなし
フチあり

- メモリカードの写真を使う
  ☞ 本書 54 ページ「用紙と余白を設定して印刷」
- プリント写真（紙）を使う（コピー）
  ☞ 本書 35 ページ「余白設定の変更＜標準 / フチなし / ギリギリ＞」
  ☞ 本書 40 ページ「写真の焼き増し＜写真コピー＞」
- 写真フィルムを使う
  ☞ 本書 85 ページ「用紙と余白を設定して印刷」

上半分

印刷後に
手書きする

- メモリカードの写真を使う
  ☞ 本書 54 ページ「用紙と余白を設定して印刷」
- プリント写真（紙）を使う（コピー）
  レイアウトを[フチなし]に設定してから、印刷設定で倍率を[L 判→ハガキ上半分]に設定します。
  ☞ 本書 35 ページ「余白設定の変更＜標準 / フチなし / ギリギリ＞」
  ☞ 本書 47 ページ「印刷設定」

複数の写真を
割り付け

- メモリカードの写真を使う
  ☞ 本書 55 ページ「複数の写真を割り付けて印刷」

■写真に文字やイラストを入れて印刷する

手書き文字

- メモリカードの写真に手書きの文字や絵を入れる
  ☞ 本書 68 ページ「手書き文字やイラストを合成して印刷」

■写真をフレームで飾って印刷する

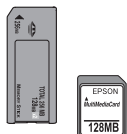
- メモリカードの写真を使う
  ☞ 本書 72 ページ「フレームを付けて印刷＜ P.I.F. 印刷＞」
- プリント写真（紙）を使う
  ☞ 本書 43 ページ「写真にフレームを付けて焼き増し＜P.I.F. 印刷＞」

参考

- ハガキのセット方法は、以下をご覧ください。ハガキの両面を印刷する場合は、給紙不良を防ぐため、先に宛名面から印刷することをお勧めします。
  ☞ 本書 19 ページ「ハガキのセット」
- パソコンとつないで、年賀状作成用のアプリケーションソフトなどを使用すると、文字やレイアウトなど、より多彩なデザインが可能になります。

スキャンしてメモリカードに保存

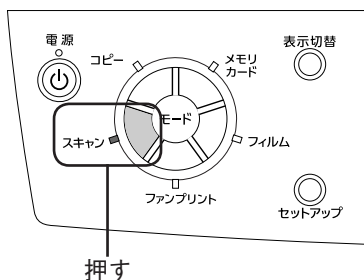
写真や雑誌原稿をスキャンしてメモリカードに保存

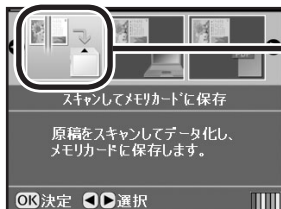
印刷物や写真などの反射原稿をスキャンして、画像データとしてメモリカードに保存します。

スキャンしてデータ化

1 **メモリカードをセットします。**

本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **原稿をセットします。**

本書 30 ページ「原稿のセット方法」

3 **【スキャン】ボタンを押して、スキャンモードにします。**

4 **［スキャンしてメモリカードに保存］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **スキャンの設定をします。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示
③【▽】か【△】ボタンで設定値選択
④【OK】ボタンで決定
⑤【OK】ボタンで設定終了

設定項目	設定値
スキャン範囲	自動キリトリ： 原稿サイズを自動認識し、原稿の部分だけをスキャンします。 最大範囲： スキャン領域すべて（原稿のない部分も含む）をスキャンします。
原稿種	グラフィック：写真やイラストなど テキスト：文章など
品質	ふつう： 原稿種が［グラフィック］の場合 300 × 300dpi（約 500KB）、［テキスト］の場合 200 × 200dpi（約 300KB）でスキャン。 きれい： 原稿種が［グラフィック］の場合 300 × 300dpi（約 3.0MB※）、［テキスト］の場合 300 × 300dpi（約 500KB）でスキャン。

※ JPEG 圧縮率を［最高画質］で保存。

6 **【スタート】ボタンを押して、スキャンを実行します。**

スキャン後、メモリカードに保存されます。

参考

保存されたデータを削除するには、以下をご覧ください。

本書 106 ページ「メモリカードのデータ削除」
本書 115 ページ「メモリカードドライブとしての使い方」

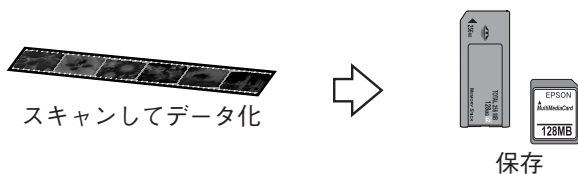
以上で、原稿をメモリカードに保存する手順説明は終了です。

フィルムをスキャンしてメモリカードに保存

写真フィルムをスキャンして、画像データとしてメモリカードに保存します。

スキャンしてデータ化

保存

1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

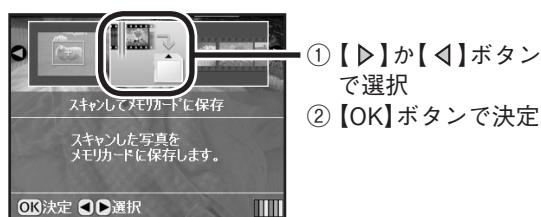
2 **フィルムをセットします。**

☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」

3 **【フィルム】ボタンを押して、フィルムモードにします。**

4 **写真プリントの基本手順に従い、フィルムをスキャンします。**

☞本書 82 ページ「写真プリントの基本手順」手順 1 〜 8

5 **[スキャンしてメモリカードに保存]を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

6 **保存する写真を選択します。**

複数の写真を選択する場合は、①②を繰り返し、最後に【OK】ボタンを押します。

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【△】か【▽】ボタンで写真選択(☑を付ける)

なお、【表示切替】ボタンを押すと、以下のような6面表示になります。

①【▷】か【◁】ボタンで枠を移動
②【△】か【▽】ボタンで写真選択(☑を付ける)

7 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、保存品質を設定します。**

①【▷】ボタンで設定値表示

②【▽】か【△】ボタンで選択
③【OK】ボタンで決定
④【OK】ボタンで設定終了

設定項目	設定値
品質	きれい： 1200 × 1200dpi(約 500KB)で保存。 フォト： 2400 × 2400dpi(約 4.5MB)で保存。

8 **【スタート】ボタンを押して、保存を実行します。**

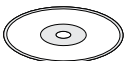
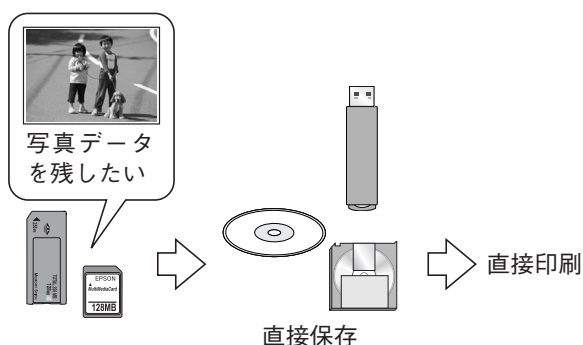
写真データがメモリカードに保存されます。

参考

保存されたデータを削除するには、以下をご覧ください。

☞ 本書 106 ページ「メモリカードのデータ削除」
☞ 本書 115 ページ「メモリカードドライブとしての使い方」

以上で、フィルムをスキャンしてメモリカードに保存する手順説明は終了です。

メモリカードのデータを保存（バックアップ）、そして印刷

デジタルカメラで撮影した写真データを残しておきたい、でもメモリカードがいっぱいになるから削除しないと…そんなときは、パソコンを介さずに、外部記憶装置（CDやUSBフラッシュメモリなど）に保存することができます。また、保存したデータを印刷することもできます。

外部記憶装置について

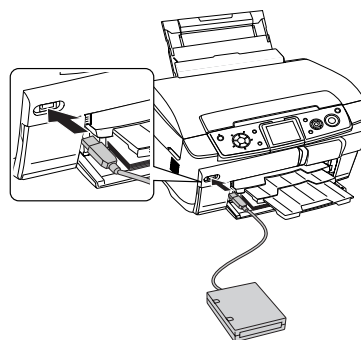
使用できる外部記憶装置、およびメディアは、以下の通りです。
ただし、すべての動作を保証するものではありません。動作確認済みの記憶装置については、エプソンのカタログ、またはホームページをご覧ください（http://www.i-love-epson.co.jp）。

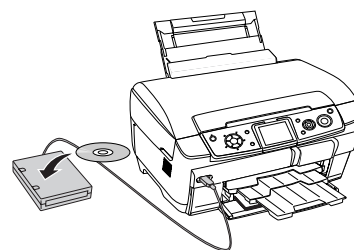
外部記憶装置	メディア
CD-R ドライブ DVD-R ドライブ	CD-R 650/700MB DVD-R 4.7GB ※ CD-RW、DVD+R、DVD ± RW、DVD-RAM には対応していません。
MO ドライブ	MO 128/230/640MB、1.3GB ※ DOS/Windows フォーマット済みのもの。
USB フラッシュメモリ	

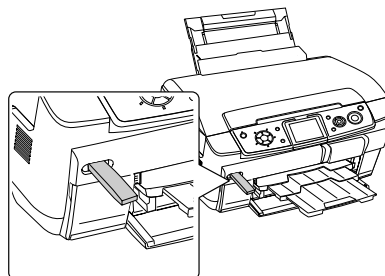
外部記憶装置の接続方法

CD/DVD/MO ドライブの場合

1. 本製品と外部記憶装置の電源をオフにします。

2. 外部機器接続コネクタに、外部記憶装置のUSB ケーブルを差し込みます。

3. 本製品と外部記憶装置の電源をオンにします。

4. 外部記憶装置にメディア（CD-R/DVD-R/MO）をセットします。

USB フラッシュメモリの場合

本製品の電源をオンにして外部機器接続コネクタに、USB フラッシュメモリを差し込みます。

保存（バックアップ）方法

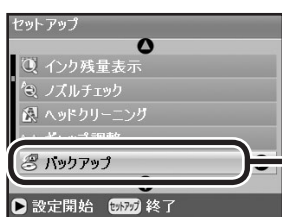
1　外部記憶装置を接続します。

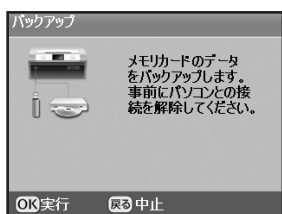
☞ 本書 104 ページ「外部記憶装置の接続方法」

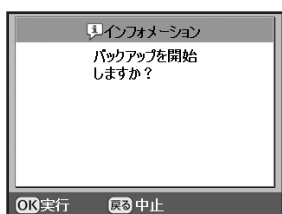
2　保存するデータの入ったメモリカードをセットします。

☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

3　【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

4　［バックアップ］を選択します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで決定

5　画面を確認し、【OK】ボタンを押します。

【OK】ボタンを押す

6　【OK】ボタンを押して、バックアップを実行します。

【OK】ボタンで実行

7　バックアップ完了のメッセージが表示されたら、【OK】ボタンを押して終了します。

本製品では、外部記憶装置にバックアップしたデータは、削除できません。削除する場合は、お手持ちのパソコンなどで操作してください（CD-R/DVD-R のデータはパソコンからも削除することはできません）。

以上で、メモリカードのデータを保存（バックアップ）する手順説明は終了です。

バックアップしたデータの印刷方法

1　外部記憶装置を接続し、バックアップしたデータの入ったメディアをセットします。

☞ 本書 104 ページ「外部記憶装置の接続方法」

参考

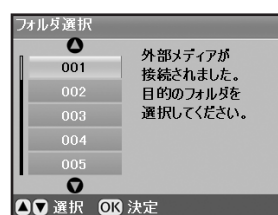
- 本製品以外でバックアップしたデータは正常に印刷できない場合があります。
- メモリカードがセットされている場合は取り外してください。メモリカードがセットされていると、外部記憶装置が認識されません。
- ファイル容量が 3MB を超える画像※を印刷すると、印刷開始までに数十分程度の時間がかかる場合があります。3MB を超える画像を印刷する場合は、外部記憶装置から直接印刷せずに、パソコンから印刷、またはメモリカードから印刷することをお勧めします。

☞本書 49 ページ「メモリカードから写真プリント」

※ 6M ピクセル（600 万画素）以上のデジタルカメラで撮影した画像や TIFF 画像などは、おおむね 3MB 以上になります。

2　印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

3　以下の画面が表示された場合は、印刷する写真の含まれるフォルダを選択します。

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

4　この後は、メモリカードからの印刷と同様の手順で印刷します。

☞ 本書 52 ページ「写真プリントの基本手順」

以上で、バックアップしたデータを印刷する手順説明は終了です。

メモリカードのデータ削除

すべてのファイルを削除

メモリカード内のデータを、パソコンを介さずに、すべて削除することができます。

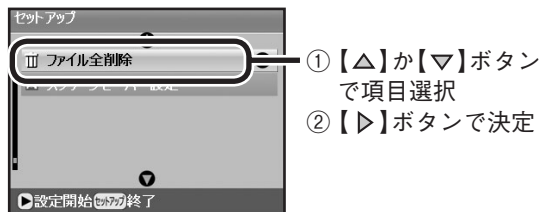
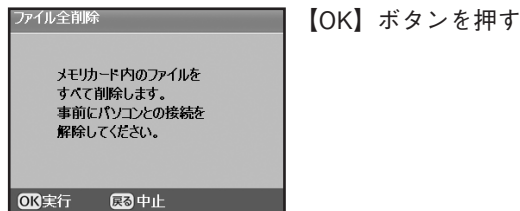
参考

データを個別に削除することはできません。その場合は、パソコンとつないで行ってください。
☞本書 115 ページ「メモリカードドライブとしての使い方」

1 データを削除するメモリカードをセットします。

☞ 本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

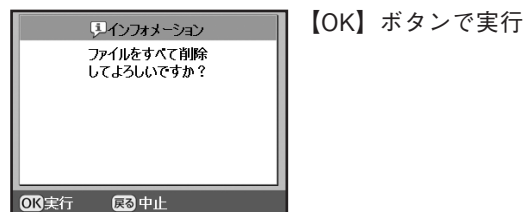
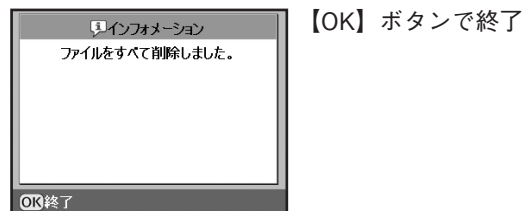
2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 ［ファイル全削除］を選択します。

4 画面を確認し、【OK】ボタンを押します。

【OK】ボタンを押す

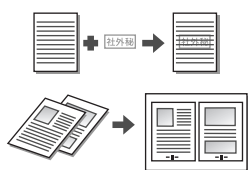
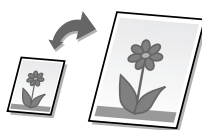
5 【OK】ボタンを押して、ファイル全削除を実行します。

【OK】ボタンで実行

6 【OK】ボタンを押して、終了します。

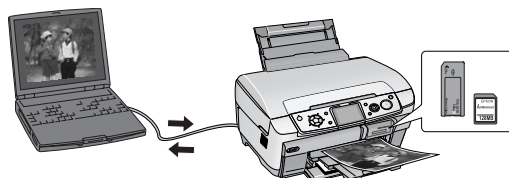
【OK】ボタンで終了

以上で、メモリカードのデータを削除する手順説明は終了です。

パソコンと接続すると…

本製品をパソコンと接続すると、高性能プリンタ / スキャナとして、パソコンのメモリカードドライブとして、より活用の幅が広がります。

文書の印刷
☞108 ページ

写真プリント
☞110 ページ

CD レーベルの作成と印刷
☞111 ページ
※同様の方法で名刺も作成できます。

EPSON Scan を使ってスキャン

入門：全自動モード
標準：ホームモード
上級：プロフェッショナルモード

ファイルの
コピー / 保存
が自由自在

エプソンのホームページなどに接続し、最新ソフトウェアのダウンロードや、最新情報を入手することもできます。

参考

パソコンと接続して使用するときは、プリンタドライバやスキャナドライバ（EPSON Scan）を、パソコンにインストールしておく必要があります。そのほかにも、活用の幅を広げる専用アプリケーションソフトがたくさん用意されています（『ソフトウェア CD-ROM』に収録されています）ので、すべてインストールすることをお勧めします。
インストールされていない場合は、本書 157 ページ「ドライバの再インストール」をご覧ください。また、使い方については『PM-A950 活用ガイド』（電子マニュアル）や各アプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

パソコンから印刷する方法

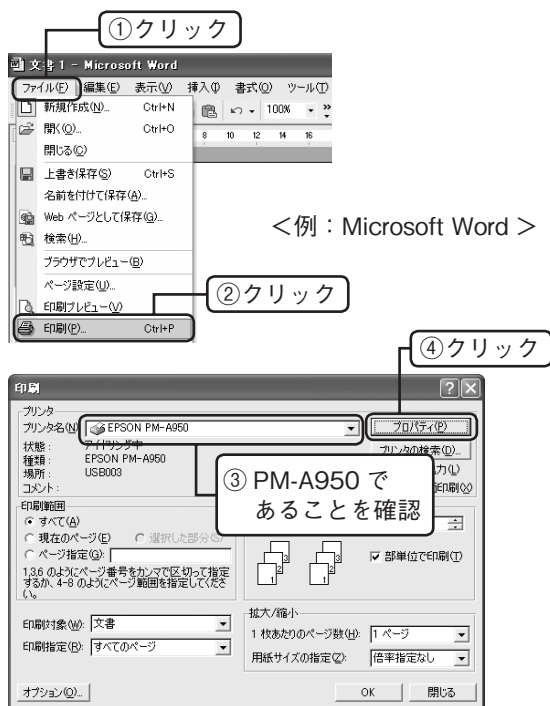
文書の印刷

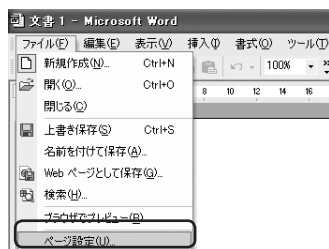
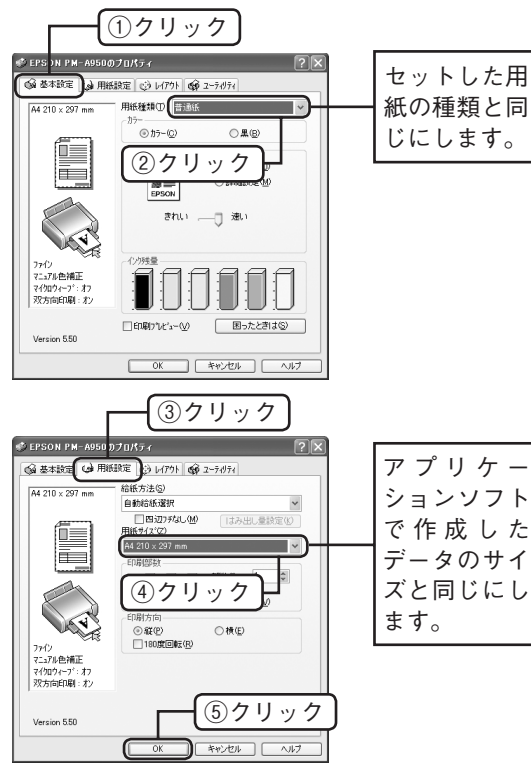
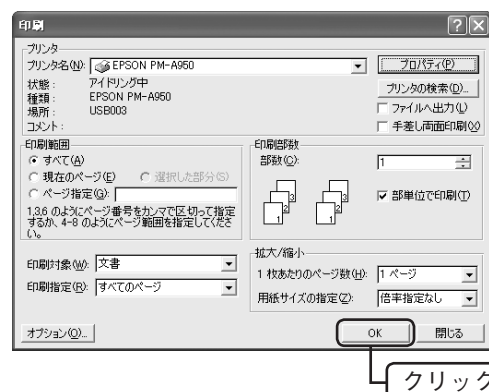
Windows の場合

1 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 **お使いのアプリケーションソフトからプリンタドライバを開きます。**

☞『PM-A950 活用ガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの画面を表示するには」

参考

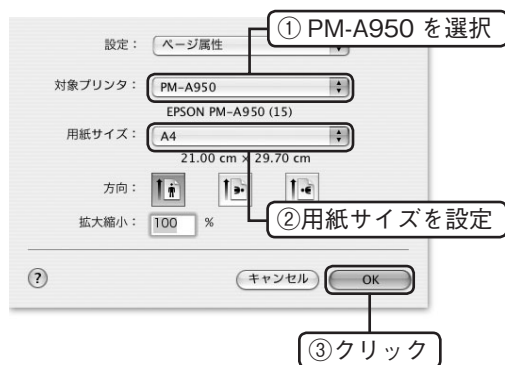
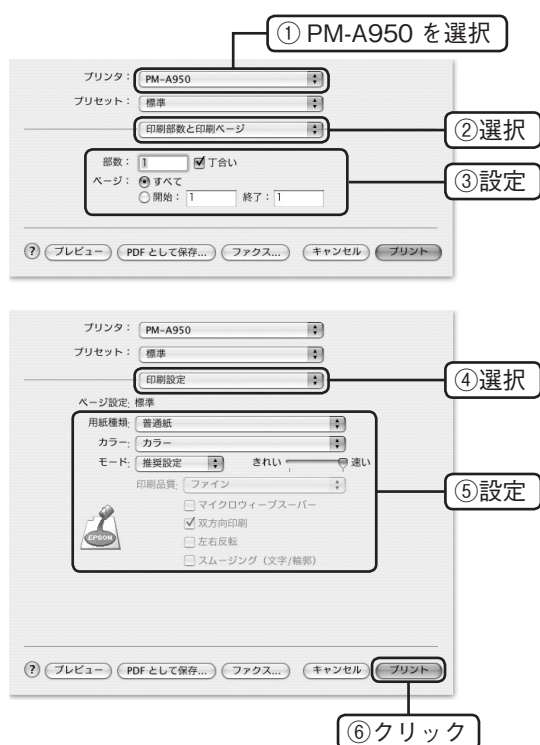
アプリケーションソフトで作成したデータの用紙のサイズは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［ページ設定］などの項目で確認できます。

3 **プリンタドライバで印刷の設定をします。**

4 **印刷を実行します。**

以上で、Windows での印刷の手順説明は終了です。

Mac OS X の場合

1 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 **お使いのアプリケーションソフトで印刷するデータを表示してから、プリンタドライバの［ページ設定］を設定します。**

☞『PM-A950 活用ガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの画面を表示するには」

3 **［プリント］画面で印刷設定をして、印刷を実行します。**

以上で、Mac OS X での印刷の手順説明は終了です。

写真プリント

写真の印刷は、付属のアプリケーションソフト『EPSON Easy Photo Print』（エプソン イージー フォト プリント）におまかせ。フチなし印刷はもちろん、複数写真の割り付けや、写真フレームの合成など、簡単な操作でさまざまな印刷ができます。

1 **印刷用紙をセットします。**

本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」

2 **パソコンで、『EPSON File Manager』（エプソン ファイル マネージャー）を起動します。**

デスクトップ上の［EPSON File Manager］アイコンをダブルクリックしてください。

参考

デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は以下をご覧ください。

- Windows の場合
  ［スタート］－［すべてのプログラム（またはプログラム）］－［EPSON Creativity Suite］－［File Manager］－［EPSON File Manager］の順にクリックします。
- Mac OS X の場合
  ［ハードディスク］アイコン－［アプリケーション］フォルダー［EPSON］フォルダー［Creativity Suite］フォルダー［File Manager］フォルダー［EPSON File Manager］アイコンの順にダブルクリックします。

3 **印刷する写真を選択します。**

4 **『EPSON Easy Photo Print』を起動します。**

［かんたん写真プリント］をクリックしてください。

5 **用紙設定やレイアウト調整をし、印刷を実行します。**

［印刷］をクリックすると、印刷が始まります。

参考

ソフトウェアの詳しい使い方は、『活用ガイド』（電子マニュアル）、およびアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

以上で、写真プリントの手順説明は終了です。

CD/DVD レーベルの作成と印刷

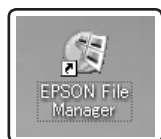
CD/DVD レーベルの作成と印刷は、付属のアプリケーションソフト『EPSON Multi-PrintQuicker（エプソン マルチ プリントクイッカー）』におまかせ。背景やイラストのテンプレート、文字のバリエーションが豊富なので、オリジナルのレーベルが簡単に作成できます。もちろん、写真を取り込んで印刷することもできます。

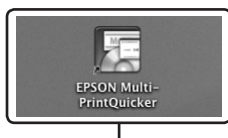
1 CD/DVD をセットします。

☞ 本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」

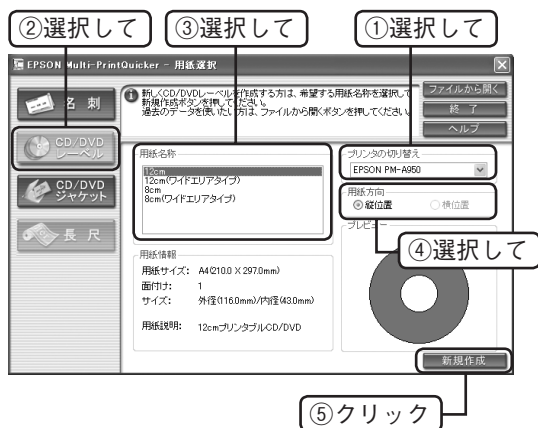
2 パソコンで、『EPSON Multi-PrintQuicker（エプソン マルチ プリントクイッカー）』を起動します。

デスクトップ上の［EPSON Multi-PrintQuicker］アイコンをダブルクリックしてください。

Windows の場合

ダブルクリック

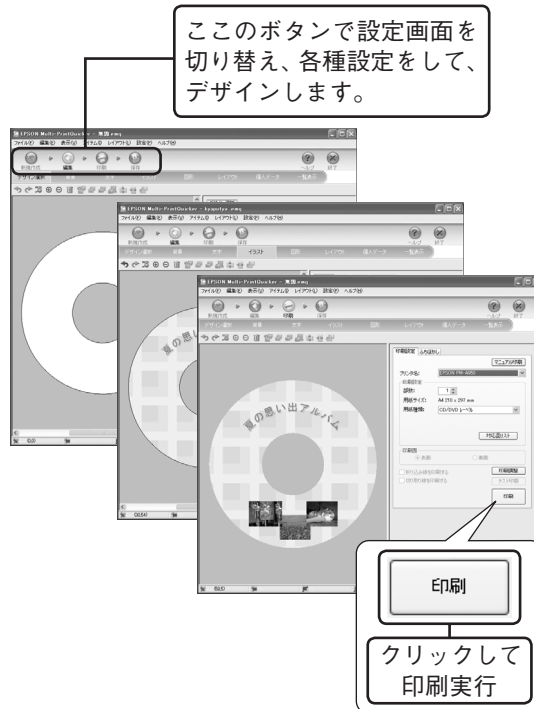
Mac OS X の場合

ダブルクリック

3 プリンタと用紙名称の選択をします。

参考

デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は以下をご覧ください。

- Windows の場合
  ［スタート］－［すべてのプログラム（またはプログラム）］－［EPSON Multi-PrintQuicker］－［EPSON Multi-PrintQuicker］の順にクリックします。
- Mac OS X の場合
  ［ハードディスク］アイコン－［アプリケーション］フォルダー［EPSON Multi-PrintQuicker］フォルダー［EPSON Multi-PrintQuicker］アイコンの順にダブルクリックします。

4 各種設定をしてレーベルを作成し、印刷を実行します。

［印刷］ボタンをクリックすると、印刷が始まります。

5 印刷終了後、印刷動作が止まったら、CD/DVD トレイを取り出します。

☞ 本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

参考

- 『EPSON Multi-PrintQuicker』では、レーベル印刷のほか、CD/DVD ジャケット印刷や名刺 / カード印刷もできます。
- ソフトウェアの詳しい使い方は、『活用ガイド』（電子マニュアル）、およびアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

以上で、CD/DVD レーベルの作成と印刷の手順説明は終了です。

パソコンからスキャンする方法

全自動モードで簡単スキャン

1 原稿をセットします。

☞ 本書 30 ページ「原稿のセット方法」

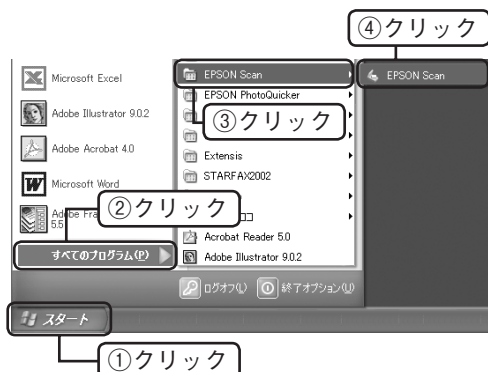
2 EPSON Scan(エプソン スキャン)を起動します。

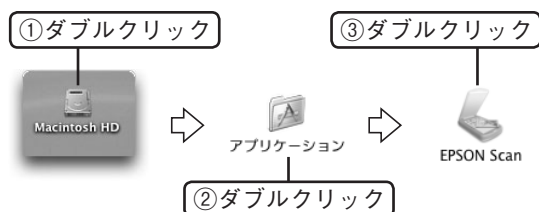
Windows の場合

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックします。

参考

［EPSON Scan］アイコンがない場合は、①［スタート］－②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－③［EPSON Scan］－④［EPSON Scan］の順にクリックします。

④クリック
③クリック
②クリック
①クリック

Mac OS X の場合

①ハードディスク内の②［アプリケーション］フォルダー③［EPSON Scan］の順にダブルクリックします。

3 以下の画面が表示されますので、［スキャン］をクリックします。

4 必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して［OK］をクリックします。

［OK］をクリックすると、スキャンが始まり、指定した場所にファイルとして保存されます。

［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしておくと、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

以上で、スキャンの手順説明は終了です。

スキャンモードの切り替え方法

簡単スキャン（全自動モード）で思い通りにスキャンできない場合は、EPSON Scan のホームモードやプロフェッショナルモードに切り替えて、詳細設定をしてお試しください。

1 **EPSON Scan が起動して下の画面が表示されたら、画面右上の［モード］で［ホームモード］または［プロフェッショナルモード］を選択します。**

設定の詳細は、『PM-A950 活用ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

参考

次回起動時には、ここで設定したモードで起動します。

ホームモード

プロフェッショナルモード

スキャンしたデータをすぐに活用する

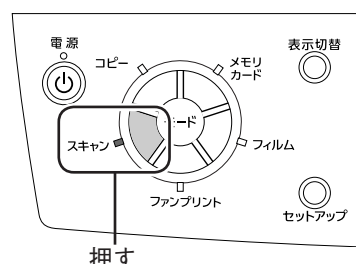
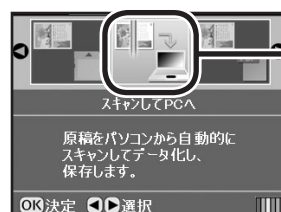
操作パネルのスキャンモードを使用すると、パソコン上の EPSON Scan が自動的に起動し、原稿をスキャンしてデータ化します。スキャンデータは、電子メールに添付したり、写真プリントしたりと、一連の操作で活用することができます。

参考

- 事前に付属のアプリケーションソフトをすべてインストールしておく必要があります。
- Windows 98（Windows 98 Second Edition は除く）では使用できません。

1 **原稿をセットします。**

☞ 本書 30 ページ「原稿のセット方法」

2 **【スキャン】ボタンを押してスキャンモードにします。**

3 **メニューを選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

■［スキャンして PC へ］

スキャン後に EPSON File Manager（エプソン ファイル マネージャ）が起動し、スキャンデータの活用用途に応じてアプリケーションソフトを起動することができます。

■［スキャンして PDF へ］

スキャンデータを PDF ファイルで保存します。

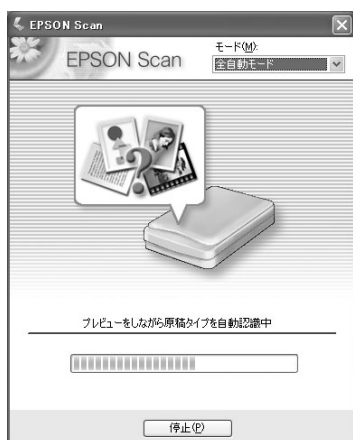
■［スキャンして E メールへ］

スキャン後に電子メールソフトが起動し、スキャンデータ（画像ファイル）を電子メールに添付します。

■［スキャンして Web へ］

スキャンデータを EPSON PHOTO GARDEN（エプソン フォト ガーデン）へアップロードします。

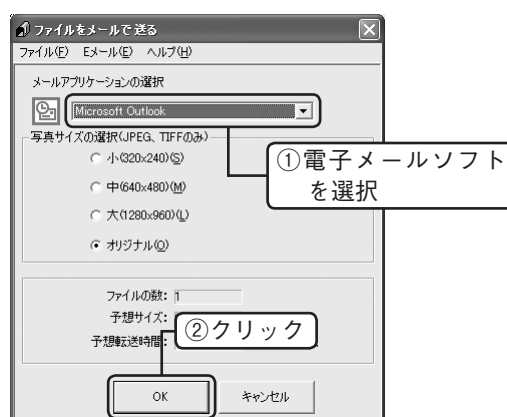
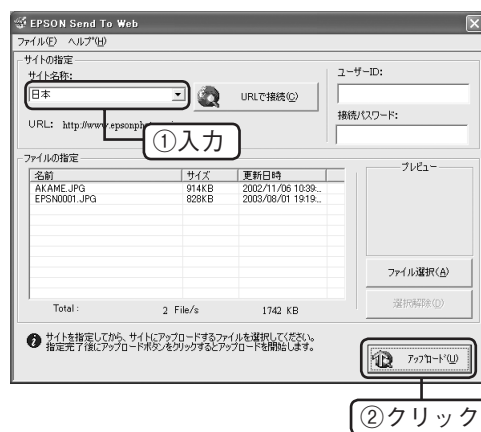
次ページへ続く

4 パソコン上に EPSON Scan が起動し、自動的に原稿がスキャンされます。

5 選択したメニューに応じて、以下の画面が表示されます。

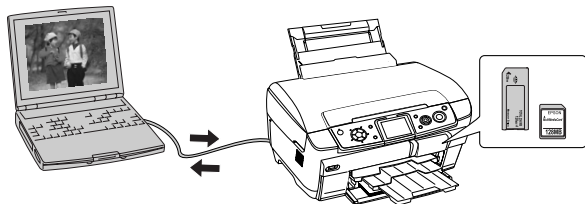
☞『PM-A950 活用ガイド』（電子マニュアル）－「付録とマメ知識」

■［スキャンして PC へ］

■［スキャンして PDF へ］

■［スキャンして E メールへ］

■［スキャンして Web へ］

以上で、スキャンしたデータをすぐに活用する手順説明は終了です。

メモリカードドライブとしての使い方

本製品のメモリカードスロットは、フロッピーディスクドライブと同じように、メモリカードドライブとして、ファイル（画像データなど）を取り込んだり(コピーしたり)、書き込んだり（保存したり）することができます。

1 電源をオンにして、メモリカードをセットします。

本書 50 ページ「メモリカードのセット方法」

2 パソコンのメモリカードドライブを開きます。

- **Windows XP の場合**

  ［スタート］－［マイコンピュータ］の順にクリックし、［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックします。

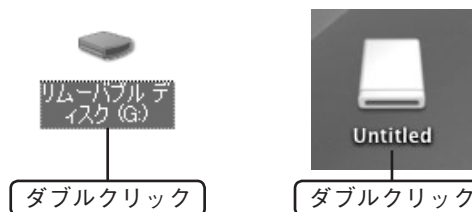
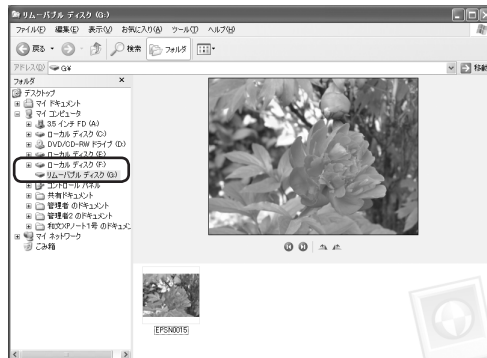
- **Windows 98/Me/2000 の場合**

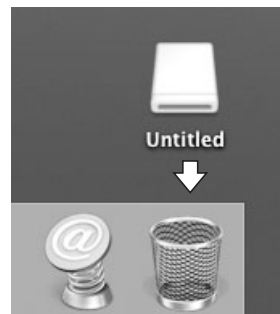
  デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックします。

- **Mac OS X の場合**

  デスクトップ上のメモリカードドライブのアイコンをダブルクリックします。

参考

ドライブ名（アイコン名）は、ボリュームラベルが設定されている場合は、そのボリュームラベルが表示されます。

3 データをコピーしたり、保存したりします。

4 メモリカードドライブを閉じます。

5 Mac OS X の場合は、メモリカードドライブのアイコンを、ゴミ箱に捨てます。（ドラッグアンドドロップします。）

6 メモリカードスロットのランプが点滅していないことを確認し、メモリカードを取り出します。

以上で、メモリカードドライブとして使う手順説明は終了です。

ソフトウェアの使い方 / 活用方法は、活用ガイドをご覧ください

活用ガイドとは

活用ガイドとは、パソコンの画面でご覧いただくマニュアルです。
ソフトウェアのインストールの際、同時にパソコンにインストールされます。
（CD-ROM を毎回セットする必要はありません。）

活用ガイドは、Microsoft Internet Explorer（Version 5.0 以上）などのブラウザでご覧いただけます。また、PDF データをダウンロードしてご覧いただくこともできます。ダウンロードサービスについては、以下のホームページをご覧ください。
＜ http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/ ＞

活用ガイドの表示方法

デスクトップ上の［EPSON PM-A950 活用ガイド］のアイコンをダブルクリックして表示します。

ダブルクリック

参考

- 【Windows の場合】
  ①［スタート］－②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－③［EPSON］－④［EPSON PM-A950 活用ガイド］の順にクリックします。
- 【Mac OS X の場合】
  ①［ハードディスク］－②［アプリケーション］－③［EPSON_TPMANUAL］－④［PM-A950］－⑤［活用ガイド］の順にダブルクリックします。

活用ガイドには楽しいグッズを作るアイディアがいっぱい !!

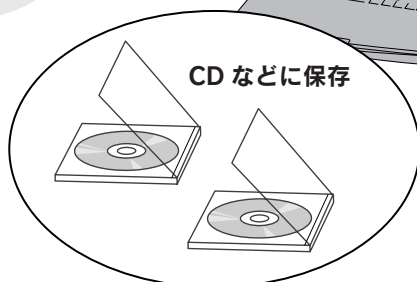
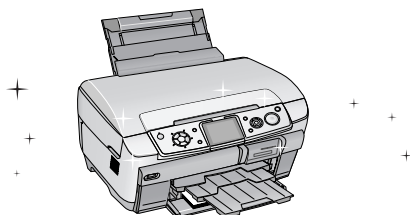
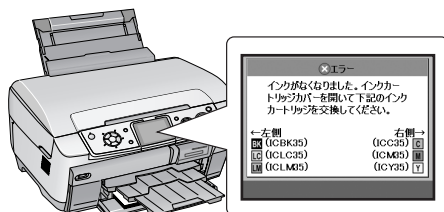
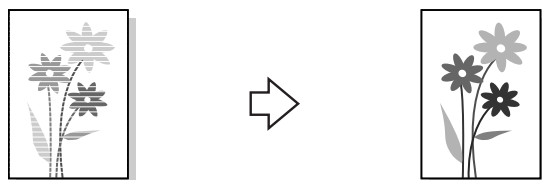
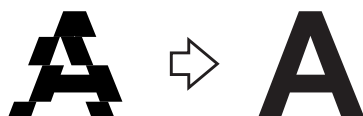
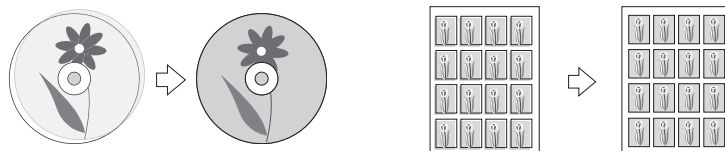
活用ガイドでは、シーンに合わせて PM-A950 を楽しく、便利に活用する方法をご紹介しています。

プリンタ編

スキャナ編

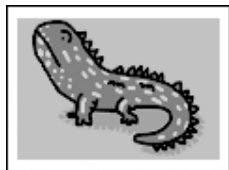
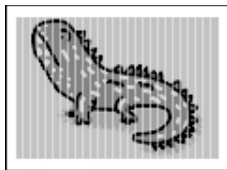
メンテナンスについて

メンテナンス

エラー
インクがなくなりました。インクカートリッジカバーを開いて下記のインクカートリッジを交換してください。
←左側
右側→
(ICBK35)
(ICLC35)
(ICLM35)
(ICC35)
(ICM35)
(ICY35)

上手に長くお使いいただくコツ

プリントヘッド（ノズル）の目詰まりを防ぐ

プリントヘッド（用紙にインクを吹き付ける部分）が目詰まりすると、印刷結果にスジが入ってシマシマになったり、おかしな色味で印刷されたりします。

正常時

目詰まり時

プリントヘッドの乾燥を防ぐ

■ 万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。

これを防ぐには

- 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。
- 電源のオン / オフは、必ず操作パネル上の【電源】ボタンで行ってください。

■ 万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。

これを防ぐには

定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。

■ インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドが乾燥してしまいます。

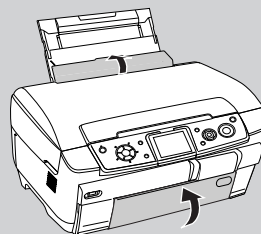
これを防ぐには

インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

ホコリが付かないようにする

■ プリントヘッドのノズル（インクを出す穴）はとても小さいため、ホコリが付いただけでも目詰まりする場合があります。

これを防ぐには

- 使用しない時は、内部にホコリが入らないように、給紙口カバーや排紙トレイを閉じてください。
- 長期間使用しない時は、布やシートなど（静電気が起きにくいもの）をかけておくことをお勧めします。

■ 内部の汚れをティッシュペーパーなどでふくと、ティッシュペーパーの繊維くずがプリントヘッドに付いて目詰まりする場合があります。

これを防ぐには

内部の汚れはふき取らずに、以下のコピー操作によりクリーニングしてください。

① 用紙をセットします。
② 原稿台のガラス面と保護マットに汚れがないかを確認します。
③ 原稿台に原稿をセットせずに、コピーを実行します。
本書 32 ページ「基本的なコピー」
※ 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、①～③の手順を繰り返してください。

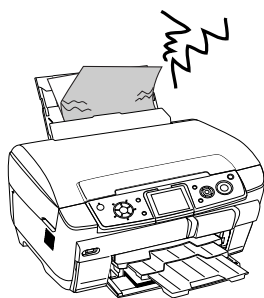
印刷を実行する前に

■ プリントヘッドの目詰まりを防いでいても、環境などによっては目詰まりして、きれいに印刷されない場合もあります。

これを防ぐには

印刷品質を重視する写真の印刷や、大量に印刷する場合は、印刷を実行する前に、ノズルチェック（目詰まりの確認）を行うことをお勧めします。
本書 126 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

紙詰まりを防ぐ

頻繁に紙詰まりが発生すると、故障の原因となります。

これを防ぐには

- 指定外の用紙は使用しないでください。
  ☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙」
- 用紙によって取り扱い方やセットできる枚数が異なります。用紙ごとにセット方法をご確認ください。
  ☞ 本書 13 ページ「印刷用紙、CD/DVD のセット方法」

きれいにスキャンするために

原稿台や原稿に汚れやホコリが付かないようにする

原稿台や原稿自体が汚れていたり、ホコリが付いていたりすると、汚れやホコリまでスキャンしてしまいます。

これを防ぐには

- 原稿をセットする前に、原稿台に汚れやホコリが付いていないかを確認してください。
- 原稿台（ガラス面）を、ティッシュペーパーなどの繊維くずが出るものでふかないでください。メガネふきなどの繊維くずが出ない布で汚れをふき取ることをお勧めします。
- 原稿や写真フィルムのホコリを取ろうして、息を吹きかけないでください。つばが飛んで原稿や写真フィルムが汚れる場合があります。
- 印刷した用紙を原稿としてセットする場合は、インクが原稿台に付かないように、よく乾燥させてからセットしてください。
- 使用しないときは、原稿台にホコリが付かないように、原稿カバーを閉じておいてください。

印刷後は・・・

印刷後は、変色を防ぐために以下の内容を参考にして正しい展示・保存を行ってください。正しい展示・保存を行うことによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

参考

- 一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。
- 各専用紙の取り扱い方法は、専用紙のパッケージに添付されている取扱説明書をご覧ください。

十分に乾燥させる

乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。

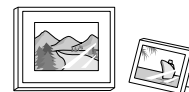
これを防ぐには

- 印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。すべての印刷物を広げて乾燥させるスペースがない場合は、重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまず、それぞれを 15 分程度乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを 1 枚ずつ印刷面に挟んで乾燥させてください。
- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は速やかに保存・展示を行ってください。

- **クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存**
  光や空気を遮断することで変色の度合いを極めて低く抑える、一番良い保存方法です。

- **ガラス付き額縁に入れて展示**
  空気を遮断する展示方法で、変色の度合いを抑えることができます。

参考

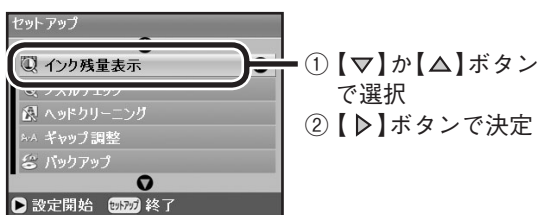
- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。
- クリアファイルは、用紙よりも大きいサイズのものをご使用ください。
- ミニフォトシールは、印刷面にシートが密着するタイプのアルバムなどに入れないでください。印刷結果がにじむ場合があります。間紙を挟んでクリアファイルに入れてください。

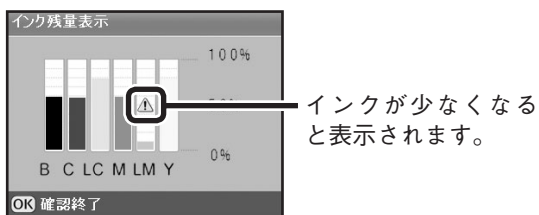
インクカートリッジの交換

インク残量の確認

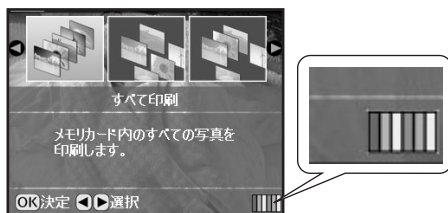
1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **［インク残量表示］を選択します。**

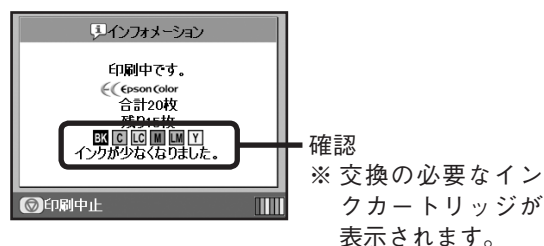
① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【▷】ボタンで決定

3 **インク残量を確認します。**

【OK】ボタンでメニューに戻ります。

インクが少なくなると表示されます。

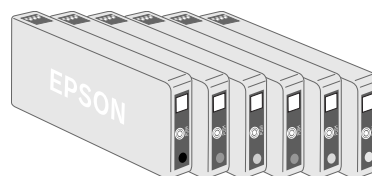
参考

- インク残量は、初回のインク充てん後、インクカートリッジ交換後の状態を 100% とし、1%刻みで切り上げ表示されます。
- インク残量は、各画面の右下のアイコンでも 3 段階のバーで簡易表示しています。

新しいインクカートリッジの用意

インク残量表示が 10% 以下になったり、「インクが少なくなりました」とメッセージが表示されると、まもなくインクがなくなります。

確認
※ 交換の必要なインクカートリッジが表示されます。

しばらくは印刷できますが、インクが 1 色でも完全になくなると、インクカートリッジを交換するまで印刷ができなくなります。
お早めに新しいインクカートリッジをご用意ください。

エプソンのインクカートリッジ純正品型番

【BK】	ブラック	：ICBK35
【C】	シアン	：ICC35
【LC】	ライトシアン	：ICLC35
【M】	マゼンタ	：ICM35
【LM】	ライトマゼンタ	：ICLM35
【Y】	イエロー	：ICY35

参考

本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。また、インク残量を検出できない場合もあります。

インクカートリッジ交換時のご注意

⚠注意

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

使用上のご注意

- インクカートリッジは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジは取り付ける直前に開封してください。開封したまま長時間放置すると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板に触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などのカートリッジ固有情報を管理しているため、使用途中に取り外しても、再装着して使用できます。ただし、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部分を下にするか横にして保管してください。（インク供給孔部を上にして保管しないでください。）なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部に付いたインクで周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温で放置してからご使用ください。
- インクカートリッジのラベル類は、絶対にはがさないでください。ラベルをはがすとインクが漏れるおそれがあります。

保管上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジは子供の手の届かないところに保管してください。

交換時のご注意

- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。また、インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶していますが、インクを補充しても IC チップ内の残量値は書き換わらないため、使用できるインク残量は変わりません。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外した状態で、本製品を放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 交換中は電源をオフにしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充てん中は、電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用済みのインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、弊社指定の最寄の回収ポストまでお持ちいただくか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

使用済みインクカートリッジについて

使用済みインクカートリッジの回収にご協力ください。
☞ 本書裏表紙「インクカートリッジの回収について」

インク消費について

印刷時以外にも以下の場合にインクが消費されます。

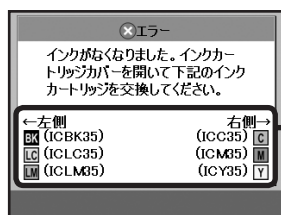
- 印刷前に行われるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時

※ 初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充てんによりインクが消費されます。

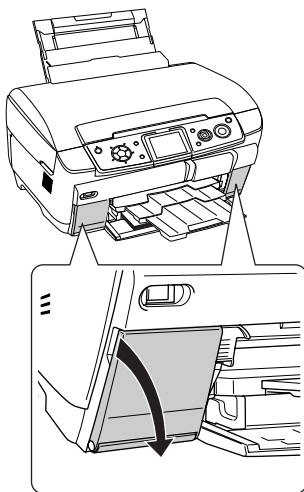
インクカートリッジの交換方法

6 つのインクカートリッジのうち、どれかひとつでもインクがなくなると印刷やコピーができなくなります。
「インクがなくなりました」とメッセージが表示されたら、なくなった色のインクカートリッジを交換してください。メッセージが表示される前に交換したい場合は、手順2から作業を行ってください。

1 交換が必要なインクカートリッジを確認します。

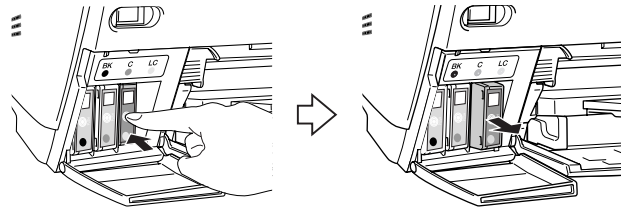
☞本書 122 ページ「エプソンのインクカートリッジ純正品型番」

確認
※ 交換の必要なインクカートリッジが表示されます。

2 新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

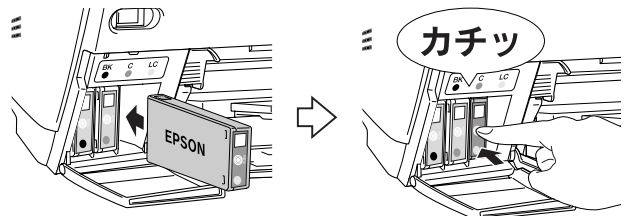
3 インクカートリッジカバーを開きます。

左側		
BK	C	LC
ブラック	シアン	ライトシアン

右側		
M	LM	Y
マゼンタ	ライトマゼンタ	イエロー

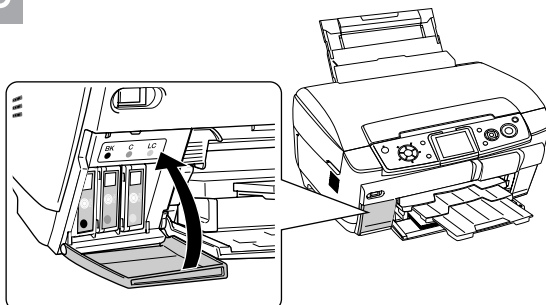
4 交換するインクカートリッジを取り出します。

ここでは、ライトシアンのインクカートリッジを交換する手順を例にして説明します。

① 静かに押し込みロックを解除します。
② 取り出します。

5 新しいインクカートリッジをセットします。

複数のカートリッジを同時に交換する場合は、セット位置を間違えないように、本体のラベルを確認して挿入してください。

カチッとロックされるまで、［PUSH］部分を静かに押します。

> **! 注意**
> - 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、弊社指定の最寄りの回収ポストまでお持ちいただくか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
> - 一旦セットしたインクカートリッジを繰り返し抜き差ししないでください。インクカートリッジや本体内部にインクが付着するおそれがあります。

6 インクカートリッジカバーを閉じます。

!注 意

インクカートリッジカバーは、インクカートリッジ交換時以外は開閉しないでください。印刷中やヘッドクリーニングなどの動作中にカバーを開けると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。

参考

インクカートリッジの回収にご協力ください。詳しくは以下をご覧ください。
☞本書裏表紙「インクカートリッジの回収について」

以上で、インクカートリッジ交換の手順説明は終了です。

ノズルチェックと ヘッドクリーニング

ノズルチェック

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷される場合は、ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

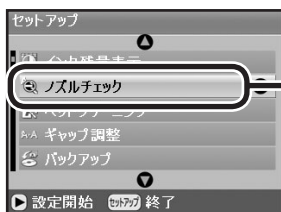
☞ 本書巻末「プリントヘッドの目詰まり」サンプル

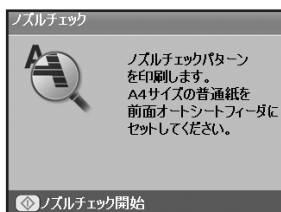
①ノズルチェックパターンの印刷

1 **A4 サイズの普通紙をセットします。**

☞ 本書 16 ページ「前面オートシートフィーダへの A4 普通紙のセット」

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

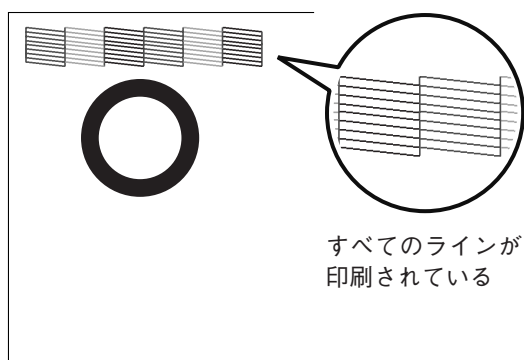
3 **［ノズルチェック］を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【▷】ボタンで決定

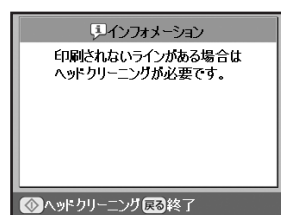
4 **ノズルチェックパターンを印刷します。**

【スタート】ボタンで開始

②ノズルチェック（目詰まりの確認）

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

すべてのラインが印刷されている場合

正常な印刷例

ノズルは目詰まりしていません。

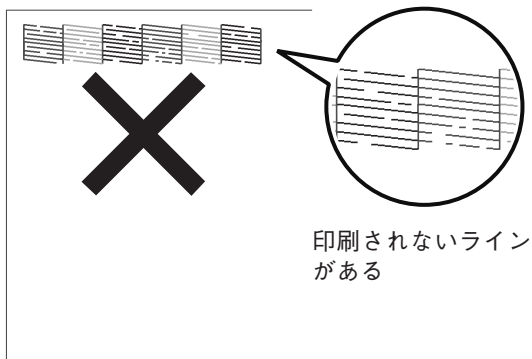
ノズルチェックを終了します。

【戻る】ボタンで終了

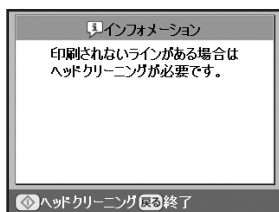
参考

きれいに印刷できない（印刷品質が低下した）原因がほかに考えられますので、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 141 ページ「印刷品質 / 結果のトラブル」

印刷されないラインがある場合

ノズルが目詰まりしているときの印刷例

ノズルは目詰まりしています。

【スタート】ボタンを押してヘッドクリーニングを実行し、次のヘッドクリーニングの手順4に進んでください。

【スタート】ボタンで
ヘッドクリーニング
実行

参考

- ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。
- 長期間使用していない場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、目詰まりが改善されない場合があります。
  ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に5回程度繰り返しても改善されない場合は、本製品の電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
  それでも目詰まりが改善できない場合は、エプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
  ☞ 本書 166 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

以上で、ノズルチェックの手順説明は終了です。

ヘッドクリーニング

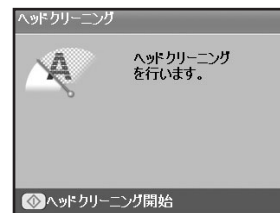
参考

ヘッドクリーニングは、インクを吐出して、プリントヘッドのノズルをクリーニングします。必要以上に行わないでください。

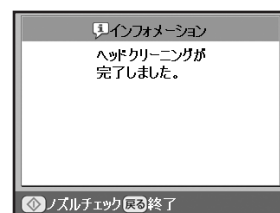
1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ヘッドクリーニング］を選択します。

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【▷】ボタンで決定

3 ヘッドクリーニングを実行します。

【スタート】ボタンで開始

4 ノズルの目詰まりを再確認します。

【スタート】ボタンを押してノズルチェックパターンを印刷し、前ページの「②ノズルチェック（目詰まりの確認）」を行ってください。

【スタート】ボタンでノズルチェックパターン印刷

以上で、ヘッドクリーニングの手順説明は終了です。

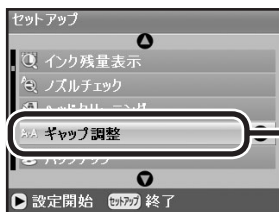
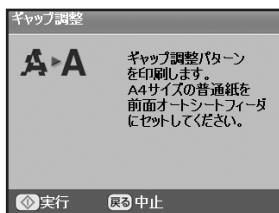
プリントヘッドのギャップ調整

縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップがずれている可能性があります。下記の手順でギャップ調整してください。

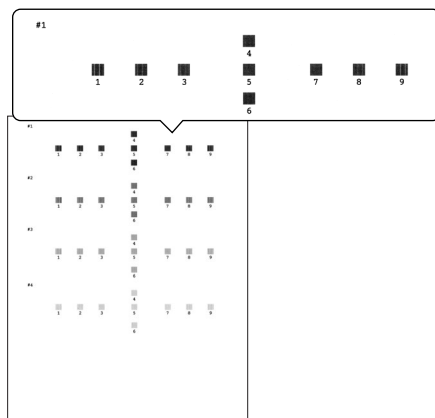
1 A4 サイズの普通紙をセットします。

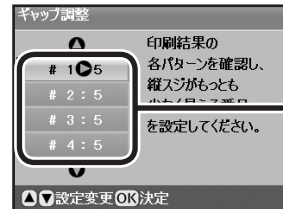
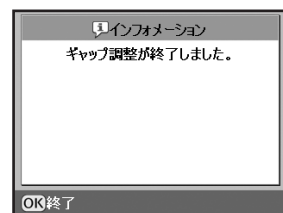
本書 16 ページ「前面オートシートフィーダへの A4 普通紙のセット」

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 ［ギャップ調整］を選択します。

4 ギャップ調整パターンを印刷します。

【スタート】ボタンで実行

5 印刷されたギャップ調整パターンを確認します。

＃1から＃4それぞれについて、もっとも縦スジが入っていないように見えるパターンを探します。下図の＃1の例では「5」を選択します。

6 印刷結果の情報を設定します。

＃1から＃4まで、手順5で確認した番号を設定します。

7 【OK】ボタンを押して、終了します。

【OK】ボタンで終了

次の印刷から調整結果が反映されます。

以上で、ギャップ調整の手順説明は終了です。

印刷こすれの軽減

印刷面がこすれて汚れる場合は、「こすれ軽減」機能をお試しください。印刷面とプリントヘッドの間隔をわずかに広げて印刷することにより、印刷こすれが軽減されます。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **［こすれ軽減］を選択します。**

3 **こすれ軽減を［する］に設定します。**

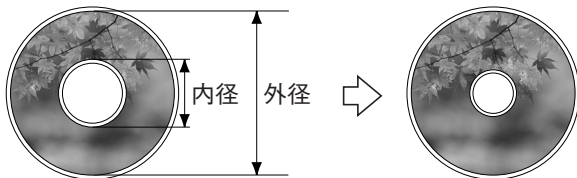
次の印刷から調整結果が反映されます。

こすれ軽減の設定は、電源をオフにするまで有効です。一旦電源をオフにして、もう一度電源をオンにすると、こすれ軽減の設定が［しない］に戻ります。

以上で、こすれ軽減設定の手順説明は終了です。

印刷領域 / 位置調整

CD/DVD レーベルの印刷領域調整

12cmCD/DVD の内径 / 外径の調整により、印刷領域を広げることができます。

1 **【セットアップ】ボタンを押してセットアップモードにします。**

2 **内径を調整する場合は［CD/DVD 内径調整］を、外径を調整する場合は［CD/DVD 外径調整］を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

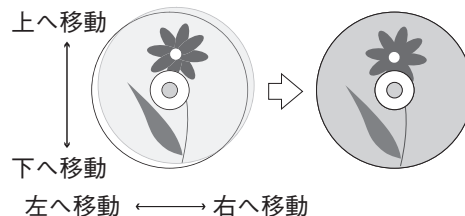
3 **印刷領域を 1mm 単位で設定します。**

内径：標準 46mm から最小 18mm まで
外径：標準 114mm から最大 120mm まで

次の印刷から調整結果が反映されます。

以上で、印刷領域調整の手順説明は終了です。

CD/DVD レーベルの位置調整

印刷位置がずれている場合は、以下の手順で画像の印刷位置を上下左右に調整することができます。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **上下を調整する場合は［CD/DVD 位置調整 上下］を、左右を調整する場合は［CD/DVD 位置調整 左右］を選択します。**

3 **印刷位置を設定します。**

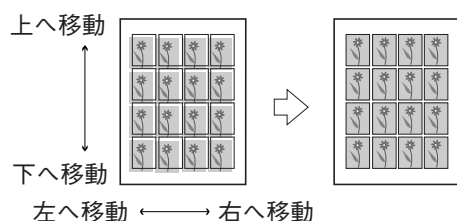
0.1mm 単位で、下方向 / 左方向へ「-5mm」まで、上方向 / 右方向へ「+5mm」まで設定できます。

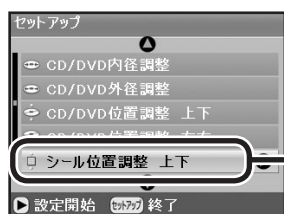
②【OK】ボタンで決定

次の印刷から調整結果が反映されます。

以上で、印刷位置調整の手順説明は終了です。

ミニフォトシールの位置調整

印刷位置がずれている場合は、以下の手順で画像の印刷位置を上下左右に調整することができます。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **上下を調整する場合は［シール位置調整 上下］を、左右を調整する場合は［シール位置調整 左右］を選択します。**

3 **印刷位置を設定します。**

0.1mm 単位で、下方向 / 左方向へ「-2.5mm」まで、上方向 / 右方向へ「+2.5mm」まで設定できます。

次の印刷から調整結果が反映されます。

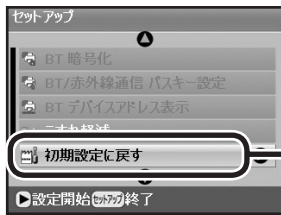
以上で、印刷位置調整の手順説明は終了です。

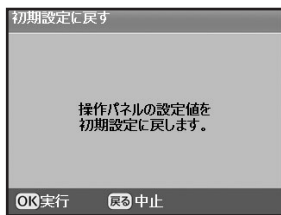
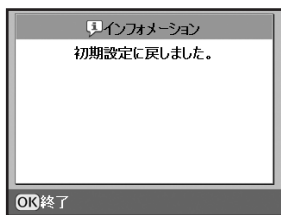
操作パネルの設定

設定値の初期化

本製品の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **［初期設定に戻す］を選択します。**

3 **初期化を実行します。**

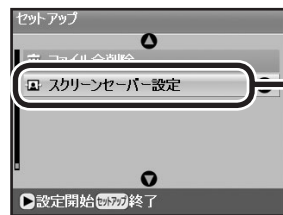
お買い上げ時の設定になります。

②【OK】ボタンで終了

以上で、設定値の初期化の手順説明は終了です。

スクリーンセーバーの設定

液晶ディスプレイのスクリーンセーバーに、メモリカードの写真を設定することができます。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **［スクリーンセーバー設定］を選択します。**

3 **［メモリカードの写真］を選択します。**

以降、写真データが保存されているメモリカードがセットされている状態で、約3分間操作をしない場合に、メモリカードの写真がスクリーンセーバーとして順次表示されます。

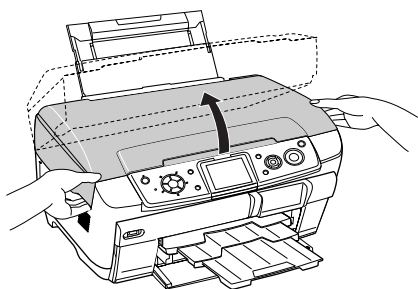
［なし］を選択すると、スクリーンセーバーは起動しません。

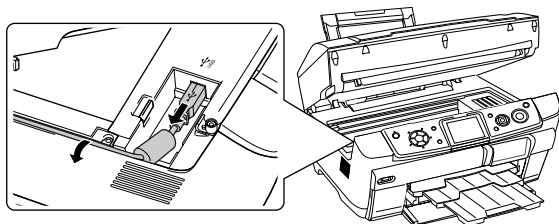
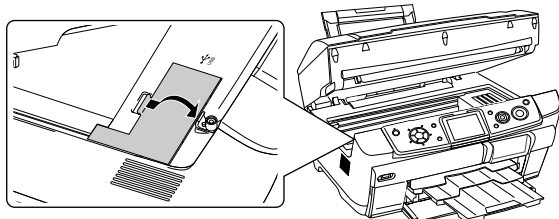
以上で、スクリーンセーバー設定の手順説明は終了です。

USB ケーブルの取り外し

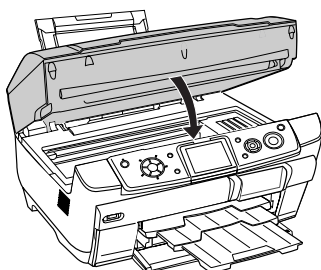
USB ケーブルの取り外し方

USB ケーブルをお使いにならない場合は取り外すことができます。

1 スキャナユニットを開けます。

2 カバーを取り外してから、USB ケーブルを取り外します。

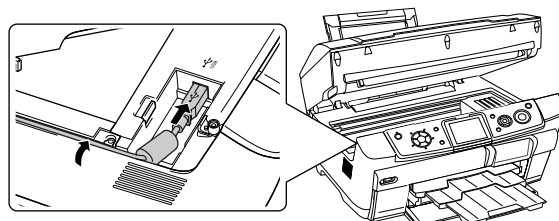
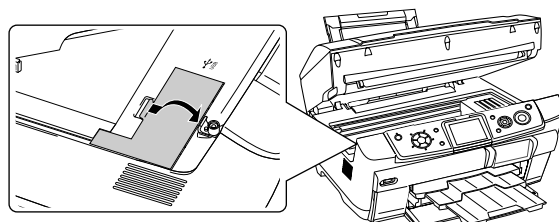
!注意
ケーブルを傷付けないように注意してください。

カバーを元に戻します。

参考
取り外した USB ケーブルは、パソコンと接続するときに必要になりますので、大切に保管しておいてください。

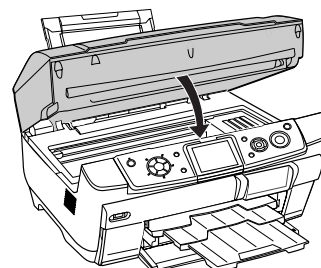
3 スキャナユニットを閉じます。

USB ケーブルの取り付け方

1 スキャナユニットを開けます。

2 カバーを取り外してから、USB ケーブルを取り付けます。

USB ケーブルを本体のコネクタに差し込み、側面の溝に沿って取り付けます。

カバーを元に戻します。

3 スキャナユニットを閉じます。

!注意
スキャナユニットでケーブルをつぶさないように注意してください。

参考
USB ハブを使用する場合は、パソコンに直接接続されたハブに、接続してください。

輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。

プリントヘッドの固定

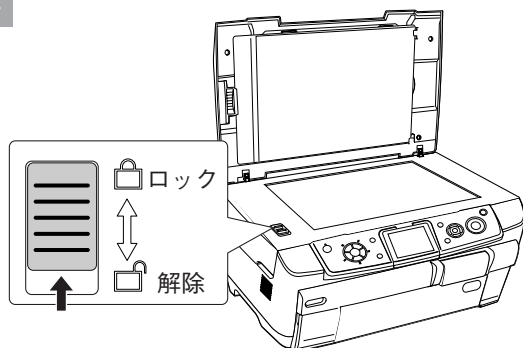
1 **操作パネルの【電源】ボタンを押して、電源をオフにします。**

プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。

> **! 注意**
> - インクカートリッジは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
> - プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず、固定できません。その場合は、もう一度電源をオンにしてから、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてください。

輸送用固定レバーのロック

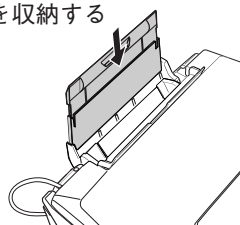
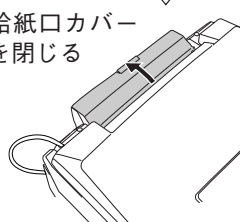
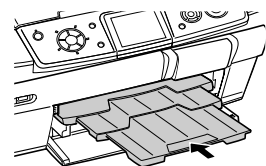
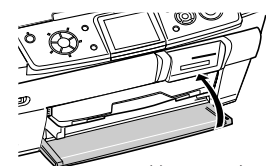
1 **原稿カバーを開けます。**

2 **キャリッジの固定レバーをロック側にします。**

3 **原稿カバーを閉じます。**

梱包

1 **電源プラグをコンセントから抜きます。**

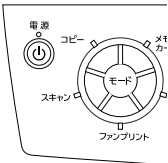
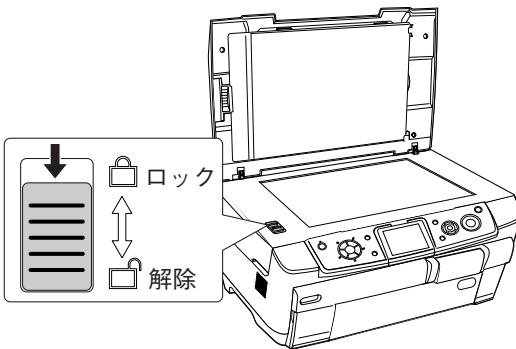
電源がオンになっている場合は、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてから、電源プラグを抜いてください。

2 **給紙口カバーと前面カバーを閉じます。**

3 **梱包材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。**

> **! 注意**
> 保護材の取り付け時や輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

輸送後のご注意

- 輸送用固定レバーのロックを解除してください。
- 印刷不良が発生した場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
  ☞本書 126 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

どんなトラブル？

電源 / 操作パネルのトラブル

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 電源が入らない	電源ランプが点滅 / 点灯しない	■ **【電源】ボタンを少し長めに押してください。**
		■ **電源プラグがコンセントから抜けていませんか？** 差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれていないかをご確認ください。 ■ **コンセントに電源はきていますか？** ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかをご確認ください。ほかの電化製品の電源が入る場合は、本製品の故障が考えられます。
	電源ランプは点灯しているが、液晶ディスプレイに何も表示されない	■ **液晶ディスプレイのスリープモード状態です（電源は入っています）。** 【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。操作画面が表示されます。
● 電源が切れない		■ **【電源】ボタンを少し長めに押してください。** どうしても電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、もう一度電源を入れて、必ず【電源】ボタンで電源をオフにしてください。そうしないと、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。
● 電源をオンにすると、ガタガタと音がする		■ **輸送用固定レバーが<🔒>位置（ロック）になっていませんか？** 【電源】ボタンを押して電源をオフにしてから、原稿台の横にある輸送用固定レバーを<🔓>位置（解除）にしてください。ロックが解除されます。 ☞ 本書 9 ページ「⑱ 輸送用固定レバー」
● 液晶ディスプレイが暗くなった		■ **液晶ディスプレイのスリープモード状態です。** 【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。操作画面が表示されます。
● 液晶ディスプレイに表示されたメッセージの内容がわからない		■ **メッセージを確認し、エラー表示一覧をご覧ください。** ☞ 本書 161 ページ「エラー表示一覧」

給紙 / 排紙のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 用紙が詰まった ● CD/DVD トレイが詰まった	■ **無理に引っ張らずに、以下のページの手順に従って取り除いてください。** 本書 139 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」
● L 判 /A4 などの定形紙が、うまく給紙できない / 送られない	■ **用紙のセット方法は正しいですか？** 以下の項目をチェックしてください。 • 用紙の端をよく揃えましたか？ • 用紙を縦方向にセットしていますか？（往復ハガキのみ横方向） • セットしている用紙の量が多すぎませんか？ 正しいセット方法をご確認ください。 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」 ■ **本製品で使用できない用紙をお使いではありませんか？** 使用できない用紙を使うと、紙詰まりの原因になります。以下の項目をチェックしてください。 • 用紙にシワや折り目はないですか？ • 用紙は厚すぎたり薄すぎたりしませんか？ • 用紙が湿気を含んでいませんか？ • 用紙が反っていませんか？ • ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの、穴のあいている用紙ではありませんか？ 使用できる用紙をご確認ください。 本書 13 ページ「印刷用紙、CD/DVD のセット方法」 ■ **本製品は水平な場所に設置されていますか？** 以下の場合は、本製品の内部機構に無理な力がかかって歪み、印刷や給紙に悪影響を及ぼします。 • 設置場所が水平ではない • 設置場所とプリンタの間に何か物が挟まれている • プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出している また、一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。 ■ **一般の室温環境下で使用されていますか？** 一般の室温環境下（室温：15～25 度、湿度：40～60％）以外で使用した場合は、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。 ■ **製品内部のローラが汚れている可能性があります。** お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが同梱されている場合には、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。 本書 120 ページ「ホコリが付かないようにする」－「これを防ぐには」
● フォトスタンド紙が、うまく給紙できない / 送られない	■ **フォトスタンド紙のセット方法は正しいですか？** 以下の項目をチェックしてください。 • フォトスタンド紙を、本体側の三角マークの位置まで挿入しましたか？ 正しいセット方法をご確認ください。 本書 23 ページ「フォトスタンド紙のセット」

次ページへ続く

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● CD/DVD トレイが、 うまく給紙できない / 送られない	■ **CD/DVD トレイのセット方法は正しいですか？** 以下の項目をチェックしてください。 • CD/DVD ガイド（トレイを差し込む部分）は、手前に出ていますか？ • CD/DVD トレイを差し込む際、本体側とトレイ上の三角マークを合わせましたか？ 正しいセット方法をご確認ください。 ☞ 本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」 ■ **本体の背面には十分なスペースが確保されていますか？** CD/DVD 印刷開始時には、CD/DVD トレイが本体背面から約 5cm 排出されます。背面に十分なスペースを確保してください。 ■ **本製品が準備中ではありませんか？** 本製品の準備中にパソコンから印刷を実行すると、CD/DVD トレイが排出されます。準備動作が終了してから、トレイをセットし直して【スタート】ボタンを押してください。 ■ **市販の CD/DVD レーベル印刷対応アプリケーションソフトから印刷する場合、給紙方法の設定は正しいですか？** CD/DVD に印刷する場合は、プリンタドライバの給紙方法の設定が［手差し（定形紙）］以外に設定されていると、正しく給紙されません。［手差し（定形紙）］に設定してください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「アプリケーションソフト別印刷設定一覧」

詰まった用紙の取り除き方法

！注意

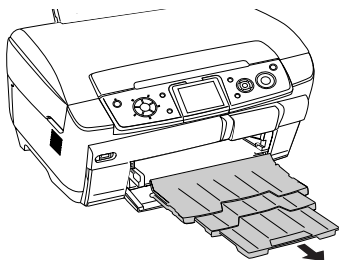
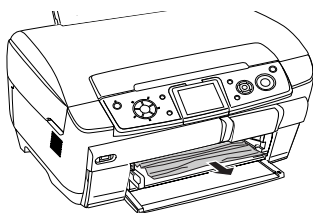
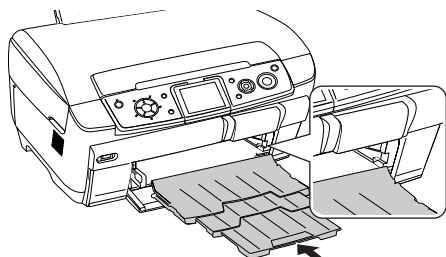
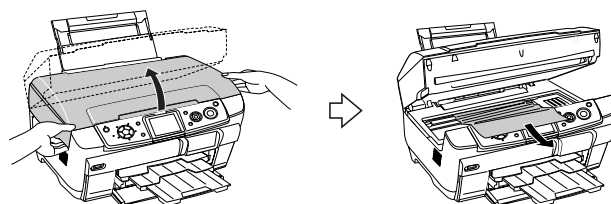
- 詰まった用紙を手で取り除くときは、絶対に強く引っ張らないでください。強く引っ張ると、本製品が故障するおそれがあります。
- 詰まった用紙がどうしても取り除けない場合は、本製品を分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、修理をご依頼ください。
☞本書 166 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

L 判 /A4 などの定形紙の場合

1 **【スタート】ボタンを押します。**

詰まった用紙が排出される場合があります。
排出されない場合は、手順2に進んでください。

2 **電源をオフにします。**

3 **排紙トレイを取り外します。**

4 **前面オートシートフィーダの奥の方に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。**

5 **排紙トレイを取り付けます。**

6 **スキャナユニットを開け、内部に詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。**

7 **スキャナユニットを閉じます。**

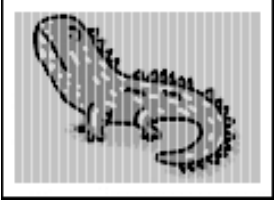
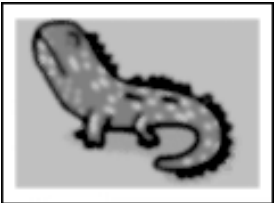
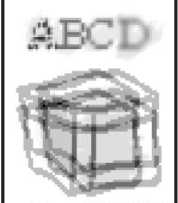
名刺 / カードなどの小さい用紙の場合

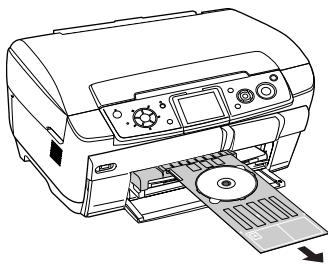
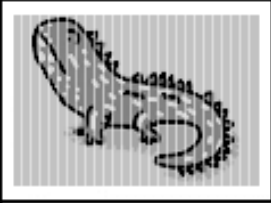
1. **名刺またはカードサイズの用紙を、もう1枚セットします。**
   必ず縦方向にセットしてください。

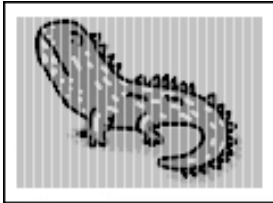
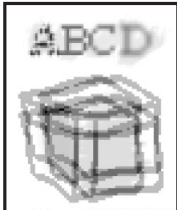
2. **【スタート】ボタンを押します。**
   詰まっている用紙が送り出されます。
   送り出されずに内部で止まっている場合は、手順3に進んでください。

3. **電源をオフにします。**

4. **スキャナユニットを開け、内部に詰まっている用紙をゆっくりと引き抜きます。**

CD/DVD/ フォトスタンド紙の場合

1. **【スタート】ボタンを押します。**
   CD/DVD トレイが排出されます。
   排出されない場合は、手順2に進んでください。

2. **CD/DVD トレイ（またはフォトスタンド紙）を、手でゆっくりと引き抜きます。**

以上で、詰まった用紙の取り除き方法の手順説明は終了です。

印刷品質 / 結果のトラブル

<印刷品質が悪い / きれいに印刷できない>

<table>
<tr><th>症状 / トラブル状態</th><th colspan="2">確認 / 対処方法</th></tr>
<tr>
<td>● かすれる
● スジや線が入る / シマシマになる

● ぼやける

● 文字や罫線がガタガタになる

● 色合いがおかしい
● 印刷されない色がある
● 印刷にムラがある
● モザイクがかかったように印刷される
● 印刷の目が粗い（ギザギザしている）</td>
<td>本体</td>
<td>■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？
ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。
<操作パネルで操作する場合>
☞ 本書 126 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」
<パソコンから操作する場合>
☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

■ インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？
本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
☞ 本書裏表紙「インクカートリッジの型番」

■ 古くなったインクカートリッジを使用していませんか？
古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は6ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載されています。

■ パソコンのディスプレイ表示と印刷結果を比較していませんか？
ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。
☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「色について」

■ 双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？
本製品は高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。この印刷方式を「双方向印刷」と呼びます。この双方向印刷をしているときに、まれに、右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になる場合があります。
ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレをご確認ください。
<操作パネルで操作する場合>
☞ 本書 128 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
<パソコンから操作する場合>
☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ギャップ調整」</td>
</tr>
</table>

次ページへ続く

（続き）

<table>
<tr><th>症状 / トラブル状態</th><th colspan="2">確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">● かすれる
● スジや線が入る / シマシマになる

● ぼやける

● 文字や罫線がガタガタになる

● 色合いがおかしい
● 印刷されない色がある
● 印刷にムラがある
● モザイクがかかったように印刷される
● 印刷の目が粗い（ギザギザしている）</td>
<td>用紙</td>
<td>■ 写真などを普通紙に印刷していませんか？
画像などの文字に比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむ場合があります。画像などを印刷するときや、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。
☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙」－「エプソン製専用紙」

■ 用紙の裏面に印刷していませんか？
専用紙には裏表があります。以下のページ、または専用紙の説明書を参照し、表面（印刷面）を手前にしてセットしてください。
☞ 本書 21 ページ「写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット」

■ 印刷後、次の用紙を重なった状態で放置していませんか？
印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに 1 枚ずつ広げて乾燥させてください。重なっている状態で放置すると、1 枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなります。
☞ 本書 121 ページ「印刷後は・・・」</td></tr>
<tr><td>印刷設定</td>
<td>■ ［用紙種類］の設定は正しいですか？
セットした用紙の種類と、印刷設定の［用紙種類］が合っていないと、印刷品質が悪くなります。印刷設定をご確認ください。
☞ 本書 27 ページ「［用紙種類］の設定」

■ 印刷品質の低いモード（[速い] など）で印刷していませんか？
印刷品質の設定値は［用紙種類］などによって異なりますが、[速い] や［エコノミー］に設定していると、低解像度で印刷されます。［きれい］や［フォト］などの設定で印刷をお試しください。

■ カラー調整の設定をしていませんか？
明るさやコントラストなどのカラー調整をすると、印刷結果の濃さが変わります。印刷設定をご確認ください。
☞ 本書 75 ページ「印刷設定」
☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「色を補正 / 加工して印刷しよう」

■ オートフォトファイン（自動画質補正）の設定で印刷していませんか？
• オートフォトファインは、被写体の配置などを解析して画像処理を行います。このため、被写体の配置が変わる操作（回転、拡大 / 縮小、トリミングなど）を行うと、印刷される色合いが変わることがあります。また、フチなし印刷時とフチあり印刷時とでは被写体の配置が若干変わるため、色合いが変わることがあります。
• オートフォトファインで印刷すると、画像内のピントがあっていない場所で不自然な階調が生じる場合があります。この場合は、オートフォトファイン以外のモードを選択して印刷してください。
☞ 本書 75 ページ「印刷設定」</td></tr>
</table>

（続き）

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法

症状 / トラブル状態

- かすれる
- スジや線が入る / シマシマになる

- ぼやける

- 文字や罫線がガタガタになる

- 色合いがおかしい
- 印刷されない色がある
- 印刷にムラがある
- モザイクがかかったように印刷される
- 印刷の目が粗い（ギザギザしている）

データ

■ **写真データの画像サイズが、印刷サイズに適していますか？**

デジタルカメラで撮影した写真データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。同じサイズの用紙に印刷する場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷ができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど画素数の多い画像データが必要になります。

画像サイズに適した印刷サイズは以下の通りです。

デジタルカメラの画素数	標準的な画像サイズ（ピクセル）	印刷サイズの目安			
		カード	L 判	2L 判	A4
約 30 万画素	640 × 480	◎	○	△	△
約 48 万画素	800 × 600	◎	○	△	△
約 80 万画素	1024 × 768	◎	◎	○	△
約 130 万画素	1280 × 1024	◎	◎	◎	△
約 200 万画素	1600 × 1200	□	◎	◎	○
約 300 万画素	2048 × 1536	□	◎	◎	○
約 400 万画素	2240 × 1680	□	◎	◎	◎
約 500 万画素	2560 × 1920	※	□	◎	◎
約 600 万画素	2816 × 2120	※	□	◎	◎
約 700 万画素	3072 × 2304	※	□	◎	◎
約 800 万画素	3250 × 2450	※	□	□	◎

△：画素数が少なく、良好な印刷結果が得られない。
○：やや画素数が少ないが、良好な印刷結果が得られる。
◎：必要十分な画素数があり、高い印刷結果が得られる。
□：やや画素数が多いが、高い印刷結果が得られる。
※：良好な印刷結果が得られるが、印刷結果向上のためにはこれほど多くの画素は必要なし。

☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「解像度とは？」

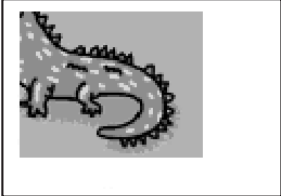
症状 / トラブル状態

- CD/DVD への印刷が濃い / 薄い

印刷設定

■ **ご利用の CD/DVD の種類によっては、印刷濃度が意図したものと異なる場合があります。**

印刷濃度の調整をお試しください。

☞ 本書 47 ページ「印刷設定」
☞『EPSON Multi-PrintQuicker ヘルプ』－「こんなときは」

次ページへ続く

（続き）

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法	
● 印刷面がこすれる / 汚れる	用紙	■ **ハガキの通信面に印刷した後、その印刷結果（インク）が乾いていない状態で宛名面に印刷していませんか？** インクが乾いていない状態で宛名面に印刷すると、次のハガキに転写する場合があります。通信面を印刷した後は、十分に乾かしてから宛名面に印刷してください。また、先に宛名面から印刷することをお勧めします。 ■ **反りのある用紙や、用紙の端面にバリのある用紙を使用していませんか？** 反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の断裁のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、プリントヘッドが用紙をこする場合があります。用紙の反りやバリを取ってから、本製品にセットしてください。 なお、一部のエプソン製専用紙は、反りを修正する際に印刷面を傷つけてしまうおそれがありますので、以下のページを確認してから、反りを修正してください。 ☞ 本書 21 ページ「写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット」 ■ **用紙を横方向にセットしていませんか？** 用紙は、縦方向にセットしてください（往復ハガキのみ横方向）。横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこする場合があります。 ■ **仕様外の厚い用紙を使用していませんか？** 本製品で使用できるエプソン製純正品以外の用紙の厚さは、0.08 ～ 0.27mm です。この規格以外の用紙を使用すると、プリントヘッドが印刷面をこすって、印刷結果が汚れる場合があります。仕様に合った用紙をご使用ください。 ■ **専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？** 専用紙は普通紙などと比べてインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れる場合があります。印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。
	印刷領域	■ **フチなし印刷時、フチなし印刷推奨の用紙をお使いになっていますか？** フチなし印刷を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。下記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。 • A4：写真用紙 / 光沢紙 / フォトマット紙 • ハガキ：各種郵便ハガキ / 各種エプソン製専用ハガキ • カード /L 判 /2L 判 / 六切：写真用紙 • 名刺：両面マット紙 ■ **フチなし印刷推奨の用紙でも汚れが発生しますか？** 「こすれ軽減」機能をお試しください。 なお、「こすれ軽減」機能は、印刷速度が遅くなる場合があります。印刷こすれが発生したときのみご使用ください。 ☞ 本書 129 ページ「印刷こすれの軽減」 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「印刷面がこすれる / 汚れる」 ■ **標準（フチあり）印刷時、印刷推奨領域外に印刷していませんか？** 印刷推奨領域外では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。 「こすれ軽減」機能をお試しください。設定手順は、この上の項目と同じです。
	本体	■ **本製品の内部が汚れていませんか？** 本製品の内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。以下をご覧のうえ、内部をクリーニングしてください。 ☞本書 120 ページ「ホコリが付かないようにする」－「これを防ぐには」

＜印刷結果のトラブル＞

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 印刷位置がずれる / はみ出す	本体	**■ 用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？ また、用紙が曲がってセットされていませんか？** 一旦用紙を取り出してよく整えてから、用紙をまっすぐにセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 ☞ 本書 16 ページ「基本的な用紙のセット方法」
	用紙	**■ ミニフォトシール、または CD/DVD レーベルに印刷していますか？** ミニフォトシール、または CD/DVD レーベルの印刷位置がずれる場合は、印刷位置を上下左右に微調整することができます。 ☞ 本書 130 ページ「印刷領域 / 位置調整」
	印刷設定	**■ 用紙サイズの設定は正しいですか？** セットした用紙のサイズと、印刷設定の［用紙サイズ］が合っていないと、印刷位置がずれたり、はみ出したりします。印刷設定をご確認ください。 ☞ 本書 47、75、90 ページ「印刷設定」 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「用紙別プリンタドライバ設定一覧」 **■ フチなし印刷をしていませんか？** フチなし印刷は、原稿を用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。そのため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。なお、はみ出し量は 3 段階［標準］［少ない］［より少ない］で調整することができます。 ☞ 本書 47、75、90 ページ「印刷設定」 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「四辺フチなし印刷をしよう」 **■ 本製品単体で、フィルムから写真プリントしていませんか？** フィルム印刷は、フィルム画像より一回り小さい範囲がスキャンされ、そのスキャンデータが印刷されます。フチなし印刷の場合は、スキャンした画像を少し拡大して印刷するため、画像の周りがさらに欠けてしまいます。 パソコンと接続すると、スキャナドライバのホームモードまたはプロフェッショナルモードで、取り込み領域を指定してスキャンすることができます。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「必要な部分だけを切り取ってスキャン」 **■ ホームページを印刷していませんか？** ☞ 本書 146 ページ「ホームページを思い通りに印刷できない」

次ページへ続く

（続き）

<table>
<tr><th colspan="2">症状 / トラブル状態</th><th colspan="2">確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">● フチなし印刷ができない</td><td>印刷設定</td><td>■ 印刷時に、フチなし印刷をするように設定しましたか？
< PM-A950 単体で使用する場合>
操作パネルで、印刷設定の［レイアウト］を［フチなし］に設定して印刷してください。
本書 46 ページ「コピー設定」
本書 75、90 ページ「印刷設定」
<パソコンから印刷する場合>
• 付属のアプリケーションソフト『EPSON Easy Photo Print』を使用すれば、簡単にフチなし印刷することができます。
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「写真をかんたんきれいに印刷しよう」
• 市販のアプリケーションソフトを使用する場合は、プリンタドライバの［用紙設定］の［四辺フチなし］をチェックして印刷してください。ほかにも、写真データと用紙サイズの縦横比を調整するなど、注意が必要です。
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「市販ソフトウェアで写真を印刷しよう」</td></tr>
<tr><td>用紙</td><td>■ 規格サイズ※以外の用紙を使用していませんか？
規格サイズ以外の用紙を使用すると、フチなし印刷されずに余白ができます。フチなし印刷する場合は、規格サイズの用紙をお使いください。
※ A4：210 × 297mm/ ハガキ：100 × 148mm/
名刺：55 × 91mm/ カード：54 × 86mm/
L 判：89 × 127mm/2L 判：127 × 178mm/ 六切：203 × 254mm</td></tr>
<tr><td rowspan="3">● ホームページを思い通りに印刷できない</td><td>ページの右端が欠けて印刷される</td><td colspan="2">■ ホームページが、印刷のことを考えて制作されていないためです。
• 付属のアプリケーションソフト「EPSON Web-To-Page」を使用すれば、ページの右端が欠けることなく印刷できます。
• ブラウザソフトの標準機能で印刷することも可能です。
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ホームページを思い通りに印刷できない」</td></tr>
<tr><td>背景色が印刷されない</td><td colspan="2">■ Microsoft Internet Explorer の初期設定では、ホームページの背景色や背景の画像は、印刷されない設定になっています。
背景を印刷する場合は、以下をご覧ください。
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ホームページを思い通りに印刷できない」</td></tr>
<tr><td>画像が粗い</td><td colspan="2">■ ホームページでは、データ通信を優先するために低解像度の画像が使用されている場合が多くあります。
低解像度の画像は、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られない場合があります。</td></tr>
</table>

スキャン品質 / 結果のトラブル

<スキャン品質が悪い>

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像が暗い	■ **EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** 明るさとコントラストを調整してみてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル） －「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」 －「明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）」 －「明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）」 ■ **EPSON Scan のカラー調整の設定を確認してください。** EPSON Scan の［ホームモード］/［プロフェッショナルモード］画面下にある［環境設定］をクリックして、［カラー］タブをクリックし、以下の手順で確認してください。 ① ［ドライバによる色補正］の［常に自動露出を実行］がチェックされていることを確認してください。チェックが外れていると、自動露出の効果がかからず、露出（明暗）が不適切な画像になる場合があります。 ② ［推奨値］をクリックしてください。EPSON Scan の自動露出が正しく機能するようになります。 ③ 印刷する場合は、［ドライバによる色補正］の［ディスプレイガンマ］を設定してください。設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、［1.8］に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。 ■ **ディスプレイの表示設定を確認してください。** ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ」
● 画像がぼやける	■ **解像度が適切に設定されていますか？** EPSON Scan で適切な解像度を設定してスキャンしてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「解像度について」 ■ **EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** • EPSON Scanのプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから［自動露出］ボタンをクリックしてみてください。 • ［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用してみてください。 なお、［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用すると、モアレ（網目状の陰影）が生じる場合があります。モアレが生じる場合は、［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル） －「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 －「モアレ（網目状の陰影）を取り除く（モアレ除去フィルタ）」

次ページへ続く

（続き）

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像の色合いがおかしい ● 画像の色が原稿の色と違う	■ **EPSON Scan の［イメージタイプ］を正しく設定していますか？（全自動モードを除く）** スキャンする原稿の種類や画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］を正しく設定してください。 ■ **EPSON Scan の画質調整を使っていませんか？また使っている場合は適切に設定していますか？** 明るさ調整など、EPSON Scan の画像調整機能を使うと、原稿と色合いが異なる場合があります。 ■ **ディスプレイの表示設定を確認してください。** ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 『活用ガイド』（電子マニュアル） －「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ」 －「色について」 ■ **アプリケーションソフトでのディスプレイ設定をしていますか？** Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、ディスプレイのキャリブレーションを行ってください。 ディスプレイ設定を行うと、ディスプレイやディスプレイアダプタによるクセをソフトウェア上で取り除き、画像を適切に表示することができます。 詳しい手順は、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。 ■ **原稿（印刷物）とディスプレイの色は一致しません。** 印刷物の色とディスプレイ表示の色は、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「色について」
● 裏写りする	■ **裏が透けて見えるほど薄い原稿をセットしていませんか？** 原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてスキャンされることがあります。その場合は、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねてスキャンすると、改善できる場合があります。 ■ **スキャン時の設定は原稿に合っていますか？** 原稿に合った設定でスキャンしてください。 正しく設定することによって、ハイライト（画像の最も明るい部分）が真っ白になるように調整されるため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「雑誌などの記事をスキャンして電子スクラップを作ろう」

（続き）

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像にモアレ（網目状の陰影）が出る	■ **EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** •［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 •［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用している場合は、無効にしてみてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル） －「モアレ（網目状の陰影）を取り除く（モアレ除去フィルタ）」 －「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 ■ **原稿の向きを変えて原稿台にセットし、スキャンしてみてください。** スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。 ■ **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で［解像度］の設定を少し変更してスキャンしてみてください。**
● 画像にムラ / シミ / 斑点が出る	■ **原稿台が汚れていませんか？** 原稿台のガラス面は、きれいにしておいてください。 ☞ 本書 121 ページ「きれいにスキャンするために」 ■ **スキャンするときに、原稿を強く押さえ付けませんでしたか？** スキャンするときに原稿カバーや原稿を強く押さえ付けると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点が出ることがあります。強く押さえ過ぎないようにしてください。写真の紙質や表面の加工状態によっても、ムラや斑点が出ることがあります。その場合は、原稿のセット位置をずらしてみてください。
● フィルムスキャン時、画像の上に円や楕円状の縞模様が出る	■ **フィルムが反っていたり、原稿台に密着していませんか？** フィルムが反っていたり、原稿台に密着していると、フィルムの一部が原稿台と密着して、ニュートンリング（円または楕円状の縞模様）が発生することがあります。 この場合は、ベース面（像が正しく見える面 / フィルムメーカーが正しく見える面）を上にセットしてから、EPSON Scan（全自動モード以外のモードをお使いください）でスキャンしてください。 スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。

＜正常にスキャンできない＞

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 画像が切れる ● 隣りの画像の一部がスキャンされる	共通	■ **原稿がセットされていますか？** 原稿台に原稿がセットされているか確認してください。 ■ **原稿カバーに保護マットが付いていますか？** 写真などの反射原稿をスキャンするときには、原稿カバーに保護マットを取り付ける必要があります。逆に、フィルムなどの透過原稿をスキャンするときには、保護マットを取り外す必要があります。 ☞ 本書 30 ページ「原稿のセット方法」 ■ **原稿台のガラス面にゴミがありませんか？** 原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがあると、正常にスキャンできない場合があります。原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがある場合は取り除いてください。

次ページへ続く

（続き）

<table>
<tr><th colspan="2">症状 / トラブル状態</th><th>確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">● 画像が切れる
● 隣りの画像の一部がスキャンされる</td><td>全自動モードでスキャンするとき</td><td>■ EPSON Scan の全自動モードでスキャンする場合、全自動モードに対応した原稿をセットしていますか？
全自動モードでスキャンできる原稿は以下の通りです。
全自動モードに対応していない原稿を、全自動モードでスキャンすると、正常にスキャンできない場合があります。
• カラーおよびモノクロの写真
• 新聞、雑誌、書類、イラスト、線画など
• カラーの 35mm フルサイズストリップのフィルム（ネガ、ポジ）
• カラーの 35mm フルサイズマウントフィルム
なお、上記の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードのプレビューで［通常表示］を選択してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「プレビュー表示について」

■ 極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？
以下のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできない場合があります。
• 極端に暗い（または明るい）画像
• 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像
• ポジフィルムで単色に近い画像
その場合は、EPSON Scanのホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。</td></tr>
<tr><td>EPSON Scan のサムネイルプレビューでスキャンするとき</td><td>■ サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしていますか？
サムネイルプレビューで使用できる原稿は以下の通りです。
サムネイルプレビューに対応していない原稿を、サムネイルプレビューでスキャンしても、正常にスキャンできません。
• カラーおよびモノクロの写真
• 白黒またはカラーの35mmフルサイズストリップのフィルム（ネガ、ポジ）
• 白黒またはカラーの 35mm フルサイズマウントフィルム
なお、上記の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードのプレビューで［通常表示］を選択してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。
『活用ガイド』（電子マニュアル）－「プレビュー表示について」

■ 極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？
以下のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできない場合があります。
• 極端に暗い（または明るい）画像
• ポジフィルムで単色に近い画像
• 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像
その場合は、EPSON Scanのホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。

■ スキャン領域のサイズを調整してみてください。（全自動モードを除く）
EPSON Scan の［環境設定］にある［プレビュー］画面で、［サムネイル取込領域］のスライダを調整して、サムネイルプレビューのスキャン領域の大きさを調整してください。</td></tr>
</table>

（続き）

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 画像が切れる ● 隣りの画像の一部がスキャンされる	写真を複数枚同時にスキャンするとき	■ **正しい位置に原稿をセットしていますか？** 写真などの原稿を並べてセットするときは、以下の点に注意して置いてください。 **＜写真コピー時＞** • 原稿台の原点マークから 5mm 以上離してセットしてください。 • 写真と写真の間隔を 10mm 以上あけてください。 ☞ 本書 31 ページ「ファンプリントモードでの写真原稿のセット」 **＜ EPSON Scan 使用時＞** • 写真と写真の間隔を 20mm 以上あけてください。 • 全自動モード・サムネイルプレビュー選択時： 原稿台の原点マークから 5.5mm 以上離してセットしてください。 • ホームモード / プロフェッショナルモードの通常プレビュー時： 原稿台の原点マークから 2.5mm 以上離してセットしてください。
	フィルムをスキャンするとき	■ **保護マットを外していますか？** フィルムなどの透過原稿をスキャンするときには、保護マットを取り外す必要があります。 ☞ 本書 82 ページ「写真プリントの基本手順」 ■ **フィルムホルダを使用していますか？** フィルムは、原稿台に直接セットせずに、付属のフィルムホルダにセットしてください。 ☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」 ■ **フィルムホルダの切り抜き部分に、フィルムがかかっていませんか？** 付属のフィルムホルダには、光量を補正するための切り抜き部分があります。この部分にフィルムがかからないように、正しくセットしてください。 ☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」 ■ **標準コマとパノラマが混在していませんか？** セットしたフィルムに、標準コマとパノラマが混在していると、パノラマが正常にスキャンされません。パノラマを含むフィルムをスキャンする場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。
	テキストデータに変換するときの認識率が悪い	■ **原稿が斜めにセットされていませんか？** 原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下するため、原稿はまっすぐセットしてください。原稿カバーは、セットした原稿がずれないよう、ゆっくり閉じてください。 ■ **原稿の品質に問題がありませんか？** 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率が下がることがあります。 • 何度もコピーした原稿（コピーのコピー） • FAX 受信した原稿 • 文字間や行間が狭すぎる原稿 • 文字に罫線や下線がかかっている原稿 • 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿 • 折り跡やしわがある原稿 • 本の綴じ込み付近 • 手書き文字

次ページへ続く

<その他のトラブル>

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● フィルムのセット時に、蛍光ランプが消えない	■ **フィルムのスキャンが終了した後も、原稿カバー裏のランプがしばらく点灯しています。** ウォーミングアップの時間を短縮するため、しばらくランプが点灯しています。特に問題ありませんので、そのままでお使いください。
● スキャンに時間がかかる	■ **画像を高解像度でスキャンしていませんか？** 画像を高解像度でスキャンする設定にしていると、スキャンに時間がかかります。解像度を下げて、画像をスキャンしてください。 適切な解像度がわからないときは、EPSON Scanの全自動モードでスキャンしてください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「解像度を上げるときれいになる？」 ■ **フィルムをスキャンしていませんか？** フィルムのスキャンでは複雑な画像変換処理が必要なため、写真などの原稿よりも時間がかかります。 ■ **USB1.1 を使用してスキャンしていませんか？** お使いの環境が USB2.0 対応になっているかを確認してください。 USB2.0 に対応している場合、USB2.0 を使用すると、USB1.1 と比べて高速に画像をスキャンできます。 USB2.0 非対応の機器をお使いの場合には、USB1.1 として動作します（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります）。 ただし、USB2.0 を使用しても原稿の種類と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。または USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
● 画像が画面に大きく表示される	■ **画像を高解像度でスキャンしていませんか？** 通常ディスプレイの解像度は 70 ～ 90dpi くらいしかありません。しかし、アプリケーションソフトによっては、スキャンした画像データの各画素（画像を構成している細かな点の 1 つ 1 つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますので、アプリケーションソフト上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

パソコンから印刷できない / スキャンできない / インストール失敗

	確認 / 対処方法
1. 本製品をチェック	■ **本製品にエラーが発生している場合は、解除してください。** 本書 161 ページ「エラー表示一覧」
2. パソコンとの接続をチェック	■ **ケーブルは外れていませんか？** ケーブルがしっかり接続されているかをご確認ください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかもご確認ください。 ■ **USB ケーブルの接続口を変えてみてください。** パソコンに複数の USB 接続口がある場合は、接続口を変えると正しく動作するようになることがあります。 ■ **パソコンの仕様が、ケーブル接続条件を満たしていますか？** 本書 169 ページ「USB インターフェイス仕様」 ■ **パソコンとの間に、プリンタ切替機やプリンタバッファなどを使っていませんか？** プリンタ切替機やプリンタバッファなどを使っていると、プリンタとパソコンの情報データのやり取りがうまくいかず、印刷できない場合があります。プリンタ切替機やバッファを取り外し、パソコンに本製品を直接つないだ状態で、正常に印刷 / スキャンできるかをご確認ください。正常に動作した場合は、切替機やバッファメーカーへお問い合わせください。 ■ **USB ハブをお使いの場合に、使い方は正しいですか？** USB ハブは仕様上 5 段まで縦列接続できますが、プリンタと接続する場合は、パソコンに直接接続された 1 段目のハブに接続してください。それでも印刷が始まらない場合は、USB ハブを外して、プリンタとパソコンを直結してください。 USB ハブ ■ **USB ハブをお使いの場合に、USB ハブはパソコンに正しく認識されていますか？** パソコンで USB ハブが正しく認識されているかをご確認ください。

次ページへ続く

	確認 / 対処方法
3. パソコンをチェック	■ **プリンタドライバとスキャナドライバが、正常にインストールされていますか？** パソコンから印刷する場合はプリンタドライバ、スキャンする場合はスキャナドライバ（EPSON Scan）が必要です。各ドライバのインストール状態を確認してください。 ☞ 本書 155 ページ「ドライバのインストール状態を確認（Windows）」 ■ **パソコン（印刷キュー）に印刷待ちのデータがありませんか？** パソコン（印刷キュー）に印刷待ちのデータが残っていると、印刷が始まらない場合があります。印刷キューを表示して印刷待ちデータを確認し、印刷を再開するか取り消してください。 ① ［プリンタ］フォルダの本製品のアイコンをダブルクリック ② 印刷待ちデータを右クリックし、［再印刷］または［キャンセル］などをクリック ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」 ■ **Windows でツールバーの［印刷］アイコンをクリックして印刷する場合、「通常使うプリンタ」の設定になっていますか？** ［プリンタ］フォルダの本製品のアイコンに✔マークが付いていることを確認してください。✔マークが付いていない場合はアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」 ■ **Windows の場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？** • Windows XP の場合、［プリンタ］フォルダのアイコンのステータスを確認し、［一時停止］になっている場合はアイコンを右クリックして［印刷の再開］をクリックします。 • Windows 98/Me/2000 の場合、［プリンタ］フォルダのアイコンを右クリックして［一時停止］にチェックされていないか確認し、チェックが付いていたら外します。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」 ■ **Windows 98/Me の場合、スプールマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？** スプールマネージャは、印刷を開始すると画面下のタスクバー上に表示され、クリックすると画面が開きます。 印刷データをクリックし、［一時停止 / 再開］ボタンをクリックしてください。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「印刷状況を確認」 ■ **Mac OS X の場合、クラシック環境で使用していませんか？** 本製品は、Mac OS X のクラシック環境での動作を保証しておりません。クラシック環境ではご使用にならないでください。 ■ **「通信エラー」や「書き込みエラー」などのメッセージが表示されていませんか？** ☞本書 158 ページ「その他のトラブル」－「パソコンにエラー画面が表示される」 ■ **パソコンが、必要なシステム条件を満たしていますか？** ハードディスクの空き容量やメモリの空き容量などが少ないと、ソフトウェアがインストールできないため、使用できない場合があります。 ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバのシステム条件」
4. 以上を確認しても印刷ができない場合は	■ **ソフトウェアをバージョンアップすることによって、トラブルが解消されることがあります。** エプソンのホームページから最新のソフトウェアをダウンロードし、インストールしてお試しください。 < http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/ > ☞『活用ガイド』（電子マニュアル）－「ソフトウェアのバージョンアップ」

ドライバのインストール状態を確認(Windows)

①スキャナドライバのアイコンを確認

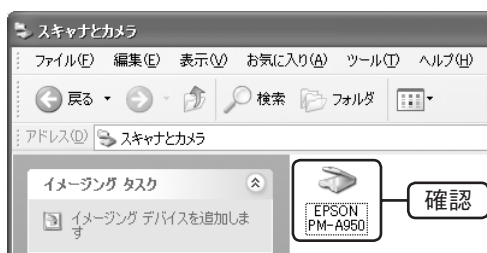
1 **USB ケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。**

電源をオンにしないと、スキャナとして認識されません。

2 **[スキャナとカメラ] フォルダを開きます。**

Windows XP の場合
[スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックし、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックして、[スキャナとカメラ] をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] の順にクリックし、[スキャナとカメラ] アイコンをダブルクリックします。

3 **PM-A950 のアイコンがあるかを確認します。**

PM-A950 のアイコンがある

スキャナドライバ（EPSON Scan）は正常にインストールされています。

続いて、プリンタドライバのインストール状態を確認してください。
☞ 次の「②プリンタドライバのアイコンを確認」

PM-A950 のアイコンがない

スキャナドライバ（EPSON Scan）は正常にインストールされていません。

続いて、プリンタドライバのインストール状態を確認し、最後にドライバをインストールし直してください。
☞ 次の「②プリンタドライバのアイコンを確認」
☞ 本書 157 ページ「ドライバの再インストール」

②プリンタドライバのアイコンを確認

1 **USB ケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。**

2 **[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを開きます。**

Windows XP の場合
[スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックし、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックして、[プリンタと FAX]をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合
[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。

3 **PM-A950 のアイコンがあるかを確認します。**

PM-A950 のアイコンがある

プリンタドライバは正常にインストールされています。

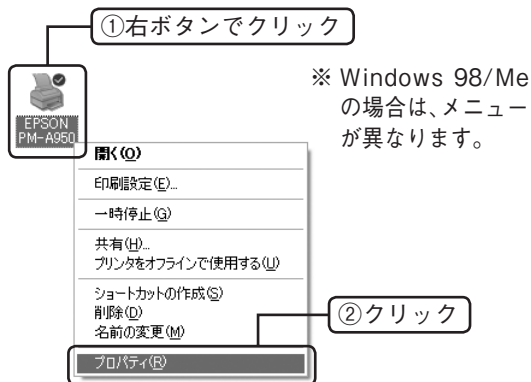
次に、印刷先ポートの設定を確認してください。
☞ 本書 156 ページ「③印刷先のポートの設定を確認」

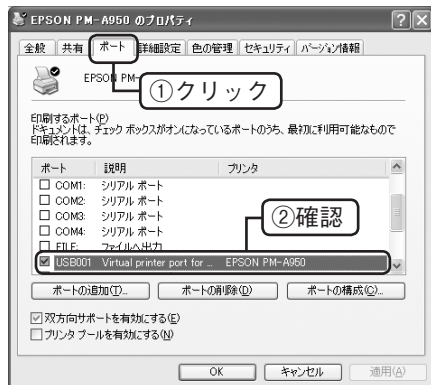
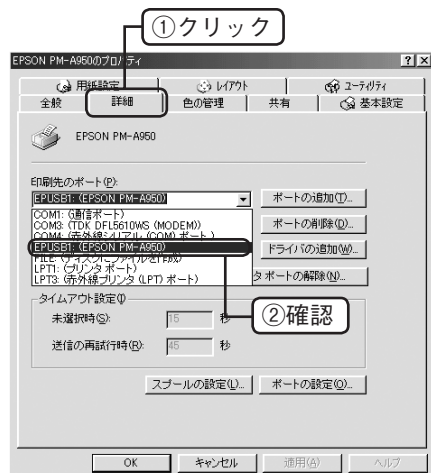
PM-A950 のアイコンがない

プリンタドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 157 ページ「ドライバの再インストール」

③印刷先のポートの設定を確認

1 ［EPSON PM-A950］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 ポートの設定を確認します。

Windows 2000/XP の場合
［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON PM-A950］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

Windows 98/Me の場合
［詳細］タブをクリックし、［EPUSBx：(EPSON PM-A950)］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

USB ポートが選択されている

Windows 2000/XP の場合
複数の USB ポート（［USBxxx EPSON PM-A950］）が表示されている場合は、別の USB ポートを選択して印刷をお試しください。それでも印刷できない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞本書 157 ページ「ドライバの再インストール」

Windows 98/Me の場合
ドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞本書 157 ページ「ドライバの再インストール」

USB ポート以外が選択されている

USB ポート（［USB］と［EPSON PM-A950］が表示されているポート）を選択し、印刷ができるかどうかを確認してください。

印刷できなかった場合は、ドライバをインストールし直してください。
☞本書 157 ページ「ドライバの再インストール」

USB ポートがない

USB ポート（［USB］と［EPSON PM-A950］が表示されているポート）がない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞本書 157 ページ「ドライバの再インストール」

！注意
［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

ドライバの再インストール(Windows)

スキャナドライバ / プリンタドライバをインストールし直します。

1 **本製品の電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンに接続します。**

2 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

3 **『ソフトウェア CD-ROM』をパソコンにセットします。**

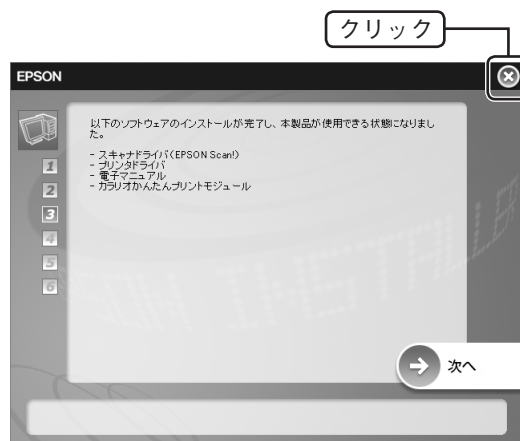
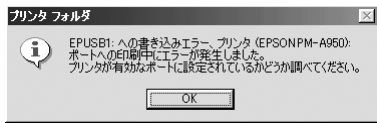
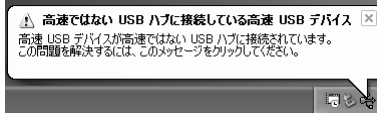
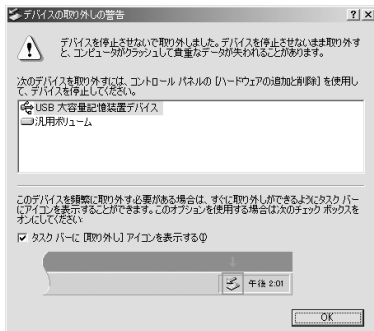
4 **以下の画面が表示されますので、[おすすめインストール]をクリックします。**

5 **[インストール]をクリックします。**

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

参考
電源オンを指示されたら、本製品の電源をオンにしてください。

6 **ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。⊗ をクリックして画面を閉じます。**

この後は画面の指示に従ってください。

参考
アプリケーションソフトを再インストールする場合は、[次へ]をクリックします。

7 **インストールが終了したら、原稿のスキャンや印刷を実行してみてください。**

その他のトラブル

<パソコンにエラー画面が表示される>

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
「用紙がセットされていません。」 などのエラー内容が表示される 	**■ 本製品にエラーが発生している場合は、解除してください。** エラー内容の下に対処方法が表示されている場合は、その対処方法に従ってください。 何も対処方法が表示されていない場合は、以下のページを参照してエラーを解除してください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」
「通信エラー」や「書き込みエラー」 などのメッセージが表示される 	**■ 次の原因によって表示される可能性があります。** • プリンタドライバが正しくインストールされていない場合 • パソコンと本製品がケーブルで正しく接続されていない場合 • 「印刷先のポート」設定が、実際に本製品を接続しているポートと合っていない場合 以下のページにそれぞれの確認方法を説明していますのでご確認ください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できないを解決」
Windows で、 「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」 と表示される 	**■ お使いのパソコンは USB2.0 に対応していません。** もし、パソコンに USB2.0 の差込口がある場合は、そこにケーブルを接続し直してください。USB2.0 の差込口がない場合でも、USB1.1 としてご使用いただけます。画面を閉じるには、右上の［×］をクリックします。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「パソコン画面にエラーが表示される」
Windows 2000 で、 「デバイスの取り外しの警告」画面が表示される 	**■ パソコン起動中に本製品の電源をオフにすると表示されます。** パソコンの電源をオフにしてから、本製品の電源をオフにするようにしてください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「メモリカードドライブとしての使い方」

＜操作パネルのスキャンモード使用時のトラブル＞

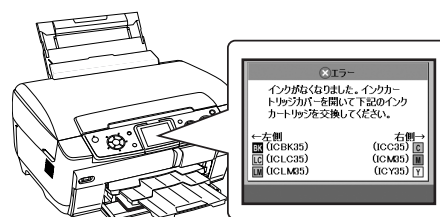
症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
スキャンモードを実行しても、 パソコンの画面に何も表示されない	■ **EPSON Creativity Suite がインストールされていますか？** 操作パネルのスキャンモードを実行すると、EPSON File Manager などが起動し、自動的にスキャンが行われます。 EPSON Creativity Suite は、操作パネルのスキャンモードを使用する際に必要なソフトウェアです。EPSON Creativity Suite をインストールしておいてください。 本書 157 ページ「ドライバの再インストール」 ■ **コントロールパネルの［スキャナとカメラ］の［プロパティ］にある［イベント］画面は正しく設定されていますか？** • ［デバイスのイベントを実行しない］がチェックされている場合は、チェックを外してください。チェックされていると、操作パネルのスキャンモードを実行しても動作しません。 • ［EPSON Creativity Suite］がチェックされていない場合は、チェックしてください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「コントロールパネルの設定について（スキャナとカメラ）」 ■ **Mac OS X の場合、EPSON Creativity Suite をインストールしたユーザーがログインしていますか？** インストールを行った方以外のユーザーがログインしている場合は、アプリケーションフォルダにある EPSON Scanner Monitor を実行してください。一度 EPSON Scanner Monitor を実行すれば、操作パネルのスキャンモードが使用できるようになります。 ■ **Mac OS X の場合、クラシックモードが起動していませんか？** クラシックモードが起動していると、操作パネルのスキャンモードが反応しなくなります。クラシックモードを終了させてください。
スキャンモードを実行すると、 EPSON File Manager 以外のソフトウェアが起動してしまう	■ **コントロールパネルの［スキャナとカメラ］の［プロパティ］にある［イベント］画面は正しく設定されていますか？** ［EPSON Creativity Suite］がチェックされていない場合は、チェックしてください。 『活用ガイド』（電子マニュアル）－「コントロールパネルの設定について（スキャナとカメラ）」

困ったときは（トラブル対処方法）

＜その他のトラブル＞

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	■ **本製品にエラーが発生していませんか？** エラーが発生している場合は、解除してください。 また、インクがないときや残り少ないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 本書 122 ページ「インクカートリッジの交換」
黒印刷しかしていないのに、カラーインクが減っている	■ **カラー印刷以外にも、カラーインクを使う場合があります。** 本製品では用紙種類によって、カラーインクを使った混色黒印刷を行う場合があります。また、印刷時以外にも、以下の動作時にブラック / カラーそれぞれのインクが消費されます。 • ヘッドクリーニング時 • セルフクリーニング時 セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、すべてのインクを微量吐出してノズルの乾燥を防ぐ機能で、印刷実行前などに自動的に行われます。 **＜クリーニング時にブラックとカラー両方のインクを使う理由＞** ノズルにインクが詰まると、インクが出なくなったりかすれたりして正常に印刷できなくなります。黒のみの印刷をしていても、ある日突然カラー印刷をしたくなった際に、カラーインクが出ないということでは使い物になりません。そのため、双方のノズルをクリーニングして、常に良好な状態にしておく仕組みになっています。
連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	■ **印刷状況により異なりますが、連続印刷を行うと、用紙を送る動作やヘッドの動作が一旦停止するなど、印刷速度が遅くなることがあります。** これは、高温による製品内部の部品の損傷を防ぐためです。 印刷速度が遅くなっても、そのまま印刷を続けることはできますが、印刷を中断し電源をオンにしたまま 30 分程度放置することをお勧めします。（電源をオフにして放置しても回復しません。） その後印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	■ **多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。** このようなときには、本製品を接続しているパソコンなどからアース（接地）を取ることをお勧めいたします。

エラー表示一覧

本製品にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージを確認し、下表の通り対処してください。

メッセージ	対処方法
スキャナエラーが発生しました。マニュアルをご覧ください。	■ **電源を一旦オフにし、キャリッジの輸送用ロックが解除されているか確認してください。** ☞ 本書 9 ページ「⑱ 輸送用固定レバー」 それでもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
用紙が詰まりました。 スタートボタンを押してください。 エラーが解除されない場合は､手で取り出してください。	■ **【スタート】ボタンを押してください。** 詰まった用紙が排出されない場合は、以下のページをご覧のうえ、用紙を取り除いてください。 ☞ 本書 139 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」
CD/DVD トレイ、またはフォトスタンド紙が正しくセットされていません。正しくセットしてスタートボタンを押してください。	■ **CD/DVD またはフォトスタンド紙を正しくセットし直し、【スタート】ボタンを押してください。** ☞ 本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」
CD/DVD ガイドが出ています。CD/DVD ガイドを収納してください。	■ **CD/DVD ガイドを収納してださい。** 電源をオンにするとき、または CD/DVD 印刷以外の印刷実行時に CD/DVD ガイドが出ていると、操作できません。 ☞ 本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」
詰まった用紙と同じサイズの用紙を 1 枚縦方向にセットし、スタートボタンを押してください。それでもエラーが解除されない場合は、同じ操作を繰り返してください。	■ **名刺またはカードサイズの用紙が詰まりました。** 以下のページをご覧のうえ、用紙を取り除いてください。 ☞本書 140 ページ「詰まった用紙の取り除き方法」-「名刺 / カードなどの小さい用紙の場合」
手書き合成シートとメモリカードが一致していません。シートを印刷し直して再度実行してください。	■ **シート印刷時のメモリカードをセットするか、シートを印刷し直して、再度実行してください。** 写真の印刷が終了するまでメモリカードの内容を変更しないでください。 ☞ 本書 68 ページ「手書きの文字やイラストを合成して印刷」 ☞ 本書 59 ページ「マークシート方式で簡単印刷＜オーダーシート印刷＞」
メモリカードが更新されています。新たにシートを印刷してから再度実行してください。	
プリンタエラーが発生しました。マニュアルをご覧ください。	■ **電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。** それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにして、本製品内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。 お早めにお買い求めの販売店､またはエプソン修理センターへ､廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。	■ **廃インク吸収パッド※の吸収量が限界に近付いています。** お客様ご自身による交換はできません。お早めにお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。 ☞ 本書 166 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。 お買い求めの販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。	■ **廃インク吸収パッド※の吸収量が限界に達しました。** お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。 ☞ 本書 166 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

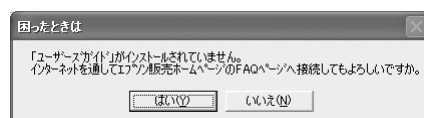
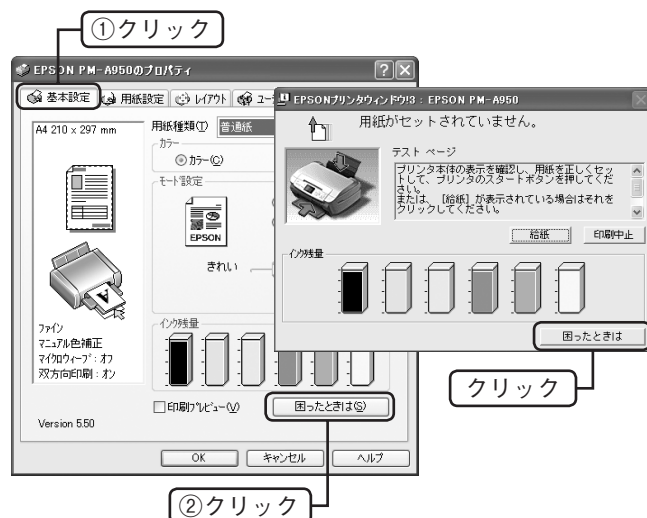
※廃インク吸収パッド：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品。

トラブルが解決しないときは

本製品をパソコンと接続して使用している場合は、『PM-A950 活用ガイド』をご覧ください

ドライバと同時にインストールされた『PM-A950 活用ガイド』の「トラブル対処方法」には、パソコン接続時のトラブル対処方法がより詳しく記載されています。
本書 116 ページ「活用ガイドの表示方法」

Windows をお使いの場合は

以下の画面からも、『PM-A950 電活用ガイド』の「トラブル対処方法」を表示させることができます。

『PM-A950 活用ガイド』がインストールされていない場合は、上のメッセージが表示されます。
［はい］をクリックすると、インターネットを通してエプソンのホームページへ接続します。

インターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をご覧ください

『PM-A950 活用ガイド』をご覧いただいても問題が解決しない、ちょっとわからないことがある。こんなときに、お客様の環境がインターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をお勧めします。
エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。＜ http://www.i-love-epson.co.jp/faq ＞
上記『PM-A950 活用ガイド』の「インターネット FAQ のご案内」からも接続できます。

本体が故障していないかをご確認の上、お問い合わせください

動作確認の方法、お問い合わせ先は、以下のページをご覧ください。
本書 164 ページ「サービス・サポートのご案内」

付録

本章のもくじ

サービス･サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

☞ 本書 166 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
☞ 本書 167 ページ「通信販売（消耗品 / オプション品）のご案内」
☞ 本書 167 ページ「マニュアルデータのダウンロードサービス」

「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは」、および『PM-A950 活用ガイド』の「トラブル対処方法」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ず確認してください。それでもトラブルが解決しない場合は、本体が故障していないかご確認のうえ、お問い合わせください。

本体の動作確認方法

本体のパネル操作でノズルチェックパターンを印刷して、動作確認を行います。パソコンと接続していない状態でノズルチェックパターンを印刷することにより、プリンタが故障しているか確認できます。

① 本製品の電源をオンにします。
② オートシートフィーダに用紙をセットします。
③【セットアップ】ボタンを押してノズルチェックを実行します。
☞ 本書 126 ページ「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが印刷できない

故障している可能性があります。
お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
☞本書 166 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

修理へ出す際は、以下のページをご確認ください。
☞本書 165 ページ「修理 / アフターサービスについて」
☞本書 134 ページ「輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意」

ノズルチェックパターンが印刷できる

カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。
☞本書 166 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

お問い合わせの際は、ご使用の環境（パソコンの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称をご確認の上ご連絡ください。

修理 / アフターサービスについて

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。
※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスに関しての受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
●お買い求めいただいた販売店
●エプソン修理センター（本書巻末の一覧表をご覧ください）
受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
9：00 ～ 17：30

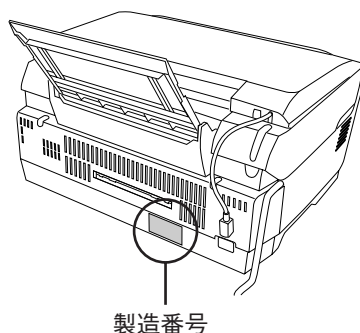
保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドア サービス	• 指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。下図のラベル内容をご確認ください。

付録

本製品に関するお問い合わせ先

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話 ナビダイヤル 0570ー090ー090 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●カラリオインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8022 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、(042) 589-5251におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221ー7911 東京(042)585ー8500 名古屋(052)202ー9532 大阪(06)6397ー4359 福岡(092)452ー3305

●スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京 TEL(03)5321-9738 大阪 TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊スケジュールなどはホームページでご確認ください。 http://www.i-love-epson.co.jp/school/

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーコール 0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2005. 6（A）

付属のソフトウェアに関するお問い合わせ先

読ん de!! ココパーソナル

エー･アイ･ソフト株式会社

TEL　：03-3376-7440
受付時間　：10:00～12:00､13:00～17:00
月曜日～土曜日(祝祭日を除く)
※お問い合わせの際にお客様 ID をお尋ねします｡あらかじめお客様 ID をご確認ください｡

FAX　：0263-33-3052
ホームページ　：http://www.aisoft.co.jp/japanese/support/index.asp
※ FAX､インターネットでのお問い合わせに対する回答は､月曜日～金曜日(祝祭日を除く)になります｡お答えするまでに多少時間がかかる場合がございますので､ご了承ください｡

上記以外のソフトウェアに関するお問い合わせは、カラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。

通信販売（消耗品 / オプション品）のご案内

エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください（2005 年 7 月現在）。

インターネットでのご注文	ホームページ	http://epson-supply.jp
お電話でのご注文	電話番号	0120-251-528（フリーコール） ※電話番号をよくお確かめの上おかけください。
	受け付け時間	月～金曜日　9:00 ～ 18:15 土曜日　9:00 ～ 17：00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

お届け方法、お支払い方法など詳細につきましては、上記のホームページまたはお電話でご確認ください。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。
< http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/ >

製品仕様

技術的な仕様について記載しています。

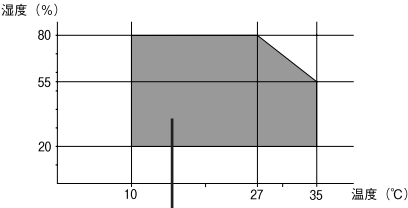
プリンタ部基本仕様

ノズル配列	黒インク：180 ノズル カラー：180 ノズル× 5 色（シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ）
印字方向	双方向最短距離印刷（ロジカルシーキングつき）
解像度	最大 5760※× 1440dpi ※最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。
紙送り方式	ASF 方式フリクションフィード
入力データバッファ	256KByte
モノクロ印刷モード	普通紙へのコピー / フィルム印刷 / パソコンからのエコノミーモード印刷：黒インクのみ使用 上記以外の印刷：カラーインクでの混色黒印刷

スキャナ部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
画像読み取りセンサ	6 ライン CCD（千鳥配列）オンチップマイクロレンズ付
原稿サイズ	A4、US レターまで
最大有効領域	216 × 297mm
最大有効画素	主走査 40800 画素×副走査 56160 画素（4800dpi）
解像度	主走査：4800dpi　副走査：9600dpi
読み取り解像度	50 ～ 6400dpi まで（1dpi 刻みで設定可能）、（12800dpi は 6400dpi × 200％で実現）
階調	16bit（入力）/1、8、16bit（出力）
読み取り時間	• 600dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ 2 値：約 3.8msec/line フルカラー：約 3.8msec/line • 4800dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ 2 値：約 32.8msec/line フルカラー：約 32.8msec/line

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	黒インクカートリッジ：ICBK35 カラーインクカートリッジ： ICC35（シアン）：ICM35（マゼンタ）：ICY35（イエロー）：ICLC35（ライトシアン）：ICLM35（ライトマゼンタ）
推奨使用期間	個装箱に記載されている期限 開封から 6 ヵ月以内
保存温度	保存時：－ 30℃～ 40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内） 本体装着時：－ 20℃～ 40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内）
カートリッジ外形寸法	幅 42mm ×奥行き 83mm ×高さ 13mm

参考

- インクは -16℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。
- 初めて取り付けるインクカートリッジでは、本製品を印刷可能な状態にするためにもインクが使用されるため、2 回目以降に取り付けるインクカートリッジに比べて印刷できる枚数は少なくなります。

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	0.8A
消費電力	コピー時：平均約 28W（ISO/IEC 10561 レターパターン原稿コピー） 低電力モード時：約 12.5W スリープモード時：約 2.5W
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2、VCCI クラス B に適合

総合仕様

プリントヘッド寿命	60 億ショット（1 ノズルあたり）
温度	動作時：10℃～ 35℃ 保存時：－ 20℃～ 60℃（40℃の場合 1 ヵ月、60℃の場合 120 時間以内）
湿度	動作時：20 ～ 80％（非結露） 保存時：5 ～ 85％（非結露）
	湿度（%） 80 55 20 / 温度（℃） 10 27 35 この範囲で使用してください。
製品質量	約 13.2kg
製品外形寸法	幅 450mm ×奥行き 418mm ×高さ 236mm（収納時） 幅 450mm ×奥行き 563.8mm ×高さ 363mm（使用時）

環境基本仕様

消費電力	コピー時：平均約 28W（ISO/IEC 10561 レターパターン原稿コピー） 低電力モード時：約 12.5W スリープモード時：約 2.5W 電源オフ時：約 0.2W ※ 消費電力を 0W にするためには、電源ボタンで電源をオフにしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては本書 165、166 ページをご覧ください。
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年
適合規格	国際エネルギースタープログラム 情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B

USB インターフェイス仕様

規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 2.0 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Device Version1.1（プリンタ部）		
転送速度	480Mbps（High Speed Device）		
適合コネクタ	USB Series B		
入力コネクタにおける信号の配列および信号の説明			
ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	－	ケーブル電源、最大電流 2mA
2	-DATA	双方向	データ
3	+DATA	双方向	データ、1.5k Ωの抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground －	－	ケーブルグラウンド

USB ケーブルについて

本製品に付属のケーブルをお使いください。

接続条件

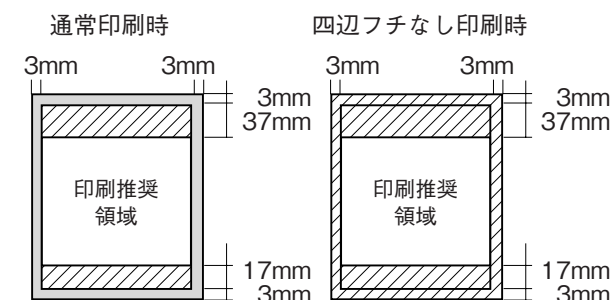
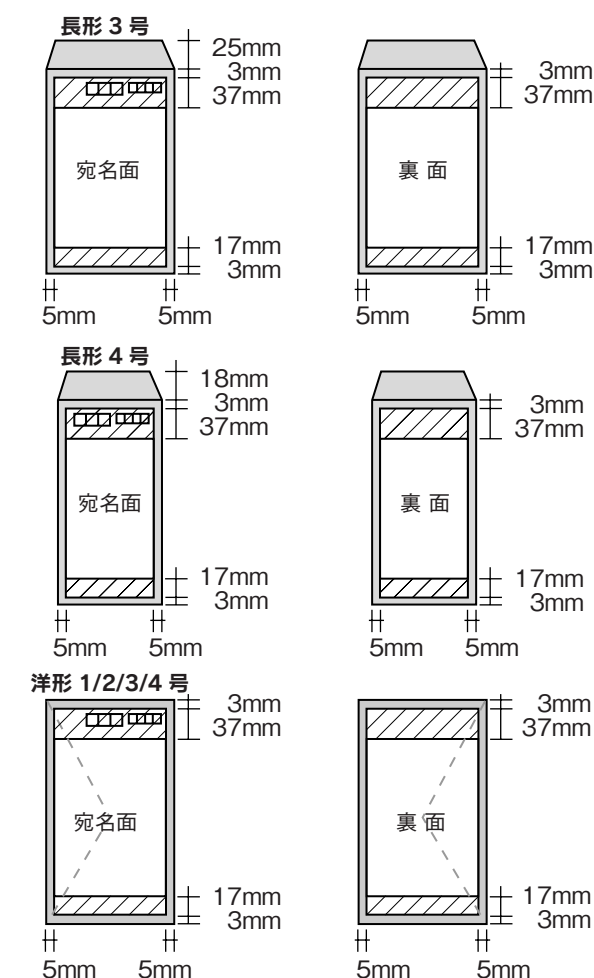
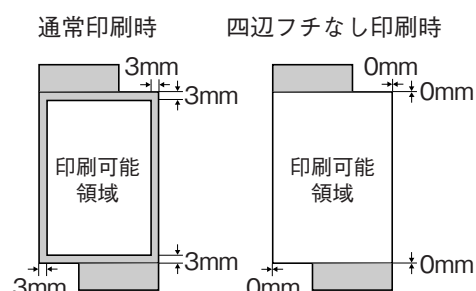
- Windows 98/Me/2000/XP プレインストールパソコン、または Windows 98/Me/2000 プレインストールモデルからアップグレードしたパソコン
- USB インターフェイスを標準搭載した Mac OS

USB2.0 対応について

- USB2.0 としてご使用いただくためには、USB2.0 に対応したケーブルをお使いください。また、パソコン側も USB2.0 に対応している必要があります。USB2.0 非対応のパソコンをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設した場合には、マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバが必要になります。マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバの入手方法はマイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。
- USB2.0 対応 OS は Windows 2000/XP、Mac OS X v10.2.7 以降です。Windows 98/Me、Mac OS 9、Mac OS X v10.2.6 以前では、USB1.1 として動作します。
- USB2.0 を使用しても原稿と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。また、USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
- USB ハブをお使いになる場合は、USB2.0 に対応しているものをお使いください。
- USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）

印刷領域

下図のグレーの部分には印刷できません。また、本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下する場合があります。

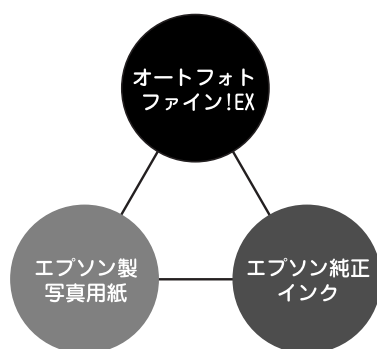
定形紙

封筒

フォトスタンド紙

※印刷データによっては、印刷品質が低下する場合があります。

付録

Epson Color について

Epson Color とは

Epson Color とは、エプソンお薦めの写真品質のことです。エプソン独自の画像解析 / 処理技術「オートフォトファイン !EX」を用いて、エプソン純正のインクと写真用紙を使って印刷することにより実現されます。

エプソンお薦めの写真品質

オートフォトファイン !EX では、被写体認識の強化と自動補正機能を進化させることで、より画像内容に合った最適な画像補正が可能になりました。風景は鮮やかでクリアに、かつ空や木々の緑の記憶色を鮮やかに再現、また人物は明るくソフトに、かつ人肌の記憶色を中心に再現します。

参考

- 補正や加工は印刷時に処理されるだけで、データそのものは補正 / 加工されません。
- オートフォトファイン !EX は、被写体の配置などを解析して画像処理を行います。このため、被写体の配置が変わる操作（回転、拡大 / 縮小、トリミングなど）を行うと、印刷される色合いが変わることがあります。また、四辺フチなし印刷時とフチあり印刷時とでは被写体の配置が若干変わるため、色合いが変わることがあります。
- 印刷する画像に Exif Print の撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた画像補正を行います。

Epson Color で印刷するためには

Epson Color で印刷するためには、Epson Color 対応用紙に印刷してください。

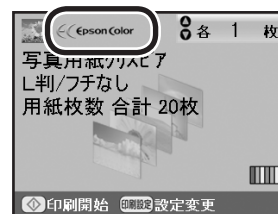
Epson Color 対応用紙

- 写真用紙クリスピア＜高光沢＞
- 写真用紙＜光沢＞
- 写真用紙＜絹目調＞
- 写真用紙＜絹目調＞はがき

印刷手順

プリンタに Epson Color 対応用紙をセットし、［用紙種類］で対応の用紙を選択すれば、Epson Color で印刷されます。

■プリンタ単体で印刷する場合（パソコンを使用しないで印刷）

Epson Color 対応用紙を選択して印刷します。
このとき設定画面に「Epson Color」ロゴが表示されます。（フィルム印刷は対応していません。）

■付属の写真印刷ソフトウェア「EPSON Easy Photo Print」から印刷する場合

Epson Color 対応用紙を選択して印刷します。
このとき［レイアウト調整］画面に「Epson Color」ロゴが表示されます。

■市販のアプリケーションソフトから印刷する場合

プリンタドライバの［基本設定］画面で Epson Color 対応用紙を選択して印刷します。
このとき［基本設定］画面に「Epson Color」ロゴが表示されます。

Mac OS X では、市販のアプリケーションソフトから Epson Color をご利用いただけません。

以上で、Epson Color の説明は終了です。

Apple の名称、Macintosh、iMac は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

MagicGate、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティック Duo、メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、および MEMORY STICK PRO、Memory Stick ロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
SD メモリーカード、SD ロゴは、（株）東芝、松下電器産業（株）、米国 SanDisk 社の商標です。
xD-Picture Card、xD-Picture Card ロゴは富士写真フイルム（株）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

Bluetooth は、その権利者が保有している商標であり、セイコーエプソンは、ライセンスに基づき使用しています。
本製品は USB DIRECT-PRINT に対応しています。本製品は USB DIRECT-PRINT 対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。
EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
トラブル解決アシスタント、EPSON PRINT Image Matching、PRINT Image Framer は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
本文中で用いる P.I.F. は PRINT Image Framer の略称です。

Microsoft®Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft®Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 と表記しています。Microsoft®Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書では、Windows XP と表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。
本製品が対応している Mac OS のバージョンは、Mac OS X v10.2 以降です。
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、「Mac OS X」と表記しているところがあります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条　通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など
以下の行為は、法律により禁止されています。
- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　- 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

索引

数字

アルファベット

五十音

付録

設定項目一覧

各モードのメニュー / 設定			印刷設定
1 コピーモード ☞ 本書 32 ページ ※ 写真のコピーは、ファンプリントモードになります。	（コピー設定） ● コピー枚数 ● カラー / モノクロ ● テキスト / 写真 ● レイアウト ☞ 本書 46 ページ	（レイアウト / 割り付け） ● 標準 ☞ 本書 35 ページ ● フチなし ☞ 本書 35 ページ ● ギリギリ ☞ 本書 35 ページ ● リピート自動 /4/9/16 ☞ 本書 40 ページ ● ポスター 4/9/16 ☞ 本書 38 ページ ● 2 アップ ☞ 本書 39 ページ ● 4 アップ ☞ 本書 39 ページ （バラエティ用紙に印刷） ● CD コピー ☞ 本書 45 ページ ● ミラーコピー ☞ 本書 36 ページ ● ミニフォトコピー ☞ 本書 37 ページ	（印刷設定） ☞ 本書 46 ページ ● 倍率 ● 用紙種類 ● 用紙サイズ ● 品質 ● コピー濃度 ● フチなしはみ出し量

2 メモリカードモード	（印刷方法） ● すべて印刷 ☞ 本書 58 ページ ● 選んで印刷 ☞ 本書 52 ページ ● 範囲印刷 ☞ 本書 59 ページ ● 日付から選んで印刷 ☞ 本書 60 ページ ● ズーム印刷 ☞ 本書 57 ページ	※ DPOF 印刷は、すべて印刷 / 選んで印刷 / 範囲印刷でのみ印刷できます。 ☞ 本書 63 ページ	（印刷設定 1） ● 用紙種類 ● 用紙サイズ ● レイアウト ● 日付表示 ● 時刻表示 ● 品質 （印刷設定 2） ● フィルタ ● 自動画質補正 ● 明るさ ● コントラスト ● シャープネス ● 鮮やかさ調整 （印刷設定 3） ● 撮影情報印刷 ● 携帯写真印刷 ● トリミング ● 双方向印刷 ● フチなしはみ出し量 ● P.I.F. 関連付け ☞ 本書 75 ページ
	（印刷方法） ● CD/DVD 印刷 ☞ 本書 65 ページ	● CD/DVD レーベル印刷 ☞ 本書 65 ページ ● CD/DVD ジャケット印刷 ☞ 本書 66 ページ	（印刷設定 1） ● メディア種類 ● 用紙種類 ● 用紙サイズ ● レイアウト ● 印刷濃度 ● フィルタ （印刷設定 2） ● 自動画質補正 ● 明るさ ● コントラスト ● シャープネス ● 鮮やかさ調整 ☞ 本書 77 ページ
	（印刷方法） ● オーダーシート ☞ 本書 61 ページ （その他） ● スライドショー ☞ 本書 74 ページ	● オーダーシートを印刷 ● オーダーシートを読み込んでプリントする	（シート上で印刷設定） ● 用紙種類 / 用紙サイズ ● フチなし / フチあり ● 日付を入れる ● 印刷枚数

各モードのメニュー / 設定			印刷設定
3 フィルムモード カラーネガフィルム もっとも一般的なフィルムです。 6コマ単位のストリップフィルムで、 カラー画像の濃淡が反転しています。 OK決定 ◀▶選択 ☞ 本書 82 ページ	（フィルム選択）→ ● カラーネガフィルム ● カラーポジフィルム（ストリップ） ● カラーポジフィルム（マウント） ● モノクロネガフィルム	（スキャン設定） ● 退色復元 ● 自動露出レベル ↓	
	すべて印刷 スキャンした写真を すべて印刷します。 OK決定 ◀▶選択 ☞ 本書 88 ページ	（印刷方法）→ ● すべて印刷 ☞ 本書 88 ページ ● 選んで印刷 ☞ 本書 82 ページ ● 範囲印刷 ☞ 本書 89 ページ ● ズーム印刷 ☞ 本書 87 ページ	（印刷設定） ☞ 本書 90 ページ ● 用紙種類 ● 用紙サイズ ● レイアウト ● 品質 ● フチなしはみ出し量 ● フィルタ
	スキャンしてメモリカードへ保存 スキャンした写真を メモリカードに保存します。 OK決定 ◀▶選択	（その他） ● スキャンしてメモリカードへ保存 → ☞ 本書 103 ページ ● 再スキャン	（スキャン設定） ● 品質

4 スキャンモード スキャンしてメモリカードに保存 原稿をスキャンしてデータ化し、 メモリカードに保存します。 OK決定 ◀▶選択	（メニュー） ● スキャンしてメモリカードに保存 ☞ 本書 102 ページ	（スキャン設定） ● スキャン範囲 ● 原稿種 ● 品質	
スキャンしてPCへ 原稿をパソコンから自動的に スキャンしてデータ化し、 保存します。 OK決定 ◀▶選択	（メニュー） ● スキャンして PC へ ● スキャンして PDF へ ● スキャンして E メールへ ● スキャンして Web へ ☞ 本書 113 ページ	（パソコン上で設定）	

付録

各モードのメニュー / 設定			印刷設定
5 ファンプリントモード	（メニュー） ● 手書き合成シート ☞ 本書 68 ページ	（印刷方法） ● 写真を選んで手書き合成シートを印刷 ● 手書き合成シートをスキャンして合成写真プリント	（印刷設定）→（シート上で印刷設定） ● 用紙種類 ● 用紙サイズ ● 合成フレーム ● レイアウト （シート上で印刷設定） ● 文字飾り ● 印刷枚数
	（メニュー） ● 写真コピー ☞ 本書 40 ページ	（スキャン設定）→ ● コピー方法 ● 退色復元 ● 原稿サイズ	（印刷設定）　☞ 本書 48 ページ ● 用紙種類 ● 用紙サイズ ● レイアウト ● 品質 ● フチなしはみ出し量 ● フィルタ
	（メニュー） ● P.I.F. 印刷	（原稿種設定）→ ● 写真印刷（写真原稿） ☞ 本書 43 ページ	（印刷設定）　☞ 本書 48 ページ ● 用紙種類 ● 用紙サイズ ● レイアウト ● 品質 ● フチなしはみ出し量 ● フィルタ
		（原稿種設定）→ ● メモリカード ☞ 本書 72 ページ	（印刷設定 1） ● 用紙種類 ● 用紙サイズ ● レイアウト ● 日付表示 ● 時刻表示 ● 品質 （印刷設定 2） ● フィルタ ● 自動画質補正 ● 明るさ ● コントラスト ● シャープネス ● 鮮やかさ調整 （印刷設定 3） ● 撮影情報印刷 ● 携帯写真印刷 ● トリミング ● 双方向印刷 ● フチなしはみ出し量 ● P.I.F. 関連付け ☞ 本書 75 ページ

プリントヘッド（ノズル）の目詰まり

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、以下のサンプルのような症状が現れることがあります。このような場合は、まずノズルチェックを行い、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングを実行してください。

☞ 本書 126 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

正常時

目詰まり時

全体の色彩 / 色味がおかしい

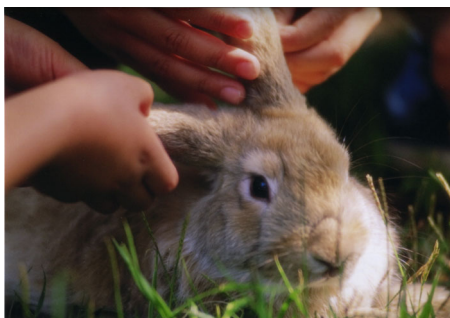
サンプル B

正常時

目詰まり時

部分的に色彩 / 色味がおかしい

サンプル C

正常時

目詰まり時

全体や部分的にスジが入る

インクカートリッジの型番

ブラック	：ICBK35
シアン	：ICC35
ライトシアン	：ICLC35
マゼンタ	：ICM35
ライトマゼンタ	：ICLM35
イエロー	：ICY35

お得な６色パックもあります。

６色パック	：IC6CL35

イメージ写真：色エンピツ

35

※パッケージのイメージ写真と番号を、お買い求めいただく際の目印としてご活用ください。

インクカートリッジの回収について

インクカートリッジの回収にご協力ください

弊社は、環境保全の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」エプソン製品取り扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。
使用済みインクカートリッジは最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。

使用済みインクカートリッジの回収によるベルマーク運動

弊社は、使用済みインクカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。
学校単位で使用済みインクカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。
この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会的貢献を行っております。
詳細は、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。
PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。本書はリサイクルに配慮して作成しています。不要になった場合は資源物としてお取り扱いください。

410478000

Printed in Japan XX.XX-XX XXX

PM-A950 操作ガイド

EPSON